

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	1 教育・保育の機会の確保	担当課	子ども政策課・子ども保育課
施策内容	1 基本的な教育・保育事業の整備		
事業名	1 子ども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編	平成30年度 事業費決算額	事業名：保育所・幼稚園私立化事業/民間認可 保育所施設整備事業 決算額：960,032,425円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆子育て・子育ての拠点となる市立子ども園を、中学校区を基本としながら地域バランスを考慮し整備を推進します。 ◆市立幼稚園で今後保育需要が見込まれる地域にある施設については、保育所機能を加えた私立幼保園として、子ども園化を図ります。 ◆市立保育所については、多様な保育サービスの実施(延長保育の拡大・休日保育・一時保育等)を推進していくため、段階的に私立化を図ります。 ◆乳幼児人口が急増し、保育需要が多く見込まれる地域においては、優良な民間保育所の進出を計画的に促進します。 ◆市立幼稚園については、定員の適正化を図ります。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆「習志野市子ども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第2期計画」を着実に推進します。(子ども政策課) ◆平成31年4月開設予定の市立本大久保保育所の私立化施設である(仮称)本大久保保育園が開設できるよう支援します。(子ども政策課) ◆引き続き、子ども保育課指導主事等が訪問することで、私立子ども園の教育・保育および園経営に関して、助言、指導を実施します。(子ども保育課) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆市立本大久保保育所の私立化に伴い、民間認可保育所であるCOO本大久保保育園を平成31年4月に開設させるとともに、施設整備費の一部を補助しました。(子ども政策課) ◆幼保連携型認定子ども園青葉幼稚園を平成31年4月に開設させるとともに、施設整備の一部を補助しました。(子ども政策課) ◆みのりつくし子ども園・プレーメン実花子ども園に対し、子ども保育課指導主事等が定期的に訪問し園の状況を把握するとともに、保育の充実が図れるよう必要に応じて助言や支援を行いました。(子ども保育課) 		
評価指標	◆2期計画の実施状況	平成30年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆COO本大久保保育園の開設においては、保育士の雇用が確保できず、定員を下回る形で開園することとなりました。市・法人・保護者代表から組織された三者協議会において、保護者や法人と連携を密にとり、施設の開設ができました。(子ども政策課) ◆子ども保育課職員の定期的な支援により、園経営や保護者対応がスムーズに行われるようになりました。(子ども保育課)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成31年4月1日に、COO本大久保保育園及び幼保連携型認定子ども園青葉幼稚園を開設しました。(子ども政策課) ◆子ども保育課指導主事等の訪問により、早期の課題解決につながりました。(子ども保育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市立本大久保保育所の私立化に伴い、保育士の確保ができず、規定の人数で共同保育が行うことができませんでした。また、4月の開園も、177名の定員を減らして受け入れたことから、今後、施設の私立化を図る際、法人には前もって職員を確保するよう指導する必要があります。(子ども政策課) ◆COO本大久保保育園が4月に開園したことに對し、一年間専属で子ども保育課職員を配置することで、スムーズな引継ぎと、保育・教育の提供および保育園運営のための支援を実施する必要があります。(子ども保育課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆COO本大久保保育園については、平成31年度内に認可定員である177名の受入れが行えるよう、職員の雇用について引き続き、助言・指導を実施していきます。また、開園後も引き続き三者協議会を行い、保護者・法人と連携を密に取ります。(子ども政策課) ◆幼保連携型認定子ども園青葉幼稚園において、安定的な施設運営がなされ、質の高い教育・保育が提供されるよう、助言・指導を行っていきます。(子ども政策課) ◆引き続き、子ども保育課指導主事等が定期的に訪問することで、私立子ども園の教育・保育および園経営に関して、指導・助言を実施します。(子ども保育課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	1 教育・保育の機会の確保	担当課	こども政策課・こども保育課
施策内容	1 基本的な教育・保育事業の整備		
事業名	2 教育・保育施設、小規模保育の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名：地域型保育整備事業 決算額：46,976,892円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆多様な保育サービスの充実を図るため、既存の幼稚園・保育所の一元化や子育て支援拠点としてのこども園整備を推進します。 ◆小規模保育・延長保育・一時預かり事業の充実を図ります。 ◆新規施設事業者が円滑に事業を実施できるよう、相談・助言や小規模保育等の連携施設のあっせん等を実施します。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆小規模保育事業所の整備については、第一中学校区の0歳～2歳までの待機児童が多く発生しているため、平成30年度でも、引き続き公募実施を検討します。(こども政策課) ◆小規模保育事業所の適正な運営が図れるよう監査を実施します。(こども政策課) ◆一時預かり事業に対する運営費補助金の補助を実施します。(こども保育課) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆第一中学校区に小規模保育事業所を整備し、10月1日に2園が開園しました。(こども政策課) ◆小規模保育事業所の適正な運営が図られるよう、平成30年9月末までに開園した施設を対象に監査を行いました。(こども政策課) ◆認可外保育施設「ひまわり保育園」を小規模保育事業所へ移行し、平成30年6月1日に開園しました。(こども政策課) ◆民間認可保育所運営費補助金、および小規模保育事業所運営費補助金として、一時預かり事業に係る運営費の助成を行いました。(こども保育課) 		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆通常保育定員数 ◆一時預かり利用児童数 ◆時間外保育・延長保育利用率 	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆3,010名 ◆14,777人 ◆85.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆小規模保育事業所の整備については、6月1日に「ひまわり保育園」(定員18名)を開設、10月1日に「杜の子保育園」(定員19名)、「サンライズキッズ保育園谷津園」(定員15名)を開設し、合計3施設52名の定員確保を行いました。(こども政策課) ◆小規模保育事業所の適正な運営が図られるよう、平成30年9月末までに開園した7施設を対象に適切な監査を行いました。(こども政策課) ◆プレーメン津田沼保育園及び菊田みのり保育園で、一時預かり事業を開始しました。(定員6名)(こども保育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆小規模保育事業所の設置を検討する際、3歳児の受入れ先である、連携施設を確保する必要があるため、連携施設の設定について、こども保育課と十分に協議する必要があります。(こども政策課) ◆小規模保育事業所の施設監査については、施設数が増加していることから、計画的な監査を行う必要があります。(こども政策課) ◆30年度については、預かりの利用定員を拡大できた一方、現況で予約方法が公平ではないとの意見が寄せられていることから、公立施設で実施している一時預かりの予約方法の検討が必要です。(こども保育課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆小規模保育事業所の整備については、第四中学校区及び、第五中学校区の0歳～2歳までの待機児童が多く発生しているため、平成31年度でも、引き続き公募実施を検討します。(こども政策課) ◆認可外保育施設「保育ルームロゼッタ」が、小規模保育事業所へ認可移行予定のため、助言・指導を行います。(こども政策課) ◆小規模保育事業所の適正な運営が図れるよう監査を実施します。(こども政策課) ◆一時預かり事業の予約方法を改善します。(こども保育課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	1 教育・保育の機会の確保	担当課	こども政策課・こども保育課
施策内容	1 基本的な教育・保育事業の整備		
事業名	3 民間保育事業者の多様なサービス力の活用	平成30年度 事業費決算額	事業名：民間認可保育所施設整備事業 決算額：604,536,000円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆通常保育受け入れ枠の拡大や延長保育時間の拡大、休日保育等に民間保育事業者のノウハウによる多様なサービス力を活用します。 ◆市立保育所・幼稚園の私立化及び新規民間認可保育所の誘致を推進します。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成31年4月開設予定の市立本大久保保育所の私立化施設である(仮称)本大久保保育園が開設できるよう支援します。(こども政策課)(再掲) ◆引き続き、こども保育課指導主事等が訪問することで、私立こども園の教育・保育および園経営に関して、助言、指導を実施します。(こども保育課) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆市立本大久保保育所の私立化に伴い、民間認可保育所であるCOO本大久保保育園を平成31年4月に開設させるとともに、施設整備費の一部を補助しました。(こども政策課)(再掲) ◆幼保連携型認定こども園青葉幼稚園を平成31年4月に開設させるとともに、施設整備の一部を補助しました。(こども政策課)(再掲) ◆私立こども園に対し、こども保育課指導主事等が定期的に訪問し園の状況を把握するとともに、保育の充実が図れるよう必要に応じて助言や支援を行いました。(こども保育課) 		
評価指標	◆民間認可保育所施設数	平成30年度数値	◆11施設

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆COO本大久保保育園の開設においては、保育士の雇用が確保できず、定員を下回る形で開園することとなりました。市・法人・保護者代表から組織された三者協議会において、保護者や法人と連携を密にとり、施設の開設ができました。(こども政策課)(再掲)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆平成31年4月1日に、COO本大久保保育園及び幼保連携型認定こども園青葉幼稚園を開設しました。(こども政策課)(再掲) ◆こども保育課指導主事等の定期的な訪問により、早期の課題解決につながりました。(こども保育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市立本大久保保育所の私立化に伴い、保育士の確保ができず、規定の人数で共同保育が行うことができませんでした。また、4月の開園も、177名の定員を減らして受け入れたことから、今後、施設の私立化を図る際、法人には前もって職員を確保するよう指導する必要があります。(こども政策課)(再掲) ◆管理職の異動や特別支援児とその保護者への対応等については、制度も含め丁寧に伝えていく必要があります。(こども保育課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆COO本大久保保育園については、平成31年度内に認可定員である177名の受け入れが行えるよう、職員の雇用について引き続き、助言・指導を実施していきます。(こども政策課)(再掲) ◆幼保連携型認定こども園青葉幼稚園において、安定的な施設運営がなされ、質の高い教育・保育が提供されるよう、助言・指導を行っていきます。(こども政策課)(再掲) ◆引き続き、こども保育課指導主事等が定期的に訪問することで、私立こども園の教育・保育および園経営に関して、指導・助言を実施します。(こども保育課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	1 教育・保育の機会の確保	担当課	児童育成課
施策内容	1 基本的な教育・保育事業の整備		
事業名	4 放課後児童会の運営	平成30年度 事業費決算額	事業名：放課後児童会運営費(施設整備事業含む) 決算額：334,059,000円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆各児童会において、小学校1年生から6年生までの児童を受け入れます。 ◆児童の受け入れのため、小学校の余裕教室等、必要な施設整備を進めます。 ◆特別な支援を要する児童がいる放課後児童会には、職員を加配します。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆小学1～3年生並びに特別な支援を要する児童の全入制を堅持した上で、施設整備及び職員確保に努め、安全安心で安定的な放課後児童会を継続的に運営し、待機児童の解消に努めます。 ◆大規模化による分割した3つの児童会において、児童並びに保護者への負担が最小限となるよう円滑な運営に努めます。 ◆職員確保の一つとして、公設民営による業務委託が平成31年度より円滑に開始できるよう保護者並びに関係各所との連絡調整を強化します。より一層、職員確保を推進するため、関係各所と連絡調整を図りながら、平成31年度より藤崎第一・藤崎第二・大久保東児童会の民間業務委託を進めます。 ◆放課後児童会連絡会議を通じて、放課後児童会職員との意見交換等を実施し、職場環境の改善や児童並びに保護者にとってより良い放課後児童会を運営できるよう進めます。 ◆谷津南児童会施設の建設に向けた準備に取り組みます。 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆小学1～3年生並びに特別な支援を要する児童の全入制を維持しておりますが、小学4～6年生については、施設未整備や支援員不足により、8月1日現在にて最大85名の不承諾児童が発生しました。 ◆支援員の配置については、国基準を満たす配置は満たしていますが、より一層の安全・安心・安定的な児童会運営を推進するため、引き続き、放課後児童会職員の雇用確保に努めました。 ◆年間21回の放課後児童会職員研修を実施しました。 ◆平成31年度へ向けて、職員確保を主なねらいとして、大久保東児童会、藤崎第1・藤崎第2児童会の民間委託準備を取り組みました。 ◆大規模化している谷津、東習志野、実花児童会について、分割による適正規模での運営を実施すべく、平成31年4月からの開設に向け谷津第四、東習志野第三、実花第二児童会の開設準備に取り組みました。 		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設数 ◆定員数 ◆児童数 ◆支援員数 	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設数 25施設 ◆定員数 1,664人 ◆児童数 延べ14,127人 ◆支援員数 65名(H31.3月末)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆長期休暇中の開所時間がもう少し早くなってほしい。(保護者) ◆一部居当たりの定員が多く、それに対する職員数がまだまだ足りず、子ども一人一人へ先生がとれる時間が限られていると思います。(保護者) ◆人数に対して施設が狭すぎます。習志野市全体で施設を増やすよう、検討して欲しいです。(保護者) ◆4年生以降でも夏休みなどの長期休暇の際は利用させてほしい。(保護者)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆前年比108%増(H30:14,127人、H29:12,980人、H28:12,482人、H27:11,571人)の児童を受け入れ、安全安心な児童会運営を実施することができました。 ◆平成31年度へ向けて、職員確保を主なねらいとして、藤崎第一・第二児童会、大久保東児童会の民間委託準備に取り組みました。 ◆児童会室のより良い環境を構築するため、谷津、谷津南、実花児童会の4ヶ所の空調機器の施設整備に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆不承諾児童の早期解消に向けた施設整備や職員確保の推進に課題を残しています。今後も最優先課題と認識し、待機児童の解消にと努めてまいります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆小学1～3年生並びに特別な支援を要する児童の全入制を堅持した上で、施設整備及び職員確保に努め、安全安心で安定的な放課後児童会を継続的に運営し、待機児童の解消に努めてまいります。 ◆平成31(2019)年4月より民間業務委託を開始した藤崎第一・藤崎第二・大久保東児童会が円滑に運営できるように保護者並びに関係各所との連絡調整を強化してまいります ◆放課後児童会連絡会議を通じて、放課後児童会職員との意見交換等を実施し、職場環境の改善や児童並びに保護者にとってより良い放課後児童会を運営できるよう進めてまいります。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	1 教育・保育の機会の確保	担当課	こども保育課
施策内容	1 基本的な教育・保育事業の整備		
事業名	5 休日保育の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名: 休日保育実施事業 決算額: 1,200,000円
事業の概要	◆休日保育を継続して実施するとともに、実施施設を拡大します。		
平成30年度 事業目標	◆かずみ保育園における休日保育の継続実施と実施施設拡大の検討を行います。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	・私立かずみ保育園において、市内の許可保育施設に入所・入園している児童を対象に休日保育を実施しました。		
評価指標	◆休日保育実施施設数	平成30年度数値	◆1施設

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆私立かずみ保育園において、休日保育を実施しました。 (年間延べ利用者数: 113人【昨年度より42人増】)	◆休日保育を利用するニーズが増えています。		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆かずみ保育園における休日保育の継続実施と実施施設拡大の検討を行います。
----------------	--------------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 保育・学校教育環境等の整備		
事業名	6 乳幼児教育の向上(保育一元カリキュラム)	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆幼稚園・保育所・こども園の教諭・保育士・保育教諭を対象とした、乳幼児保育の理論研修・実技研修を開催し、教育の向上に努めます。		
平成30年度 事業目標	◆幼稚園教育要領等の完全実施を踏まえ、各保育施設において保護者や地域と共有できるよう努めていきます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆習志野市保育一元カリキュラムについて、3歳短時間児の受け入れに先立ち3歳児の指導カリキュラムの見直しを行うとともに、すべての一元カリキュラムの見直しを行い、31年度版を作成しました。 ◆幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保認定型認定こども園教育・保育要領の改訂を受け、教育・保育の質の向上を目指した研修会を実施したことで、共通理解を図ることができました。		
評価指標	◆研修開催回数・参加人数	平成30年度数値	◆6回開催 ◆参加者277名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆今回の改訂の内容や主旨について理解を深めることができた。
-------------------	-------------------------------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂内容について理解を深めるとともに、教育・保育に反映することができました。	◆特にありません。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	各施設において、幼児期の教育の大切さや保育内容について、保護者や地域と共有できるように努めていきます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校・習志野高等学校
施策内容	1 保育・学校教育環境等の整備		
事業名	7 開かれた学校づくりの推進	平成30年度 事業費決算額	事業名: 特色ある学校づくり推進事業 決算額: 175,200円
事業の概要	◆開かれた学校づくりを推進するために、学校評議員制度を市立小学校15校・市立中学校7校・市立高等学校1校に導入しています。また、市立小学校1校では、学校運営協議会を設置しています。		
平成30年度 事業目標	◆今後も学校評議員制度を継続し、市立各小・中・高等学校でご意見を伺いながら、学校教育目標の具現化を図れるように推進します。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校) ◆秋津小学校ではコミュニティ・スクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・秋津小学校) ◆学校を核とした県内1000か所ミニ集会をすべての小・中・高等学校で継続実施し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校) ◆今後も改善点を評価していただけるようPDCAサイクルを活用します。(習志野高等学校)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆学校評議員協議会を実施し、委員の方々から御意見をいただきました。(習志野高等学校) ◆「県内1000か所ミニ集会」を開催しました。授業見学のあと、参加者の皆様から、ご意見をいただきました。(習志野高等学校) ◆参加者の皆様からいただいた意見を参考に、改善に取り組みしました。(習志野高等学校) ◆学期ごとに各学校において学校評議員会を開き、様々な情報交換や要望、評価などについて話し合いました。また、学校経営の基本方針を説明し、貴重なご意見や示唆をいただくことができました。(指導課・小学校) ◆コミュニティ・スクールとして学校運営協議会を開催し、学校運営や地域との連携を深めました。(指導課・秋津小学校) ◆学校評議員会を実施し、外部の方々のご意見をいただきました。(習志野高等学校) ◆学校評議員会や学校運営協議会を通じて学校評価を充実させ、学校教育に生かしました。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校)		
評価指標	◆学校評議員制度導入学校数 ◆学校運営協議会設置校数	平成30年度数値	◆小学校15校・中学校7校・ 高校1校 ◆小学校1校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆児童生徒の様子や学校教育活動をよく見ていただき適正に評価していただいています。(小学校・中学校) ◆いただいた御意見は、次年度の教育課程に組み込んでいきます。(小学校・中学校) ◆学校評議員の御意見を参考にしながら、地域や保護者との連携を進め、地域と共に歩む学校、開かれた学校づくりを更に推進していきたい。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校) ◆生徒たちが交通マナーを守り、挨拶がきちんとできているので、これからも継続して指導してもらいたい。(習志野高等学校) ◆これからの特色ある学校づくりを目指して取り組んでもらいたい。(習志野高等学校)
-----------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆学校の考え方を理解していただくことにつながるとともに、地域の方々の評価を知り、応援していただいていることを再確認することができました。(指導課・小学校・中学校) ◆学校評議員会や学校運営協議会を開催することで、学校運営や教育活動の見直し及び改善を図るとともに、地域に開かれた学校づくりと一層推進することができました。(指導課・小学校・中学校・習志野高等学校) ◆学校の教育方針を理解していただくとともに、地域の方々からの大きな期待と評価を知ることができました。いただいた意見を参考に、よりよい学校づくりを目指し取り組んでいきたいです。(習志野高等学校)	◆開かれた学校づくりを推進するために、いただいた意見や評価を生かしていきます。(指導課・小学校・中学校) ◆学校の施設や設備に対するご意見が多くあり、今後の課題が確認できました。(習志野高等学校)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆今後も学校評議員制度を継続し、市立各小・中・高等学校でご意見を伺いながら、学校教育目標の具現化を図れるように推進していきます。(指導課・小学校・中学校) ◆秋津小学校ではコミュニティ・スクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・秋津小学校) ◆学校を核とした県内1000か所ミニ集会をすべての小・中・高等学校で継続実施し、開かれた学校づくりを推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆今後も改善点を評価して頂けるようにPDCAサイクルを活用していきます。(習志野高等学校)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター
施策内容	1 保育・学校教育環境等の整備		
事業名	8 個に応じた多様な指導の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名:教育文化推進事業 決算額:1,100,000円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校訪問等で授業研究を実施した際、個に応じた指導方法・学習形態の在り方に関して研究・協議を行い、きめ細かな指導をします。 ◆少人数指導による積極的な活動により、きめ細かな指導をします。 ◆外国籍及び帰国子女が在籍する学校(園)の要請に基づき、言語・文化指導者の派遣を行います。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆各学校で、少人数指導(習熟度に応じた指導)の更なる工夫・改善について指導助言に努めていきます。(指導課) ◆少人数指導やTTによる指導について実践紹介等、情報提供を行っていきます。(指導課) ◆個に応じた学習指導について「主体的・対話的で深い学び」の視点から研究・協議を継続していきます。(指導課) ◆国・市学力調査の結果をもとに課題を探り、課題に応じた授業のあり方や実践事例を各小中学校に提供していきます。(総合教育センター、指導課) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆外国籍及び帰国子女が在籍する学校(園)の要請に基づき、言語・文化指導者の派遣を行いました。(指導課) ◆国・市学力調査の結果をもとに課題を探り、課題に応じた授業のあり方や指導資料を各小中学校に提供しました。(総合教育センター) 		
評価指標	◆少人数(TTを含む)授業実施校数	平成30年度数値	◆小学校15校 ◆中学校4校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆外国籍及び帰国子女が日本語や日本の文化を理解し、学校生活に適應できるように言語・文化指導者の派遣ができました。(指導課) ◆昨年度課題となった領域が改善されていた。各学校が課題を意識して取り組んでいると感じました。(総合教育センター)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒が言語及び学校生活に適應できるように支援をしました。(指導課) ◆昨年度課題となった領域が改善されつつあります。各学校が課題を意識して取り組んでいることがわかりました。(総合教育センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆外国籍及び帰国子女の増加に伴い、派遣回数が充分でなかったと考えております。(指導課) ◆資料だけではなく、授業改善につながる具体的な授業のあり方についても明らかにしていく必要があります。(総合教育センター)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆外国籍及び帰国子女が言語及び学校生活に適應するために、言語・文化指導者の派遣を行います。(指導課) ◆国・市学力調査の結果をもとに課題を探り、課題に応じた授業のあり方や指導資料を各小中学校に提供していきます。(総合教育センター)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	幼稚園・保育所・こども園・小学校
施策内容	1 保育・学校教育環境等の整備		
事業名	9 幼稚園・保育所・こども園・小学校関連研修会の推進	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校が連携して、保育・授業参観、合同研修会、相互職場交流研修、園児・児童の交流学習等を開催し、相互の連携に努めます。		
平成30年度 事業目標	◆新学習指導要領と幼稚園教育要領等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の接続をさらに意識した教育・保育に努めます。(幼・こ・保・小)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆幼児教育から小学校教育への円滑な接続をめざし、子どもの発達や教育内容・指導方法について相互理解を図り、指導計画を見直しを実施しました。(幼・小) ◆幼稚園・こども園・保育所・小学校間での計画的、継続的な交流活動と保育・授業の相互参観・授業を実施しました。(幼・小)		
評価指標	◆全体研修会開催回数	平成30年度数値	◆年間3回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆互いの教育・保育実践を見合う中で、発達にふさわしい学びや指導法があることを学びました。(幼・小)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆年間計画に沿って、交流活動や授業・保育参観を実施したことにより、教師と保育者が相互の教育・保育について共通理解を図り、連携の充実につながりました。(幼・小)	◆接続期のカリキュラムを意識した連携について共通理解を図ります。(幼・小)		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆新学習指導要領と幼稚園教育要領等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の接続をさらに意識した教育・保育に努めます。(幼・小)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	1 保育・学校教育環境等の整備		
事業名	10 学校健康教育の推進 (幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・家庭等)	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆思春期の子どもの心身の健康教育、特に体力向上や健康安全教育(エイズ・自然災害・交通災害・喫煙・薬物乱用・食育等)について指導を行います。		
平成30年度 事業目標	◆体力・運動能力については、各学校の実態を確認し、体育の授業の中で補助運動・補強運動として多くの運動を経験させ体力向上に取り組んでいきます。(指導課) ◆教科研修・実技研修・研究会を充実させ、指導力の向上を図ります。(指導課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆平成29年度体力・運動能力のまとめを校長会議、教育委員会議で周知し、児童・生徒の体力・運動能力の向上について、依頼しました。また、「遊・友スポーツランキングちば」への積極的な取り組みを依頼しました。(指導課)		
評価指標	◆学校運動能力証交付率	平成30年度数値	◆小学校男子:25.9% 小学校女子:31.3% 中学校男子:18.8% 中学校女子:47.7%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆引き続き、新体力テストの結果を基に教科、教育活動全体の中で子どもたちの体力・運動能力の向上を図っていきます。(指導課)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆児童生徒の体力向上のため、教育活動全体での運動への取り組みを呼びかけました。(指導課)	◆生涯に渡って運動に親しむ資質の向上や環境づくりを実践していかなければならないと考えます。(指導課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆児童生徒の運動嫌いを減らし、教科体育はもちろん、教育活動の中で運動に親しむ時間を増やし、様々な運動経験をさせていきます。(指導課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	総合教育センター
施策内容	1 保育・学校教育環境等の整備		
事業名	11 青少年・家庭教育相談活動の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名: 教育相談事業 決算額: 475,766円
事業の概要	◆教育相談・特別支援就学相談・青少年テレホン相談において、個々の相談内容に応じて対応・支援します。 ◆幅広い市民の皆様を対象に、来所相談・電話相談・訪問相談等に取り組みます。		
平成30年度 事業目標	◆相談の質の向上に努めるとともに、学校や他機関と積極的に連携します。(総合教育センター)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆教育相談・特別支援教育相談・青少年テレホン相談を行い、個々の相談内容に丁寧に対応支援を行いました。		
評価指標	◆青少年テレホン相談 ◆教育相談件数	平成30年度数値	◆1,350件 ◆3,107件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆表情が明るくなったり、友達と遊べるようになったり、家庭で落ち着いて生活できるようになった子どもたちもいました。 ◆話をしていく過程で考えや気持ちが整理できるようになった子どもたちもいました。 ◆感情的にならず子供の思いを聞けるようになりました、という保護者の声がありました。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆たくさんの相談の依頼があり、悩みを解消することのできたケースもありました。	◆すぐに悩みの解消に至るケースだけでなく、長い時間継続の必要なケースもあり、さらに丁寧な対応が必要であると考えております。		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆継続して丁寧な相談を行うと共に、多くの相談者が利用できるように学校や市民に知らせていきます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	学校教育課・子ども保育課・公民館 幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校
施策内容	1 保育・学校教育環境等の整備		
事業名	12 「食育」の推進 (幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・家庭等)	平成30年度 事業費決算額	公民館講座費(決算額:62,000円) 公民館管理運営費(決算額:18,000円)
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆親子を対象にした適切な食生活習慣を確立させるための講義や指導、調理実習等を開催し、家庭における「食育」を推進します。 ◆幼稚園・保育所・こども園・学校教育全体の中で、食に関する指導を実施し、健全で豊かな食生活を送るために必要な力が身につくような指導を実施します。 ◆保健連絡会等を通して、幼稚園・保育所・こども園・学校との連携を図り、発達段階に応じた食育を実施します。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆食生活全般に関して、興味・関心の低い保護者に対する食育指導を進めていきます。(学校教育課) ◆望ましい食習慣及び生活リズムの形成を図るため、引き続き食育指導案及び教育媒体を検討するとともに家庭への効果的な支援方法について検討します。(こども保育課) ◆引き続き、幼児家庭教育、PTA家庭教育学級において、各家庭で実践できるような子どもの年齢に応じた「食の大切さ」を伝えるプログラムを取り入れます。(公民館) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆朝食の喫食率を調査した結果、朝食が大切だとわかっているが、朝食を毎日食べるという行動につながっていないという実態がわかりました。この結果をもとに、各校で現在実施している授業での「食に関する指導」に加えて栄養教諭・栄養職員と教職員が連携した食育、学校・家庭・地域が連携した食育を取り組みました。(学校教育課) ◆保育所・こども園における食育年間計画に基づき、毎日の教育保育の中で、体験活動や教育媒体を活用し食育を実施しました。(指導課) ◆食育のための教育媒体の活用方法及び指導案の見直しを行い食育の充実を図りました。(指導課) ◆家庭との連携を図るため、食生活アンケートを実施し、配布物や保護者懇談会にて、保護者対象の啓発活動に活かしました。(指導課) ◆保育所・こども園における食育年間計画に基づき、毎日の教育保育の中で、体験活動や教育媒体を活用し食育を実施しました。(こども保育課) ◆食育のための教育媒体の活用方法及び指導案の見直しを図り、さらに各施設の食育活動の実践を見合い内容の充実を図りました。(こども保育課) ◆家庭との連携を図るため、食生活アンケートを実施し、配布物や保護者懇談会等にて、保護者対象の啓発活動に反映させました。(こども保育課) ◆保育所・こども園・幼稚園の職員を対象に食物アレルギーや緊急時の対応等について研修を行いました。(こども保育課) ◆幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級で、「食育」に関する講座内容を取り入れました。(公民館) 		
評価指標	朝食摂取率	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆幼・保・こ:96.0% ◆小学校:91.8% ◆中学校:85.5%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆幼児期から食事への関心を持てるようにすることが大切だと感じた。子どもの栄養を考えた献立を家でも実践したい。(公民館)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】 <ul style="list-style-type: none"> ◆朝食指導を実施し、朝食の大切さを伝えていくとともに、食に関する指導の全体計画等の見直しを行いました。(学校教育課) ◆食育に関する教育媒体の活用方法及び指導案の見直しを行い、より充実した食育が実施できるようになりました。(指導課) ◆食生活アンケートの結果から家庭における食に関する課題等を明確にし、食育へ活かすことができました。(指導課) ◆食育に関する教育媒体の活用方法及び指導案の見直しを行い、より充実した食育の実践につながりました。(こども保育課) ◆食生活アンケートの結果から家庭における食に関する課題等を明確にし、保育所・こども園における食育活動に反映させることができました。(こども保育課) ◆食生活や食の安全について関心を高め、意識付けることができました。(公民館) 	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】 <ul style="list-style-type: none"> ◆朝食を食べてこない児童・生徒への個別の声掛けが必要です。(学校教育課) ◆食育は、子ども達が健康的な生活を営む力を育むことが目的であり、家庭及び施設において継続的に実施することが必要であることから、引き続き、食生活アンケートを実施し、家庭と食に関する課題を共有し食育に活かしていきます。(こども保育課) ◆PTA家庭教育学級で全校にとり入れる調整が課題です。(公民館)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆食生活全般に関して、興味・関心の低い保護者に対する食育指導を進めていきます。(学校教育課) ◆望ましい食習慣及び生活リズムの形成を図るため、引き続き食育指導案及び教育媒体を検討するとともに家庭への効果的な支援方法について検討します。(指導課・こども保育課) ◆引き続き、幼児家庭教育学級・PTA家庭教育学級において、各家庭で実践できるような子どもの年齢に応じた「食の大切さ」を伝えるプログラムを取り入れます。(公民館)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・習志野高等学校
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	13 キャリア教育の推進(小学生・中学生・高校生)	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆小学生・中学生を対象にした職場体験を充実させます。 ◆職場体験を受け入れる企業を開拓します。 ◆中学校で、現在ある職業について学習する機会を増やします。 ◆高校3年間を見通した組織的な進路指導を充実させます。 ◆部活動を含めた学校教育全体を通じたキャリア教育を推進します。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆研修会や学校訪問を通してキャリア教育についての共通理解を深め、その充実を図ります。(指導課) ◆保護者と連携しながら、普段の学校生活や職場体験、会社訪問等を通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成に努めます。(指導課・習志野高等学校) ◆進路学習会等を開催し、様々な職業や上級学校についての理解を深め、主体的に進路選択ができるよう、指導・援助を行います。(指導課・習志野高等学校) ◆3年間の計画を見直し、適切な時期により多くの事業が展開できるよう工夫します。(習志野高校) ◆職場体験や会社訪問等を通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成に努めます。(習志野高等学校) ◆進路学習会等を開催し、様々な職業や上級学校についての理解を深め、主体的に進路選択ができるよう、指導・援助を行います。(習志野高等学校) ◆適宜計画を見直し、適切な時期により多くの事業が展開できるように工夫します。(習志野高等学校) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校訪問・研修会を通してキャリア教育についての共通理解と充実を図りました。(小・中学校) ◆職場体験学習を通して、仕事に対する考え方、将来の自分を考えさせる手立て、日常の学習や生活習慣やコミュニケーションの大切さを実感する機会としました。(小・中学校) ◆各学校にて進路学習会を開催し、具体的な情報を学び、今後の進路に向けた筋道について研修し、意識を高めることができました。(小・中学校) ◆3年生は、進路志望先別の見学会を4月に実施し、主体的な進路選択ができるよう指導・支援しました。(習志野高等学校) ◆保護者と連携しながら、進路指導の理解を深められるよう、保護者対象の進路講演会を実施しました。(習志野高等学校) ◆3年間を視野に入れ、各学年で適切な進路学習会等に取り組み、進路実現に向けて取り組みました。(習志野高等学校) 		
評価指標	◆職場体験実施校数	平成30年度数値	◆小学校16校・中学校7校・高校1校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆職場見学や職場体験により、子どもが就職や進路について具体的に考える学習ができ、意識が高まりました。(小・中学校) ◆自分の進路希望先の見学や、進路学習会等をおとして、進路に対する意識が高まりました。(習志野高等学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆個人情報保護等の観点から、市役所等でも体験活動の受け入れが難しくなっている状況があります。(小・中学校) ◆より多くの進路志望先の見学を行うことが、必要であると思われるが、限られた時間の中で実施が難しいことが課題です。(習志野高等学校)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆研修会や学校訪問を通してキャリア教育についての共通理解を深め、その充実を図ります。(指導課) ◆保護者と連携しながら、普段の学校生活や職場体験、会社訪問等を通して、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成に努めます。(指導課) ◆進路学習会等を開催し、様々な職業や上級学校についての理解を深め、主体的に進路選択ができるよう、指導・援助を行います。(指導課) ◆生徒の進路実現に向けて、より効果的な進路学習会等を実施していきます。適宜計画を見直しながら、各学年で適切な内容が実施できるよう工夫します。(習志野高等学校)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	14 福祉教育の推進	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆社会福祉協議会と連携を図り、福祉教育やボランティア活動に取り組んでいきます。 ◆勤労精神やボランティア精神を養う体験的な活動を経験するため、中学生の地域美化活動、地域独居老人給食サービスの手伝い、地域敬老会への参加等を推進します。		
平成30年度 事業目標	◆社会福祉協議会等と連携して、福祉教育やボランティア活動等の充実を図り、子どもたちの心身の成長と自立を目指していきます。(指導課・小学校・中学校) ◆高齢者支援課と連携し、校長会を通じて「認知症サポーター研修」の効用を一層周知します。(指導課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆総合的な学習の時間等を使って、地域のボランティアや各種コンクールへの参加、高齢者施設の訪問福祉体験学習等に積極的に参加しました。(指導課・小学校・中学校) ◆社会福祉協議会の講座を活用したり、長期休みに協議会のボランティアに参加する子ども達もいました。(指導課・小学校・中学校)		
評価指標	◆ボランティア活動実施校数	平成30年度数値	◆小学校16校・中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆福祉体験や福祉施設との交流等を通して福祉に対する子ども達の理解が深まり、子ども達の心身の健全な成長と自立を支える支援につながりました。(指導課・小学校・中学校)	◆特にありません。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆社会福祉協議会等と連携して、福祉教育やボランティア活動等の充実を図り、子どもたちの心身の成長と自立を目指していきます。(指導課・小学校・中学校) ◆高齢者支援課と連携し、校長会を通じて「認知症サポーター研修」の効用を一層周知します。(指導課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	クリーンセンター クリーン推進課 谷津干潟自然観察センター・公園緑地課
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	15 環境教育の推進	平成30年度 事業費決算額	事業名:リサイクルプラザ事務費 決算額:347,760円
事業の概要	◆小学生の環境教育を推進するための一環として、クリーンセンター(リサイクルプラザ・清掃工場)、谷津干潟自然観察センターの施設見学を実施します。		
平成30年度 事業目標	◆子どもたちがごみの減量や3Rについて、より興味を持ってもらえるような説明方法等を検討します。また、引き続き各小学校の担当者への事前説明会を開催し、見学が円滑に行えるよう協力を要請します。(クリーン推進課) ◆新たに購入した双眼鏡を活用し自然観察を伴う体験学習の充実を図ります。(公園緑地課) ◆施設見学をきっかけに再度谷津干潟に来てもらうために、谷津干潟の日フェスタちらしの配布やジュニアレンジャープログラムの告知を行います。(公園緑地課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆市内16校の小学4年生担任の教員向けにクリーンセンターと谷津干潟自然観察センターの事前説明会を実施しました。(公園緑地課) ◆市内16校の4年生を対象に谷津干潟ビンゴシートを活用して干潟の生きもの観察を行い、レンジャーによる干潟の生きものつながりや谷津干潟の歴史、ラムサール条約についてレクチャーを行いました。(公園緑地課) ◆観察センターボランティアと日程や活動内容を共有し、観察をサポートを呼び掛けました。ボランティアの協力で館内・野外での観察案内が充実しました。(公園緑地課) ◆谷津干潟ジュニアレンジャー活動に参加している児童に、代表してジュニアレンジャーの活動紹介をしてもらいました。(公園緑地課) ◆限られた時間内で児童がスムーズに各施設や展示物の見学を行えるよう、小学校担当者向けの事前説明会を開催しました。また、平成31年度の施設見学のため、各小学校の見学日の日程調整を行いました。(クリーン推進課) ◆見学行程に、資源リサイクルを紹介するDVDの視聴を加えました。(クリーン推進課) ◆小学生が見学時に使用するパンフレットと啓発用クリアファイルを作成、配布しました。(クリーン推進課) 		
評価指標	◆谷津干潟自然観察センター ◆クリーンセンター見学児童数	平成30年度数値	◆1,488名(公園緑地課) ◆小学4年生見学者数:1,475人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆引率の先生のアンケートより抜粋(公園緑地課) <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の興味をそそるビンゴを使ってレンジャーさんたちが詳しく解説してくださったので分かりやすかったです。 ・双眼鏡は授業で扱うことがないので使い方を全体で確認できたことが良かったです。生きもの特徴も教えていただいたので、今後への意欲づけにつながりました。 ・1人1人が観察できる時間がしっかりあったので、子ども達にとって効果的だった。 ◆引率の先生の意見・感想から抜粋(クリーン推進課) <ul style="list-style-type: none"> ・子供にも分かりやすい言葉で説明してくれた。 ・見学の際に各グループに2名の係員がいたので、安全に安心して見学できた。 ・映像で学習し、それを実際に自分の目で確かめるとい流れは分かりやすい。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆観察センターボランティアによる観察案内のサポートを強化し、事前に各小学校の来館予定表を配布して案内の協力を呼びかけたことで、のべ119名のボランティアの協力が得られました。(公園緑地課) ◆観察のふりかえりで生きものの動画や、谷津干潟の生きものの最新のニュースなどを活用しました。(公園緑地課) ◆施設を見学してもらうことで、ごみ処理の現状や3Rの大切さについて、子供たちに興味をもってもらう機会を提供することができました。(クリーン推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ビンゴシートに書かれている言葉が分かりづらかったり、課題が季節に合わないものがあつたので内容を検討し、修正をします。(公園緑地課) ◆時間の制約がある中で、生徒数の多い小学校の見学をスムーズに行うには、まだ工夫が必要だと感じました。(クリーン推進課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ビンゴシートの内容を修正し、体験学習の更なる充実を図ります。(公園緑地課) ◆引き続き各小学校の担当者への事前説明会を開催し、見学が円滑に行えるよう協議を行います。また、設置から時間が経過した案内表示の交換等を行います。(クリーン推進課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	こども保育課・指導課
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	16 鹿野山宿泊保育・学習の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆鹿野山少年自然の家で、自然体験のため宿泊保育・学習を実施します。		
平成30年度 事業目標	◆幼児一人一人の健康状態に十分留意し、宿泊保育に参加する中で、五感を通した自然体験と、幼児間の交流の深まりと自立心を養う生活ができるようにします。(こども保育課) ◆引き続き鹿野山セカンドスクールを小学4～6年生の3学年で実施し、自然体験活動、宿泊学習のさらなる充実を図ります。(指導課・小学校)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆事前準備や気候、幼児一人一人の健康状態等に十分留意し、幼児の自然体験の充実と自立に向かう力を育む宿泊保育を実施しました。(こども保育課) ◆各学校で様々な活動を子ども達の実態をふまえて工夫して取り入れ、充実した宿泊学習が展開されました。また、宿泊学習を通しての心身の成長及び友達との絆の深まりが感じられました。(指導課・小学校)		
評価指標	◆園児・保護者の満足度割合(保護者アンケートに「成果がみられた」と回答した人数比)	平成30年度数値	◆99.7%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆宿泊保育を経験したことで、自分のことをできるようになり、自立への一歩につながった。友達や自然のことが好きになったように思う。(こども保育課) ◆火起こし体験が楽しかった。むかしの人の苦勞を知ることができてよかった。(6年生より)(指導課) ◆みんなで長い距離の山歩きを協力して最後まで歩くことができた。(4年生)(指導課)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆自分のことを自分でできる自信につながりました。(こども保育課) ◆クラスとしてのまとまりや結びつきが強まりました。(こども保育課) ◆各学校で様々な活動を工夫して取り入れ、充実した宿泊学習が展開された。集団宿泊学習を通して、効果的に心身の成長及び友達との絆の深まりが見られました。(指導課・小学校) ◆大きなケガや病氣、事故もなく1年間を終えることができました。(指導課・小学校) ◆小学校から体験学習を通してつけさせたい力を自然の家の所員も理解して指導にあたるスタイルが定着してきました。(指導課・小学校)	◆熱中症対策等幼児の健康状態に十分留意する必要があると感じています。(こども保育課) ◆学校もより具体的なつきたい力を考え、自然の家に提案していくことができるとよいと思います。(指導課) ◆自然の家の所員の働く姿を通して、若年層教員が学ぶ研修の機会にできるとよいと思います。(指導課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	◆気候や幼児一人一人の健康状態に十分留意し、宿泊保育に参加する中で、五感を通した自然体験と、幼児間の交流の深まりと自立心を養う生活ができるようにします。(こども保育課) ◆引き続き鹿野山セカンドスクールを小学4～6年生の3学年で実施し、自然体験活動、宿泊学習のさらなる充実を図ります。(指導課・小学校)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	防犯安全課
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	17 青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成	平成30年度 事業費決算額	事業名: 犯罪のない安全で安心なまちづくり事業 決算額: 4,643,149円
事業の概要	◆自主・自立の防犯対策や青少年の健全育成を目的に、小学生と中学生で組織される青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆各種キャンペーンや自転車防犯診断により犯罪発生件数の減少を目指します。(防犯安全課) ◆各種キャンペーン等により、市民などの防犯意識の高揚を図ります。(防犯安全課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民まつりにおけるオープニングパレードに参加しました。 ◆自転車防犯診断(京成津田沼駅、JR新習志野駅)を実施しました。 ◆市内7駅において街頭啓発キャンペーンを実施しました。 ◆本大久保地区の防犯マップを作製しました。 ◆習志野警察署主催の歳末防犯啓発キャンペーンに参加しました。 ◆習志野市安全で安心なまちづくり市民大会に参加した。また、有志による防犯寸劇を行いました。 		
評価指標	◆キラット・ジュニア防犯隊隊員数	平成30年度数値	203人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆各種啓発キャンペーンを実施したことにより、市内犯罪発生件数が昨年比39件減少しました。(H29 1538件、H30 1499件) ◆防犯マップ作製を行ったことにより、児童・生徒の危険回避能力を養えました。(防犯安全課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各種啓発キャンペーンを行ったことにより犯罪発生件数は減少しましたが、市内において電話de詐欺の被害が多数あるため、市民が詐欺被害に遭わないよう、より一層の注意喚起が必要と考えます。(防犯安全課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆各種啓発キャンペーンを行ったことにより犯罪発生件数は減少しましたが、市内において電話de詐欺の被害が多数あるため、市民が詐欺被害に遭わないよう、より一層の注意喚起が必要と考えます。(防犯安全課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	学校教育課・こども保育課
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	18 子ども向け防犯教育の徹底	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆子どもたちが自分の身を守るためにどうしたらよいかを考え、行動できるように、防犯教育の徹底を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆通学路安全協議会とも連携し、危険箇所の改善を進めていきます。(学校教育課) ◆計画的な訓練を職員が関係機関と連携して実施します。その中で、子どもたちが安全な行動がとれるようにしていきます。また、危険認知や危険回避の意識が高まるようにしていきます。(こども保育課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆小学校の総合的な学習の時間において安全マップを作成しました。(学校教育課) ◆安全主任研修で教育計画の見直しを呼びかけました。(学校教育課) ◆教育計画に基づき、計画的な訓練を実施しました。子ども自身が訓練の必要性が分かり、訓練後は振り返りを行って安全な行動が身に付くように指導しました。(学校教育課) ◆子どもたちが安全な行動がとれるよう、計画的に訓練を実施しました。(学校教育課) ◆子どもたちが自分の身を守る行動が身に付くように計画的に訓練を実施しました。(こども保育課)		
評価指標	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校での防犯教育実施率	平成30年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆訓練を通して、安全に対する意識や自分の身を守る意識が向上した。(こども保育課)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆安全マップを作成し、結果を昇降口等、校内に掲示し、児童生徒へ周知できた学校がありました。(学校教育課) ◆子どもたちが安全に過ごすための話の聞き方や落ち着いて避難することの大切さを繰り返し知らせたことにより身に付きました。(学校教育課) ◆警察署と共催または自施設で計画的に訓練を実施し、防犯の合言葉を覚え、避難の仕方が身に付きました。また、こども保育課職員も施設の訓練を参観し、警察、施設、行政の三者で情報共有を行いました。(こども保育課)	◆危険箇所については、教職員と児童生徒で周知し、児童生徒の危険予知・回避能力の向上を図るよう普段から指導していくことが大切です。(学校教育課) ◆不審者情報が増えている現状からより自分の身を守る意識の向上を図ることが必要です。(こども保育課)		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆通学路安全協議会とも連携し、危険箇所の改善を進めていきます。(学校教育課) ◆計画的な訓練を職員が関係機関と連携して実施します。その中で、子どもたちが自ら安全な行動がとれるようにしていきます。また、危険認知や危険回避の意識が高まるようにしていきます。(こども保育課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	生涯スポーツ課
施策内容	2 体験活動の機会の充実		
事業名	19 スポーツ教室の開催	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆スポーツ施設等で児童を対象としたスポーツ教室を定期的に開催します。		
平成30年度 事業目標	◆子ども達だけでなく保護者も積極的に参加させたいような教室の運営と、市民のニーズに対応するべく、より多くの参加希望者を受け入れるための実施回数や会場の見直し等に取り組みます。 ◆来たる2020年オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みや、8月に行われる世界女子ソフトボール選手権大会において、子ども達にも世界トップクラスのプレーを間近で見る機会や選手との触れあう機会の提供を実施します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆市内小学生を対象としたテニス・水泳・サッカー・かけっこ等の短期教室や当日参加型の多目的（ダンス・なわとび・体操・クライミング等）のスポーツ教室、さらにはなわとび大会などを実施いたしました。 ◆親子や三世代で参加できるサッカー・マラソン・パークゴルフ等のスポーツ大会を実施し、親子間のみならず三世代でのコミュニケーションを育む機会の提供をしました。 ◆学ぶスポーツとして、元気なからだ作りを食事から学ぶキッズクッキング教室や支えるスポーツとして阿武松部屋に協力いただきすもう教室を実施するなど、様々なスポーツ機会を提供しました。		
評価指標	◆開催事業参加人数	平成30年度数値	◆4,998人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆【事業後アンケートより】 ・学校で教えてもらえない細かいコツを指導していただき、個人的な指導で成功に繋がりが自信がついたようです。(体操) ・水分補給や休憩をたくさん取っていただき、安心して参加させることができました(テニス) ・未就学児対象のものをもっと増やしてほしいです。(親子体操) ・事前に支払いに行くのが少しめんどろ。(サッカー)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子どもの体力低下が問題視される中で、普段スポーツを行う機会や場所が限られている子どもたちに、気軽に誰でも参加できる教室を実施することでスポーツの楽しさを味わったり、運動能力の向上への手助けや運動不足の解消など、スポーツに取り組むきっかけや仲間作りの場を提供できたと思います。 ◆実際に学校以外での友達が増えた、新たなスポーツへ参加をしたという声が上がっています。 ◆広報活動にも力を入れたことにより、前年度に比べ参加者数も多くなり、少しずつスポーツ人口の向上につながっていると感じます。	◆猛暑の影響により、夏場の短期教室等の運営に関し、苦慮しました。水分補給や休憩を多くとったり、塩分補給対応など例年より一層力を入れたことにより大きな事故にはなりませんでしたが、体調不良者の対応などに追われました。より熱中症対策が必要です。 ◆キッズスポーツやパークゴルフファミリー大会等、種目によっては参加が少ない教室や大会もあったので、よりPRが必要であると感じました。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆これまで以上に子どもの体力向上に寄与すべく、参加しやすい、親しみやすい、魅力ある事業を展開するとともに、人気のある教室(かけっこ教室)は学年で時間を分け、多くの子供たちが参加できるように検討します。 ◆親子対象の事業を多く開催することで、子ども自身のスポーツへの興味関心の向上とともに、親がスポーツとの関わりやスポーツに対する意識向上につなげられるよう、内容だけでなく指導や運営に力を入れていきます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	男女共同参画センター
施策内容	3 次代の親の意識づくり		
事業名	20 男女共同参画を推進する意識づくり	平成30年度 事業費決算額	事業名：男女共同参画啓発事業 決算額：177,352円
事業の概要	◆「習志野市男女共同参画基本計画」に基づき、講座の開催やパンフレットの配布等で、男女平等推進のための意識づくりを進めます。		
平成30年度 事業目標	◆働き方改革とワーク・ライフ・バランスの推進を目的として、多様な生き方、働き方への関心を高める講演会等を開催します。地域の中に「パラレルキャリア」の実践者を増やす取り組みを行います。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆平成30年7月29日に男女共同参画週間事業シンポジウム「見つめてみよう！私たちの働き方」を開催しました。 ◆平成30年11月23日にパラレルキャリアスタートアップ講座「複業で見つける新しい自分」を開催しました。		
評価指標	◆男女共同参画週間にあわせた講演会等実施回数	平成30年度数値	◆2回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆男女共同参画週間事業シンポジウム：・自分自身の考え方などの振り返りができた。・男性からの見方、男性が自ら大事にするなど大変参考になりました。・今の働き方を考えるきっかけになりました。 ◆パラレルキャリアスタートアップ講座：・自分自身の強みを認識できた。・自分自身を見つめ直す良い機会になりました。・自分にとって未知の分野で価値観が広がりました。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆男女共同参画週間事業シンポジウムでは、参加者の7割が50歳代以下であり、男性学の視点から男性の抱える生きづらさについて理解を深め、働き方・生き方を見直すきっかけとなりました。また、パラレルキャリアスタートアップ講座においても参加者の7割が30～40歳代であり、本業以外に自ら率先して社会貢献活動等を考え、働き方を見直す機会となりました。子育て世代が多く参加することで、家庭内での男女共同参画への意識づくりへとつながりました。	◆講演会等に若い世代の人たちに多く参加してもらうための企画、周知方法を検討する必要があります。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆男女共同参画週間に合わせ、若い世代への男女共同参画の意識啓発へとつながる講演会を実施します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	2 子どもが健康でたくましく成長できる教育・保育環境の充実	担当課	健康支援課・公民館・幼稚園・こども園・小学校 中学校・指導課・学校教育課
施策内容	3 次代の親の意識づくり		
事業名	21 年代に応じた「いのち・性」の教育の充実	平成30年度 事業費決算額	母子保健活動事業(決算額:11,313,571円) 公民館講座費(決算額:290,000円) 公民館管理運営費(決算額:20,000円)
事業の概要	<p>◆自分だけではなく、他人も思いやり、互いのいのちを大切にするための支援の一環として、子ども・保護者に向けて、「いのち・性」の大切さを啓発する活動や学習の機会の充実を図り、自分自身が愛されて育てられたということを理解し、自分自身を肯定的に受け止められるように支援します。</p> <p>◆幼稚園・こども園・学校・PTA・公民館・健康支援課等の関係機関が連携し、「乳幼児健康相談事業」、「幼稚園健康教育」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」等、それぞれの年代に応じて、一貫した「いのち・性」の健康教育を行います。</p>		
平成30年度 事業目標	<p>◆引き続き、継続的な教育の機会を設けるとともに、関係機関との連携を深め、教育内容の充実に努めます。(健康支援課)</p> <p>◆引き続き幼児家庭教育学級、PTA家庭教育学級において、各家庭に応じた性教育や「いのち」の大切さを伝えるプログラムを取り入れます。(公民館)</p> <p>◆引き続き、遊びや生活を通して相手の気持ちに気づき、相手の立場に立って考えられる思いやりと優しい心を育む指導をしていきます。(こども保育課)</p> <p>◆発達段階に合わせた性教育の実施について周知徹底を図るとともに、今後も小中学校の連携を図り、発達段階に応じた更なる教育の充実に努めていきます。(指導課)</p>		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<p>◆公立幼稚園との協働による幼稚園健康教育、公民館主催の育児講座、幼児家庭教育学級、学校との連携による健康教育(就学時健診)などの中で、乳幼児期の保護者に対して、子どもとの関わり方や「いのち・性」についての内容を取り入れて健康教育を実施しました。(健康支援課)</p> <p>◆4、10か月児健康相談では、基本的信頼関係の確立や日々のお世話を通じた子どもとの向き合い方について、媒体を用いて伝えています。また、1歳6か月、3歳児健康診査、就学児健診の会場で「いのち・性」に関する絵本を提示し、親子で話しができるきっかけとなるよう情報提供を行いました。(健康支援課)</p> <p>◆ママ・パパになるための学級では、妊婦とそのパートナーに対して妊娠の奇跡、命の大切さについて教育を行いました。(健康支援課)</p> <p>◆小中学校ともに体育・保健体育の保健分野で性教育について扱い、発達段階に合わせ心の発達も含めて指導しています。(指導課)</p> <p>◆遊びや生活を通して相手の気持ちに気づき、相手の立場に立って考えられる思いやりと優しい心を育む指導を行いました。(こども保育課)</p> <p>◆幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級で「いのち」や性教育に関する講座を実施しました。(公民館)</p>		
評価指標	◆「いのち・性」に関する健康教育実施回数	平成30年度数値	◆413回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>◆幼稚園健康教育では「子どもの産まれた時を思い出す良いきっかけになった」「性についての質問について子どもと向き合いたい、絵本を参考にしたい」「さまざまな機会に産まれてきてくれてありがとうのメッセージを伝えていきたい」などの感想がありました。(健康支援課)</p> <p>◆友達や家族に対する優しい気持ちや思いやりの姿が見られるようになりました。(こども保育課)</p> <p>◆専門家による性教育を我が子と共に聞けて、親として真剣に考える機会になった。小さい頃からのスキンシップや子どもからの質問に親が向き合うことで、困ったときに相談できる環境が整い、正しい性知識を得ることができることを学んだ。(公民館)</p>
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<p>◆乳幼児健康相談事業、幼稚園健康教育、ママ・パパになるための学級などで、乳幼児と保護者、妊婦とそのパートナーに対して健康教育を行い、いのちの大切さや性についての教育を行いました。また、1歳6か月、3歳児健康診査の会場では、情報提供のために提示した「いのち・性」に関する絵本を、親子で読んでいた様子が見られました。上記2の通り、目的に沿った感想が聞かれていると考えられます。(健康支援課)</p> <p>◆生活の中で様々な場を捉えて、相手の気持ちに気付くような援助や、友達や自分を大切に思う気持ちを育めるような指導を行ってきたことにより、思いやりの気持ちや行動が見られるようになりました。(こども保育課)</p> <p>◆子どもに寄り添い、見守る意識をつけることができた。正しい知識を学ぶことで子育ての安心につながりました。(公民館)</p>	<p>◆あらゆる機会を利用し、繰り返し「いのち・性」に関する情報提供を行っていく必要があります。(健康支援課)</p> <p>◆毎年同じ内容の講座にならないように工夫することや、母親だけではなく父親にも参加してもらうことが課題です。(公民館)</p>
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度事業目標	<p>◆引き続き、継続的な教育の機会を設けるとともに、関係機関との連携を深め、教育内容の充実に努めます。(健康支援課)</p> <p>◆引き続き、遊びや生活を通して相手の気持ちに気付いたり相手の立場に立って考えられたりする、思いやりと優しい気持ちを育む指導をしていきます。(こども保育課)</p> <p>◆引き続き、幼児家庭教育、PTA家庭教育学級において、各家庭に応じた性教育や「いのち」の大切さを伝えるプログラムを取り入れます。(公民館)</p>
------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	教育総務課
施策内容	1 施設環境の充実		
事業名	22 小中学校施設の整備	平成30年度 事業費決算額	事業名: 小学校大規模改造事業・中学校大規模改造事業・谷津小学校校舎改築事業・第二中学校体育館改築事業 決算額: 1,439,466,861円
事業の概要	◆学校施設再生計画に基づき、学校施設の大規模改修、長寿命化、改築等を行い、安全で潤いのある教育環境の整備を行います。		
平成30年度 事業目標	◆学校施設再生計画に基づき、学校施設の大規模改修工事等を実施します。 【小学校】 ・谷津小学校建替え工事への着手 ・袖ヶ浦西小学校、東習志野小学校の老朽化対策等大規模改修工事を実施しました。 ・屋敷小学校(トイレ)、藤崎小学校(トイレ)、向山小学校(トイレ)の大規模改修工事 ・谷津南小学校の大規模改修工事設計委託 【中学校】 ・第一中学校(トイレ)、第四中学校、第六中学校(トイレ)の大規模改修工事		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆【小学校】 ・谷津小学校全面改築工事に着手しました。(校舎は2020年9月共用開始予定) ・袖ヶ浦西小学校、東習志野小学校の老朽化対策等大規模改修工事を実施しました。 ・屋敷小学校(トイレ)、藤崎小学校(トイレ)、向山小学校(トイレ)の大規模改修工事を実施しました。 ・谷津南小学校の大規模改修工事の設計業務に着手しました。(2019年度～2020年度) ◆【中学校】 ・第四中学校の老朽化対策等大規模改修工事を実施しました。 ・第一中学校(トイレ)、第六中学校(トイレ)の大規模改修工事を実施しました。 ・第二中学校体育館の全面改築を実施しました。(2017年度～2019年度)		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆第二中学校の体育館が新しくなりとてもうれしい、トイレがきれいになってうれしいという声がありました。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆トイレや老朽化対策工事等を行ったことで、学校の学習環境が向上しました。	◆トイレ改修は実施できたが、老朽化している施設の改修は先送りとなっています。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆学校施設再生計画に基づき、学校施設の大規模改修工事等を実施します。 【小学校】 ・谷津小学校全面改築工事を進め、7月末までに校舎を完成させます。 ・袖ヶ浦東体育館のトイレ改修工事の設計を行います。 ・谷津南小学校の大規模改修工事の設計を完了させます。(2019年度～2020年度)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	こども政策課
施策内容	1 施設環境の充実		
事業名	23 保育所補修整備の推進	平成30年度 事業費決算額	事業名: 保育所施設管理事業 決算額: 30,278,251円
事業の概要	◆安全で安心な保育環境を保持するため、保育所の施設整備、改修を計画的に推進します。		
平成30年度 事業目標	◆秋津保育所ブランコ設置工事を実施します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆秋津保育所ブランコ設置工事を実施しました。 ◆その他保育施設の老朽化所の修繕、改修工事を実施しました。		
評価指標	◆屋上防水改修施設数	平成30年度数値	◆0施設

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません
-----------------------	----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆安全で安心して過ごせる保育環境の整備ができました。		◆各施設の防水工事以外にも、エアコン改修工事などが必要なため、整備計画に基づき、改修する必要があります。	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆安全で安心して過ごせる保育環境の整備に努めます。
----------------	---------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	都市政策課・都市計画課 道路課・各施設所管課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	24 駅、公共施設、道路等のバリアフリー化	平成30年度 事業費決算額	公共交通政策事業(決算額:63,740,743円) バリアフリー対策事業(決算額:2,592,000円)
事業の概要	◆駅や公共施設における手すりやエレベーターの設置等の整備・改善について関係機関の協力を得ながら促進します。 ◆歩道の段差改善等のバリアフリー化を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆JR京葉線新習志野駅のホームの内方線付点字ブロックの設置を予定しています。(JR東日本千葉支社にて)(都市政策課) ◆市道00-002号線のバリアフリー化を図ります。(道路課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆JR京葉線新習志野駅ホームの内方線付点字ブロックの設置(JR東日本千葉支社にて)を確認した。ラッチ外の点字ブロックの接続不具合についてJR東日本千葉支社へ設置要望を行ないました。(都市政策課) ◆市道00-002号線歩道において視覚障がい者誘導用ブロックの設置及び、歩行面の勾配改善等の改良工事を実施しました。(道路課)		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆駅施設の安全性が向上した。(都市政策課)
-------------------	-----------------------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆市内全鉄道駅に内方線付点字ブロックの設置が完了しました。(都市政策課) ◆視覚障がい者誘導用ブロックの設置、歩行面の勾配改善等を行うことで、バリアフリー化を図ることができました。(道路課)	◆ラッチ外の点字ブロックにおいて一部未整備区間が確認されたことから、JR東日本千葉支社へ接続要望を行っている。完了まで引き続き注視していく必要があります。(都市政策課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆JR東日本に対して、新習志野駅のラッチ外の点字ブロックの一部未整備区間について早期対応を要望していきます。(都市政策課) ◆JR津田沼駅北口駅前広場のバリアフリー化を図ります。(道路課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	学校教育課・指導課・子ども保育課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	25 学校安全の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆①総合的な学校安全計画作成・整備、②学年や年齢に合わせた交通安全教室の充実・指導の徹底、③安全点検の充実・事後処理の徹底、④学校安全関係者の質的向上、⑤学校・行政・地域が連携した通園・通学路の点検・改善整備を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆中学校におけるスケアードストレイトは、生徒だけでなく保護者にも案内を出し、見学し家庭教育にも活かしていきます。(学校教育課) ◆避難訓練や市内一斉全小中学校における防災訓練等における反省を学校防災マニュアルの見直しにいかし修正していきます。(学校教育課) ◆「危機管理マニュアル」の見直しや訓練計画の作成に努めます。(子ども保育課) ◆年齢に応じた交通安全指導を充実させます。また、交通安全協会等と連携を図り、交通安全に対する親子の意識向上に努めます。(子ども保育課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆中学校におけるスケアードストレイトは、保護者にも案内をし、参加の呼びかけをしました。(学校教育課) ◆第三中学区の小中学校4校の防災に関する中核教員が集まり、共通取組事項等について協議し、安全主任等研修会をとおして各学校へ通知しました。(学校教育課) ◆実際起きた事業を基に、子ども保育課と庁内他機関で協議をし、スムーズな連携、密な情報共有が取れるように危機管理マニュアルの見直しを行いました。(学校教育課) ◆上半期に学校警察連絡会を1回、生徒指導主任会議を4回、生徒指導担当教員会議を11回行いました。その中で、小中学校の連携を図り、情報交換を行いました。(指導課) ◆他連携機関と協議をし「危機管理マニュアル」の見直し、確認を行いました。(子ども保育課) ◆県の指定を受け、秋津保育所にて県警察署との交通安全教室を行い、保護者や他施設職員も参観または情報提供をし、交通安全教育の充実にも努めました。(子ども保育課)		
評価指標	◆小学校・中学校での安全計画作成割合 ◆小学校・中学校での交通安全教室実施率	平成30年度数値	◆100% ◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆信号の見方、道路の安全な歩き方等が身につけてきている。(子ども保育課)
-------------------	--------------------------------------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆安全主任等研修会にて、地域防災マップを活用し、危険箇所等の確認ができました。また、大震災が発生したときの学校(教職員)の対応について確認ができました。(学校教育課) ◆計画的な交通安全教育や親子の交通安全指導、交通安全に意識を向ける配布物等によって、子ども、保護者の意識が高くなりました。(子ども保育課)	◆各学校の危機管理マニュアル(防災計画等)の見直しを図っていきます。(学校教育課) ◆就学後に交通事故事案が多いことを受け、就学前に交通安全への意識や安全な行動を身に付けることが必要です。(子ども保育課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆危機管理マニュアルの見直しを図るとともに、実効性のある訓練の実施に努めていきます。(学校教育課) ◆「危機管理マニュアル」の見直しや訓練計画の作成に努めます。(子ども保育課) ◆年齢に応じた交通安全指導を充実させます。また、警察署、交通安全協会等と連携を図り、交通安全に対する親子の意識向上に努めます。(子ども保育課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	26 子育て応援ステーション事業の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆乳幼児を連れて、安心して外出できる環境を整えるため、授乳やおむつ交換ができる場を整備します。		
平成30年度 事業目標	◆整備したおむつ替えや授乳を行うためのテント等の貸出の周知を図り、貸出を促していきます。 ◆平成30年4月1日付けでチーパスが更新されることに伴い、各保育所・こども園、幼稚園及び小学校、また各こどもセンター、きらっ子ルームにおいて新しいチーパスの配布、ポスターにおける周知を行います。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆授乳やおむつ交換の場を提供いただける子育て応援ステーションの協力店舗、及び、イベントや災害時に授乳やおむつ替えを行うためのテント等の貸出について、広報やホームページ等に掲載し、市民に対し周知を図りました。 ◆子育て応援ステーションの協力店舗については新規で整骨院1か所を追加しました。 ◆平成30年4月1日付けでチーパスが更新されることに伴い、各保育所・こども園、幼稚園及び小学校、また各こどもセンター、きらっ子ルームにおいて新しいチーパスを配布し、ポスター及び啓発物品において周知を行いました。		
評価指標	◆協力店舗数	平成30年度数値	◆16店舗

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆子育て応援ステーションの看板に気付き、おむつ替えに利用できて助かりました。 ◆近所にチーパス協賛店があり、利用しやすいです。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆授乳やおむつ替えの環境を整備することで、特に乳幼児を持つ子育て家庭が安心して外出及び災害時においても授乳ができるようになり、子育てに対する安心感につながりました。 ◆千葉県が実施している「子育て応援！チーパス事業」についてチーパスカードが更新になっていることから、その周知等に努め、子育て家庭の支援のほか、子育て支援の機運の醸成につながりました。	◆授乳やおむつ交換の場を提供していただける子育て応援ステーションの協力店舗を増やしていく必要があります。 ◆イベント等に使用できるおむつ替え及び授乳用テント等の貸出の周知を引き続き図る必要があります。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆整備したおむつ替えや授乳を行うためのテント等の貸出の周知を図り、貸出を促していきます。 ◆引き続き、平成30年4月1日付けで更新されたチーパスの周知を行います。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	公園緑地課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	27 公園施設の整備	平成30年度 事業費決算額	事業名:公園維持管理事業 決算額:10,749,448円
事業の概要	◆公園施設は、子どもの視点に立った整備に配慮します。		
平成30年度 事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、職員による遊具の安全点検を実施するとともに、地域住民参加型の公園維持管理業務を実施し、危険箇所を見つけ次第、遊具の修繕を実施します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆職員による日常パトロールを実施し、破損箇所や危険箇所を見つけ次第、修繕等を実施しました。		
評価指標	◆点検結果に応じた危険な遊具の修繕・撤去数	平成30年度数値	◆修繕 11 件 撤去 3 件 更新 9 件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆遊具の安全点検を実施した結果、老朽化等による遊具の危険箇所を見つけ次第、修繕することによって、遊具による事故が起きませんでした。	◆遊具の老朽化が原因で、点検を行っていても、急な破損やボルトの緩み等が発生してしまいました。		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、職員による遊具の安全点検を実施するとともに、地域住民参加型の公園維持管理業務を実施し、危険箇所を見つけ次第、遊具の修繕を実施します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	公園緑地課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	28 地域住民参加型の公園維持管理	平成30年度 事業費決算額	事業名:公園維持管理事業 決算額:9,586,800円
事業の概要	◆一部の公園で、地域住民の協力を得ながら掃除、軽微な遊具点検等の維持管理を推進します。		
平成30年度 事業目標	◆地域住民と協働したまちづくりを目指し、地域における公園の清掃等、維持管理を推進します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆地元町会等による公園内の清掃、除草、施設点検等を実施しました。		
評価指標	◆街区公園に対する市民管理団体の割合	平成30年度数値	◆30.3%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆地域住民に公園を管理してもらうことで、地域における公園の重要性を認識してもらうとともに、効率的な維持管理が可能となります。		◆受託者の高齢化に伴う、参加者の脱退が課題です。	
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆地域住民と協働したまちづくりを目指し、地域における公園の清掃等、維持管理を推進します。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	警防課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	29 応急手当普及啓発活動の推進	平成30年度 事業費決算額	事業名: 応急手当普及啓発活動推進事業 決算額: 3,221,770円
事業の概要	◆救急救命率の向上を図るため、市民への普通救命講習及び小学生高学年を対象とした救命入門コースを実施します。		
平成30年度 事業目標	◆子どもの命を守るよう、市立幼稚園等の職員や保護者に小児・乳児に対する心肺蘇生法の実施を積極的に取り組みます。また、引き続き市立の全小学校・全中学校、高等学校と生涯教育として一貫した普通救命を実施します。 ◆「千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例」により、学校現場におけるAEDの使用等の知識及び技能等の取得を促進する旨がうたわれているため、教職員に対する救急講習をすすめます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆小児・乳児に対する普通救命Ⅲを60回526人に実施し、成人に対する普通救命講習ⅠⅡ、上級138回1,658人に実施しました。 ◆e-ラーニング講習においては4回74人、再講習は2回11人に対して実施しました。 ◆市内全ての小学校高学年を対象に、救命入門コースを実施しました。 ◆市内の中学校(8校)、高校(2校)、大学(2校)の生徒学生に、普通救命講習を実施しました。		
評価指標	◆乳幼児の救急講習受講者数	平成30年度数値	◆532人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆胸骨圧迫やAEDの体験が出来て、本当に勉強になりました。思っていたより圧迫するということがあり、使う機会がないのが一番ですが、いざという時に役立てたらと思います。素晴らしい講習をありがとうございました。 ◆普段AEDの置いてある場所等あまり意識せず生活していましたが、今回はこの様な場合の心構えも含め、確認していこうと再認識しました。 ◆事故などにあつて、反応や呼吸のない人に遭った場合、まずは自分が焦ると思うので落ち着いて対応できるか自信がないですが、知っている人達と一緒に何とかなら何とかなると思います。毎年受講していますが、日頃からの認識や訓練は必要だと思いました。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆平成30年度の普通救命講習は、4,869人が受講した。 ・普通救命講習Ⅰ、Ⅱ及び上級救命講習(138回、1,658人) ・普通救命講習Ⅲ(60回、526人受講) ・中学校(8校、1,772人受講)高校(2校、680人受講)大学(2校、148人受講) ・e-ラーニング講習(4回、74人)、再講習(2回、11人) ◆3時間未満の救命講習は、1,453人が受講した。 ・小児・乳幼児に対する短時間の救急講習(1回、6人受講) ・小学校高学年を対象にした救命入門コース(15校、1,447人受講)	◆継続的に目標を達成するためには、応急手当普及員の養成及び講習で使用する資器材を計画的に整備する必要がある。 ◆講習の指導については、統一した指導法や指導内容とすることが必要である。 ◆生涯学習として馴染ませるためには毎年最低一回、全学校に講習会を実施することが必要である。(H30年度は高校1校が未実施) ◆e-ラーニングの広報活動を含め受講者の増員をはかりたい。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	◆子どもの命を守るよう、市立幼稚園等の職員や保護者に小児・乳児に対する心肺蘇生法の実施を積極的に取り組む。また、全小学校・中学校、高等学校及び大学と生涯教育として一貫した救命入門コース及び普通救命講習を実施する。 ◆「千葉県AEDの使用及び心肺蘇生法の実施の促進に関する条例」により、学校現場におけるAEDの使用等の知識及び技能等の取得を促進する旨がうたわれているため、教職員に対する普通救命講習をすすめる。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	都市政策課
施策内容	2 親と子どもにやさしい外出環境の整備		
事業名	30 公共交通施策の推進による外出利便性の向上	平成30年度 事業費決算額	事業名：公共交通政策事業 決算額：63,740,743円
事業の概要	◆身近な交通手段となる公共交通については、地域の特性に適した移動手段の確保に努め、安全に外出できる環境を整えつつ、公共交通事業者と連携し、外出利便性の向上を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆コミュニティバスの運行継続を最優先課題とし、利用の促進に努めるとともに、バス事業者と運賃収入等の増加に取組み、将来的な補助金の低減を目指します。(都市政策課) ◆バス事業者と連携し、路線バス網の拡充を検討します。(都市政策課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆コミュニティバスの利用促進を図るため、市政広報用モニターやイオンモール津田沼フードコートに設置されたテレビモニターを活用したPRを実施した。また、まちづくり会議や実籾ふるさと祭りに参加しナラシド♪バスの利用促進を図りました。 ◆平成29年度に行った路線バスを活用した実証運行が本格運行に至らなかったため、元の路線に戻す手続きの間、収束運行を行いながら、秋津地区の需要を確認した。実証運行と収束運行の結果を基に秋津地区の路線バス網の拡充についてバス事業者と協議を行いました。		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆移動利便性の向上に一定の理解が示されました。
-------------------	-------------------------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆ナラシド♪バスの利用状況の向上が図られました。 ◆実証運行から元の運行に戻すまでの間、収束運行を行い秋津地区の需要を確認することができました。	◆ハッピーバスが運行経費の3分の1、ナラシド♪バスが運行経費の2分の1を限度に運行事業者に対して補助をしており、将来的に補助金を低減していくことが課題です。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆コミュニティバスの運行継続を最優先課題とし、利用の促進に努めるとともに、バス事業者と運賃収入等の増加に取組み、将来的な補助金の低減を目指します。 ◆バス事業者と連携し、路線バス網の拡充を検討します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	危機管理課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	31 地域防災計画の見直しと各種防災対策の拡充及び強化	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆災害から子どもたちの命と身を守るため、「地域防災計画」及び「行動計画」の見直しを行い、防災訓練や防災教育の実施、幼稚園や保育所・こども園・小学校・中学校等の安全性の向上、応急保育や応急教育の実施、避難体制や防災拠点・施設等の整備、災害時要援護者支援等、各種防災対策の拡充及び強化を図り、災害に強い、安全で安心なまちづくりを推進します。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き、子を持つ親に対しての防災講話や教職員向けの防災研修を実施し、「自助」、「共助」、「公助」の向上に努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆幼児を持つ親向けの防災講話(袖ヶ浦公民館)を実施しました。 ◆市立学校の教職員に対し、学校の防災に係る研修や学校生徒を対象に公開授業等での防災教育を実施しました。		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆地震等の大災害が起きる前の準備が大切だと感じた。 ◆応急処置のやり方を知れて良かった。 ◆防災について興味を持つことができ、防災の重要性を知ることができた。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆子の親を対象に防災についての講話をした結果、子供を交えた家庭内における自助力の向上や防災知識の取得につながりました。 ◆公開授業等をきっかけに、教職員の災害対応能力の向上が図られた他、生徒達は防災について話し合いから次第に興味を持ち始め、結果として、有事の時、何が必要か、どのような行動をすべきか等、「自助」、「共助」、「公助」の大切さを学ぶことができました。	◆特にありません。		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、子を持つ親に対しての防災講話や教職員や学校生徒に防災研修や防災教育を実施し、「自助」、「共助」、「公助」のさらなる向上に努めます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	危機管理課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	32 自主防災組織の拡充及び強化	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆地域における防災活動の中心となる、自主防災組織の拡充と強化を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き、自主防災組織の結成を促進する啓発活動を実施するとともに、リーダー研修会を開催し、自主防災組織の強化に努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆新規設立の自主防災組織(1組織)に対し、活動を支援するため、防災資機材の交付をしました。 ◆自主防災組織の代表者等の育成をするため、習志野市自主防災組織リーダー研修会や危機管理講演会を開催しました。(計3回) この他、申請のあった自主防災組織に対し、活動実績の範囲内で活動助成金を交付しました。		
評価指標	◆自主防災組織数	平成30年度数値	◆217組織

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆実施した研修会等で、内容により防災意識の向上や災害に対する知識が得られたとの意見がありました。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆平成30年度は、広報紙等で自主防災組織の結成に関する呼びかけを行った結果、新規結成は1組織でした。この他、地域の方(3組織)から、自主防災組織を結成したいとの相談がありました。 また、既存の自主防災組織については、リーダー研修会の開催や自主防災組織が実施する防災訓練の支援等により、地域の防災力向上が図られました。		◆自主防災組織のさらなる結成です。	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、自主防災組織の結成を促進する啓発活動を実施する他、リーダー研修会の実施等、自主防災組織の強化を図り、結果としてより実践的な防災活動に繋がるよう支援してまいります。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	青少年センター
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	33 子ども110番の家の推進	平成30年度 事業費決算額	事業名：青少年センター運営費 決算額：305,158円
事業の概要	◆児童生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力とするため、「子ども110番の家」の拡充を図ります。		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校を通して「子ども110番の家」の場所や逃げ込み方について児童・生徒への一層の周知を図ります。 ◆「子ども110番の家」加入者に利用状況を周知します。 ◆「子ども110番の家」加入数拡充のため、市民が多く集まる集会等で加入協力に向けた呼びかけを行います。 ◆「子ども110番の家」加入者のうち希望者を対象に、子どもが駆け込んだときの対応について研修会を行います。 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆「子ども110番の家」の加入状況について、市立各小・中学校長宛に協力者名簿を送付しました。その後、児童生徒への周知の方法についての調査をし、他校の周知の方法について会議等の連絡の場で広めました。 ◆「子ども110番の家」加入者対象の状況調査(継続確認・駆け込み等の実情・研修会に係るアンケート)を実施し、集計したものを各学校へ配付しました。 ◆「PTA家庭教育学級合同講演会」「安心で安全なまちづくり会議」「小学校就学時健康診断における学校説明会」「連合町会連絡協議会」「商工会議所通常議員総会」等において出張登録会及び加入依頼を行いました。 ◆「子ども110番の家」対応マニュアルを配布すると同時に、加入者のうち希望者を対象に、子どもが駆け込んだときの対応について、習志野警察署生活安全課長を講師として研修会を行いました。 		
評価指標	◆「子ども110番の家」加入軒数	平成30年度数値	◆939軒

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆もっと見えやすい看板にしたほうが良い。 ◆子ども110番の家の家の存在をできるだけ皆さんに知ってほしい。 ◆駆け込みはありませんが、見守りをします。看板は効果あると思います。 ◆古い看板もあるので、新しいものに交換したほうが良い。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆児童生徒の緊急回避の駆け込み事案は、露出1、痴漢1、変質的行為1、暴行1でありました。けがの処置や鍵がなくて家へ入れなかった等、その他の駆け込みの件数は78件で、子ども達を危険から守ることができました。 ◆看板掲示によって、不審者出没への地域全体の抑止力となりました。 ◆多くの市民へ周知ができて、加入依頼や説明会等のお誘いが多くなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成30年3月現在で、加入者数は939件となりました。昨年度と比べ、依然として減少傾向にあります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆学校を通して「子ども110番の家」の場所や逃げ込み方について児童・生徒への一層の周知を図ります。 ◆「子ども110番の家」加入者に利用状況を周知します。 ◆「子ども110番の家」加入数拡充のため、市民や学校に通う保護者が多く集まる集会等で加入協力に向けた呼びかけを行います。 ◆「子ども110番の家」加入者のうち希望者を対象に、子どもが駆け込んだときの対応について研修会を行います。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	青少年センター・学校教育課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	34 学校・警察連絡制度の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆学校と警察が相互に連絡し、情報の共有化を図りながら、児童・生徒の非行防止や安全確保を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆児童・生徒の健全育成及び非行防止並びに犯罪被害防止のため、学校・警察連絡協議会を年3回行い、学校と習志野警察署が相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図ったり研修を行ったりします。(青少年センター) ◆通学路安全協議会の充実を図り全学校の通学路の安全を推進していきます。(学校教育課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆市内小・中学校・高等学校・県立学校の校長、生徒指導担当者と習志野警察署署長・生活安全課長・交通課長の参加による学校警察連絡協議会を計3回開催し、情報共有と協議、研修を行いました。(青少年センター) ◆学校から報告があった不審者情報について習志野警察署生活安全課に連絡したほか、警察からの不審者や青少年に係る情報を青少年センターで共有し活動しました。(青少年センター) ◆年3回の通学路安全対策協議会を開催しました。(学校教育課) ◆第2回目に、習志野警察交通課、市役所道路課、学校(教頭、PTA)、教育委員会(学校教育課、青少年センター)が、安全面・防犯面の両面から実地調査を行いました。(学校教育課)		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆青少年の健全育成には、学校、警察、行政が連携することが大切であり、素早くかつ慎重に情報共有をしていく。(青少年センター) ◆専門的な見地から建設的な改善策を知る機会となり、とても有意義でした。(学校教育課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆学校・警察連絡協議会を開催し、市内小・中・高等学校・県立学校の職員・習志野警察署による青少年に係る問題や環境について情報を共有することができました。(青少年センター) ◆不審者情報について学校・習志野警察署が情報共有し、状況に応じて対応することができました。(青少年センター) ◆交通事故、特に自転車による事故が多くなっているという現状を把握することができ、その対策についての研修を実施することができ、有意義でありました。(青少年センター) ◆通学路の安全と防犯の観点での危険箇所の情報共有ができました。(学校教育課)	◆各学校から情報報告を行った後に、習志野警察署生活安全課長や交通課長から助言が受けられるよう対策を講じていく必要があります。(青少年センター) ◆通学路に面するブロック塀に関しては、建築指導課から情報をいただき、各校に指導していきます。(学校教育課) ◆通学路における防犯カメラの設置等に関しては、防犯安全課や習志野警察生活安全課との連携を図っていきます。(学校教育課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	◆児童・生徒の健全育成及び非行防止並びに犯罪被害防止のため、学校・警察連絡協議会を年3回行い、学校と習志野警察署が相互のシステムについての共通理解や情報の共有化を図ったり研修を行ったりします。(青少年センター) ◆通学路安全対策協議会の見直しを図り、30年度の課題を改善していけるように事業を推進していきます。(学校教育課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	危機管理課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	35 ケータイ緊急情報サービスの拡大	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆防災情報のほか、火災等の消防情報、緊急時の注意を呼びかける防犯対策情報等を、市民にとっての重要情報としてメールでお知らせするとともに、登録者数の拡大を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き、ホームページや広報紙、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図ります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆ホームページや広報紙、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図りました。		
評価指標	◆ケータイ緊急情報サービス登録者数	平成30年度数値	◆69,745

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆災害情報等を緊急情報サービス「ならしの」(住民用)で配信し、防災意識の啓発につながりました。	◆特にありません。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、ホームページや広報紙、各種事業で事業内容をPRし、防災意識の啓発や登録者数の増加を図ります。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

1 子どもが自分の未来を見つめて、たくましく生きていく力を育む			
基本方針	3 子どもが安全・安心に暮らせる環境の充実	担当課	防犯安全課
施策内容	3 防犯・防災対策の推進		
事業名	36 安全で安心なまちづくり基本計画等に基づく施策の実施	平成30年度 事業費決算額	事業名: 犯罪のない安全で安心なまちづくり事業 自主防犯活動団体支援事業 決算額: 4,643,149円、246,240円
事業の概要	◆「基本計画」及び「実施計画」に基づき、以下の施策に積極的に取り組みます。 ①防犯啓発活動 ②庁内関係部署及び地域等との連携・ネットワークの整備 ③防犯パトロールの強化 ④子どもたちの通学時等における安全確保 ⑤地域防犯活動への支援		
平成30年度 事業目標	◆警察、市民等と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等を充実・拡充させることにより防犯対策強化を図り、犯罪抑止に努めます。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策を協議し、効果的な広報、啓発活動の実施により市民の防犯意識の高揚を図ります。 ◆第2期実施計画の策定に向け、関係機関との連携をはかり、時期に適した計画の見直しを行います。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆安全で安心なまちづくり第2期実施計画策定のため、庁内連絡協議会及び外部委員で構成される協議会を開催しました。 「安全で安心なまちづくり連絡協議会、協議会」の開催: 各3回 ◆警察、市民等との連携による、防犯パトロールや街頭啓発活動等を実施し、犯罪抑止に努めました。 ◆防犯講演会、安全で安心なまちづくり市民大会を開催し、市民の防犯意識の高揚及び地域防犯リーダーの育成を図りました。 ◆防犯パトロールカーを活用した合同防犯パトロール、管理職による特別防犯パトロールを実施し、犯罪抑止に努めました。 ◆自主防犯活動団体へ腕章、ベスト、のぼり旗、帽子などの防犯物品貸与を行ったほか、パトロールへの同行支援などを行いました。 (防犯安全課)		
評価指標	◆犯罪発生件数	平成30年度数値	◆1,499件 (平成30年1月～12月)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆習志野市安全で安心なまちづくり基本計画に基づき策定した第1期実施計画の実績、成果等を踏まえ、更に充実かつ効果的に施策を推進するための「習志野市安全で安心なまちづくり第2期実施計画」を策定しました。 ◆評価指標でもある犯罪発生件数が年々減少しています。 ◆警察や職員だけでなく、地域住民が自主的にパトロール等を実施するなど、市民の防犯意識が高まっています。	◆防犯に関する広報啓発活動等について、より効果的な広報活動を行い、さらなる犯罪抑止、防犯意識の高揚を図る必要があります。 ◆市民による自主的な防犯活動について、地域によって関心度に格差があることから、市域全体の意識向上が必要であります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	◆新たに策定した「習志野市安全で安心なまちづくり第2期実施計画」を推進するにあたって、県条例、本市基本構想・基本計画等上位計画をはじめとする関連計画との連携・整合性を図ると共に、庁内各部署、関係機関との調整を行い、事業の実施状況について適切な進行管理を実施し、今後も本市を取り巻く社会情勢や犯罪状況の的確な把握に努め、計画と現状との整合性を図ります。 ◆警察、市民等と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等を充実・拡充させることにより防犯対策強化を図り、犯罪抑止に努めます。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策を協議し、効果的な広報、啓発活動の実施により市民の防犯意識の高揚を図ります。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	37 健康的な食習慣の確立と食育の推進	平成30年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：11,313,571円
事業の概要	◆「ママ・パパになるための学級」、「離乳食教室」、「乳幼児健康相談事業」、「食生活なんでも相談」等を通じて、望ましい食生活習慣の確立と食育の推進に向けて、妊娠中から乳幼児期まで一貫した取り組みを関係機関と連携しながら行います。		
平成30年度 事業目標	◆「妊娠期の食育」について重点的に取り組みます。引き続き健康的な食習慣の確保のため、「主食・主菜・副菜を揃える」、「朝食摂取」、「共食」について伝えていきます。 ◆生活習慣病予防に関する情報を各保健事業において伝えていきます。特に減塩、うす味の定着化に向けた取り組みに重点をおき、その中で減塩効果が期待できる牛乳・乳製品を活用しカルシウム摂取とうす味の啓発を進めていきます。 ◆谷津コミュニティセンターにおける「離乳食教室」は、午前開催に加えて、毎月午後開催を実施します。 ◆集団健診会場の展示スペースの有効活用を検討します(媒体の工夫)。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆ママ・パパになるための学級において、家族の健康の土台となる妊婦やパートナーが健康的な食習慣を身につけられるよう、講義のなかでその重要性について伝えました。 ◆食品中の食塩量および飲み物に含まれる砂糖の量のパネルや媒体を作成し、集団健診会場の展示スペースに設置するとともに、健康教育の機会に情報提供を行いました。併せて、9月の健康増進普及月間・食生活改善普及運動の期間、減塩とカルシウム摂取についてリーフレットを作成配布し、また広報習志野において情報提供に努めました。 ◆谷津コミュニティセンターにおける離乳食教室は午後開催を定例化し、希望するすべての保護者が参加できるようにしました。		
評価指標	◆離乳食教室参加者数	平成30年度数値	◆527

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆食品中の食塩や砂糖の量のパネルや媒体を見た保護者からは、「こんなに入ってるの?」「今まで意識していなかった」など、気づきとともに子どもや保護者自身も取りすぎに注意する旨の感想が多く聞かれました。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆パネルや実物の媒体を作成・展示したことで、望ましい量がどれくらいなのか、実際にどれくらいの量を取っているのかが一目でわかるようになり、これまでのリーフレット等文字による情報提供よりはるかに効果的に伝えることができました。	◆パネルや媒体を使っでの情報提供は一部の保健事業に限られています。また、個人の食習慣は多様であり、健康的な食習慣を身につけるための情報提供の方法を、より具体的に、対象に合わせて変えるなどの工夫が必要です。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆ママ・パパになるための学級において媒体の工夫や講義内容の見直しをはかり、健康的な食習慣を身につけるための具体的な方法を伝えられるようにしていきます。 ◆減塩、薄味の定着化をはじめ、飲み物に含まれる砂糖の量、望ましい野菜の摂取量等の効果的な周知・啓発のため、対象に合わせた媒体を作成し、各保健事業において活用していきます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課・子育て支援課 男女共同参画センター
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	38 男女共同参画の子育て意識啓発	平成30年度 事業費決算額	男女共同参画啓発事業(決算額:30,110円) 母子保健活動事業(決算額:11,313,571円) こどもセンター運営事業(決算額:20,000円)
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆「ママ・パパになるための学級」で、夫婦の役割を考えるきっかけとなる内容をプログラムに盛り込み、啓発します。 ◆妊婦、出産、育児のための情報を盛り込んだパンフレットの配布等、父親も育児を担えるような支援を行います。 ◆子育てに関するセミナーを平日以外に開催することにより、子育てにおける父親の参加促進を図ります。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆夫婦の役割を考え、育児は夫婦共同という認識がもてるよう「ママ・パパになるための学級」の充実に努めます。(健康支援課) ◆こどもセンター(鷺沼)において、男女共同参画センターとの共催により「子育て応援セミナー」を開催し、男女で育児に参加する機運の醸成に寄与します。(子育て支援課) ◆こどもセンターと共催により、夫婦の役割を考え、育児は夫婦共同という認識を持つことができ、また男性が多く参加できる講座の充実に努めます。(男女共同参画センター) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容及びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊娠届出時やママ・パパになるための学級において啓発を行っています。(健康支援課) ママ・パパになるための学級実績 妊婦 414人、パートナー 347人 妊娠中3回、産後1回、年間延べ36回実施しました。 ◆子育て中の父親を対象に父から子どもへ「絵本の読み聞かせ」の実践体験を通して、親子のコミュニケーションを図るとともに積極的な育児参加をわらいとす「子育て応援セミナー 読みメンになろう！パパの絵本読み聞かせ講座」をこどもセンター(鷺沼)と共催で平成30年12月9日(日)に開催しました。(男女共同参画センター) ◆男女共同参画センターとの共催により「子育て応援セミナー」を開催しました。(子育て支援課) 		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ママ・パパになるための学級の妊婦・夫・パートナー受講率 ◆男性の家庭参画を促す講座等の実施回数 	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊婦 受講率 57.8% ◆パートナー 受講率 48.4% ◆1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ママ・パパになるための学級の参加者より、「ママもパパも、子育てに関してたくさん考えている事をそれぞれ忘れず、お互いを思い合っていきたい。」「パパ達もママ達同様、パパになる自覚が芽生えている事に關心しました。私も親になることを改めて考え始めるきっかけになりました。」「初めての事なので夫婦で支え合いながら頑張りたい。」等の感想を頂きました。(健康支援課) ◆読み聞かせだけでなく、家族のかかわり方を学べてよかった。・家で妻とシェアし、意識改革を図ろうと思います。自分が変われば社会が変わる。感銘を受けました。・「父親をする」という言葉に考えさせられました。帰ったら妻に話をしようと思います。(男女共同参画センター) 		
-------------------	--	--	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆ママ・パパになるための学級において、育児の具体的なイメージづくり、父親の役割を考える講座を実施した結果、受講後のアンケートの「パパとして実践したいこと、心がけたいことがありましたか?」の設問に、「あった」「どちらかといえばあった」との回答が約97%得られました。(健康支援課) ◆読み聞かせだけでなく、男女共同参画の視点も含めた講義により家庭参画の意識啓発へとつながりました。(男女共同参画センター) ◆男女共同参画センターとの共催により「子育て応援セミナー」を開催し、男女で育児に参加する機運の醸成に寄与しました。(子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き夫婦で育児をしていく意識の啓発をしていく必要があります。(健康支援課) ◆こどもセンター(鷺沼)で男女共同参画センターと共催で「子育て応援セミナー」を実施することとなっているが、建て替え後のこどもセンター(鷺沼)は多くの人数が参加できる講座を開催する場所がないため、平成30年度はサンロード津田沼5階の交流コーナーと和室を利用して開催した。今後、こどもセンター(鷺沼)での実施は難しいことから、「子育て応援セミナー」の実施方法について検討が必要であります。(男女共同参画センター) ◆リニューアルオープンした習志野市こどもセンターでは集客可能数が限られるため、今後、開催場所の協議が必要となります。(子育て支援課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆夫婦の役割を考え、育児は夫婦共同という認識がもてるよう「ママ・パパになるための学級」の充実に努めます。(健康支援課) ◆こどもセンター(鷺沼)と共催による、父親の子育て参加を促進する講座を実施します。(男女共同参画センター) ◆男女共同参画センターとの共催により「子育て応援セミナー」を開催し、男女で育児に参加する機運の醸成に寄与します。(子育て支援課) 		
----------------	--	--	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	39 健やかな子を産み育てる体制の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名: 母子保健活動事業 決算額: 11,313,571円
事業の概要	◆母子健康手帳の交付から始まる、妊娠・出産・育児を通した一貫性のある健診・相談・教育の実施体制を充実し、思春期保健を含めた親と子の健康づくりを進めます。		
平成30年度 事業目標	◆妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援を行うことにより、切れ目ない支援を提供する体制を整えていきます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆母子健康手帳交付から、妊娠・出産・子育てを通した一貫性のある家庭訪問・健康相談・健康教育・健康診査等の体制が充実するように努めました。「こんにちは赤ちゃん事業」では、対象者の全数把握に努め、必要な相談支援を行いました。 ◆「産後サポート電話相談事業」では、産後の母の心身の不調に関する相談及び子育て全般の相談に対応しました。 ◆「不妊・家族計画等に関する相談事業」では、専門知識を有するものが電話相談を実施しました。 ◆「産後ケア事業」では、退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を行い、産後安心して子育てができる支援を行いました。		
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率	平成30年度数値	◆97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆こんにちは赤ちゃん事業では、「助産師に相談できて心強かった」。産後サポート電話相談事業では、「産後の一番心細い時期に電話をもらい、相談することができて気持ちが楽になった」。産後ケア事業利用者からは、「自宅では家族の支援が受けられず、産後不安な日々が続き、眠ることも出来なかったが、産後ケアを利用して安心して休息がとれ子育てに前向きになれた。」という感想を得ています。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆各事業において対象者の全数把握に努め、安心して子育てができるための支援につなげました。	◆引き続き、すべての対象者に支援ができるよう努めます。また、健康相談事業等を利用できない方に対しては、個別の状況に合わせた支援をまいります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種相談に応じ、母子保健施策と子育て支援施策との一体的な提供を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持増進に関する包括的な支援を行うことにより、切れ目ない支援を提供する体制を整えていきます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課・子育て支援課 あじさい療育支援センター ひまわり発達相談センター・他関係各課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	40 心身の健康についてハイリスク者の把握と支援の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：11,313,571円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆疾病や発育・発達等の課題を早期に把握し、適正な医療や療育の体制につなげていきます。 ◆家庭の養育力に着目した母子保健活動を展開する中から、子どもの心身の健全な発育・発達を阻害する因子に対して、早期対応を図ります。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭の養育力の向上と安心して子育てができることを目指して、妊娠期からの各事業を一貫して実施し、個別支援が必要な方を早期に把握し、支援を充実させます。(健康支援課) ◆送迎バスの運転手やPT・OTなども含めた職員研修を引き続き毎年年度初めには実施します。(あじさい療育支援センター) ◆医療的ケアが必要な児童に対しても、就学に向け自立を目的とした、単独での療育の機会を確保します。(あじさい療育支援センター) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆母子健康手帳交付時、転入時や未熟児養育医療の申請などをきっかけとし、個別支援が必要な人の把握及び早期支援の開始に努めています。また、特に支援を要する妊婦、乳幼児について、子育て支援課等の関係機関と連携しながら継続した支援をしました。(健康支援課) ◆全職員を対象に救命救急講習(小児の心肺蘇生法について(心臓マッサージ、AED))を実施しました。(あじさい療育支援センター) ◆送迎バス(2台)に自動体外式除細動器(AED)を設置しました。(あじさい療育支援センター) ◆4歳児2名に医療的ケアを実施しました。(あじさい療育支援センター) ◆重篤な心疾患を有する児童の単独利用にあたり、体制を整備しました。(あじさい療育支援センター) 		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆「子どもの成長に関して不安があったが、相談して安心した。」「子どもの成長が確認できてよかった。」との声が聞かれています。(健康支援課) ◆救命救急講習を繰り返し受講することで、緊急対応が必要な状態になった時、職員が慌てず対応ができるようになります。(あじさい療育支援センター) ◆職員が研修を受けていることを伝えることによって、保護者にも安心感を与えられました。(あじさい療育支援センター) ◆実際に医療的ケアを実施した児童の保護者からも、不安なく単独での療育を受けさせることができ満足しているとの意見がありました。(あじさい療育支援センター)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆個別の支援が必要な方には、妊娠期から継続した支援を行うことで、家庭の養育力を高める支援、安心して子育てができる支援につながりました。(健康支援課) ◆心肺停止時の緊急対応に備えることで、利用者及びその保護者が安心して療育が受けられる体制を作ることができました。(あじさい療育支援センター) ◆医療的ケアが必要な児童に対しても、就学に向けて単独での療育を提供することができました。(あじさい療育支援センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健康相談・健康診査等の未受診者に早期にアプローチし、必要な者に対して支援につなげる活動を充実させる必要があります。(健康支援課) ◆年1回の研修では受講できない職員も出てくる可能性があります。(あじさい療育支援センター)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆家庭の養育力の向上と安心して子育てができることを目指して、妊娠期からの各事業を一貫して実施し、個別支援が必要な方を早期に把握し、支援を充実させます。(健康支援課) ◆送迎バスの運転手やPT・OTなども含めた職員研修を引き続き毎年年度初めには実施します。(あじさい療育支援センター) ◆医療的ケアが必要な児童に対しても、就学に向け自立を目的とした、単独での療育の機会を確保します。(あじさい療育支援センター)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4.1 母子健康手帳の交付	平成30年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：11,313,571円
事業の概要	◆妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、個々の状況に沿った相談・指導を行い、妊娠初期からの継続した支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き妊娠届出者に看護職が面接し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供していきます。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談等で継続して支援していきます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆妊娠届出者に看護職が面接し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供しています。 実績 妊娠届出者数 1,472人（看護職による面接100%）		
評価指標	◆妊娠届出者のうち看護職による面接の割合	平成30年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆母子健康手帳交付時に「心配だったことが聞いて安心した」「今後相談できる担当者を紹介してもらい安心した」という感想が得られています。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆すべての妊娠届出者に個別面接をし、母子健康手帳の交付と妊娠・出産・育児に関する情報提供をすることができました。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談などで対応しました。妊婦が、必要なサービス支援を円滑に活用できるよう、関係他課と連携し支援ができました。	◆母子健康手帳交付時の情報提供では、妊婦健康診査の受診に関するものも含んでいるため、妊娠確認後、速やかに妊娠の届出を済ませていただけるよう、さらに周知徹底が必要です。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き妊娠届出者に看護職が面接し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供していきます。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談等で継続して支援していきます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	42 継続して支援が必要な妊婦への支援の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：11,313,571円
事業の概要	◆妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、個々の状況に沿った相談・指導を行い、妊娠初期からの継続した支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き、継続支援の必要な妊婦に対して、妊娠中より丁寧な支援をしていきます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が地区活動を通して継続して支援しています。 30年度 要支援者数 361人		
評価指標	◆支援が必要な妊婦への訪問等での対応数(延べ)	平成30年度数値	◆232人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「妊娠中から担当の人の顔が見られることで産後も安心して相談できた。」「妊娠中から相談にのってくれて心強かった。」との感想を得ています。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆妊娠中から地区担当保健師が支援を開始し、訪問指導・所内相談・電話相談等で支援を行いました。妊娠期から把握をしていたことで、出生後早期からの支援をスムーズに行うことが出来ました。	◆就労妊婦(約6割)等で、連絡がつかない方もいますが、今後も妊娠期からの支援を積極的に行います。安心して子育てしていくために、妊娠期からの支援がより重要になると考えます。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、継続支援の必要な妊婦に対して、妊娠中より丁寧な支援をしていきます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	43 ママ・パパになるための学級の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名：ママ・パパになるための学級 決算額：11,313,571円
事業の概要	◆安心して妊娠・出産・育児に臨めるように、知識・技術を提供する場を設けるとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き安心して妊娠・出産・育児ができるように、妊娠中から知識・技術を提供し、身近な地域での仲間づくりができるよう「ママ・パパになるための学級」の充実に取り組みます。 ◆妊婦、パートナー同士の交流・産後の同窓会を兼ねた交流を通して、妊娠期から子育て期の仲間づくりの場となるよう努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆安心して妊娠・出産・育児・身近な地域での仲間づくりができるよう取り組みました。 実績 妊婦 414人、パートナー 347人 延36回実施		
評価指標	◆妊婦・夫・パートナー受講率	平成30年度数値	◆妊婦 57.8% パートナー 48.4%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆ママ・パパになるための学級の参加者より、「理想も大事だけど息抜きも大事」「一人でこなそうとせず、周囲の協力を得ながら、無理なく育児していきたい。」「失敗もあるだろうけど少しずつ子供とともに成長していきたい。」等具体的な育児のイメージをもっている感想を頂きました。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆育児の具体的なイメージづくり、夫婦共同育児等の普及・啓発を行いました。 ママ・パパになるため学級において、受講後のアンケートの「ご自身の参加目的は達成しましたか？」の設問に「達成した」「どちらかといえば達成した」との回答が約97%得られました。	◆引き続き知識・技術の情報提供に加え、仲間づくりが進むよう講義内容の検討を続けていきます。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き安心して妊娠・出産・育児ができるように、妊娠中から知識・技術を提供し、身近な地域での仲間づくりができるよう「ママ・パパになるための学級」の充実に取り組みます。 ◆妊婦、パートナー同士の交流・産後の同窓会を兼ねた交流を通して、妊娠期から子育て期の仲間づくりの場となるよう努めます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4.4 乳児家庭全戸訪問及び乳幼児に対する健康相談の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名：母子保健活動事業 決算額：11,313,571円
事業の概要	<p>◆助産師による産婦・新生児訪問、地区住民でもある制度ボランティアの母子保健推進員による全出生児の家庭訪問、全員を対象とした乳幼児の健康相談等を通して、子育てに関する不安感の軽減を図り、情報提供を行います。また、健康な生活を目指した食事・睡眠・遊び・むし歯予防等生活習慣について、保健師・栄養士・歯科衛生士が情報提供を行い、個々の状況に応じた相談にも応じます。</p> <p>◆乳幼児の発育・発達に関する心配については、専門医師による発達相談や、心理職による相談の機会を設け、親の不安を丁寧に受け止めながら、早期に適切な指導や療育につなげることによって、子どもにとっての最大限の成長・発達を促す支援をしていきます。</p>		
平成30年度 事業目標	◆習志野市母子保健”切れ目ない支援”に基づき、健やかな子どもの成長・発達及び保護者の子育てに関する不安の軽減を目指して、各事業を推進します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆健やかな子どもの成長・発達及び保護者の子育てに関する不安の軽減を目的に、こんにちは赤ちゃん事業(乳児家庭全戸訪問)及び乳幼児に対する健康相談等を実施しました。		
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業実施率	平成30年度数値	◆97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆こんにちは赤ちゃん事業では、「助産師に相談できて心強かった」等の感想を得ています。医師や心理相談員による健康相談(発達相談・心理相談)の利用者からは「心配していたことに対し、具体的な対応方法を聞くことができて安心した。」などの意見が聞かれました。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆各事業において対象者の全数把握に努め、必要な相談支援を行いました。	◆引き続き、すべての対象者に支援ができるよう努めます。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆習志野市の母子保健”切れ目ない支援”に基づき、健やかな子どもの成長・発達及び保護者の子育てに関する不安の軽減を目指して、各事業を推進します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	45 健康教育の推進	平成30年度 事業費決算額	事業名: 母子保健活動事業 決算額: 11,313,571円
事業の概要	<p>◆生涯の健康の基盤をつくる大切な時期の、子どもの生活と健康をテーマとして、食事・排泄・睡眠・遊び等とその生活リズムの重要性を伝え、いのちと性の教育の第一歩として、乳幼児期の保護者への教育にも力を入れていきます。</p> <p>◆男女ともにかかわる妊娠・出産から子育てについての意識啓発や、体験学習の機会を拡充し、男女共同参画の視点で母性・父性の役割について学ぶ機会を設けます。</p> <p>◆乳児の相談や公民館・幼稚園における健康教育等の機会に、保護者に対して「いのちと性」の正しい理解を目的とした学習を、一貫した流れの中で行えるよう取り組んでいきます。</p>		
平成30年度 事業目標	◆関係機関と連携し、市民への周知につとめ、さらなる健康教育の機会の確保と内容の充実をめざします。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆母子保健サービス(各種健康相談、健康診査など)の他、公民館における家庭教育学級や保育所、幼稚園、学校などと連携して講座を実施し、食事、歯みがき、排泄、睡眠、遊び、生活リズムの重要性などの周知に努めました。		
評価指標	◆むし歯のない3歳児の割合	平成30年度数値	◆91.0%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<p>◆ママ・パパになるための学級では、産後のイメージを深めて話し合う機会を提供している。「パパたちから協力的な意見が聞けて嬉しい」「夫婦で相談しながら育児をしていきたい」「赤ちゃんのいる生活のイメージができた」などの感想が聞かれました。</p> <p>◆乳幼児の保護者からは「健康教育をきっかけに、からだへの関心ももてたようだ」「家庭でもいのちの大切さ、からだのしくみについて親子で話したい」「子どものできないことに目が向きがちだが、もっと子どもを褒めてあげたいと思った」などの感想が聞かれています。</p>
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆乳幼児健康相談事業、育児講座、幼児家庭教育学級、離乳食教室、ママ・パパになるための学級等において、乳幼児と保護者、妊婦とそのパートナーに対して、ライフサイクルに応じた基本的な生活習慣のいのちと性に関する健康教育を行いました。成果としては、上記2. の通り、目的に沿った感想、反応が得られています。	◆引き続き、母子保健サービスの他、保育所、幼稚園、学校、公民館などの関係機関と連携し、より多くの子育て中の方に周知ができるよう努める必要があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆関係機関と連携し、市民への周知につとめ、さらなる健康教育の機会の確保と内容の充実を目指します。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	46 健康診査の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名: 母子健康診査事業 決算額: 158,350,451円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆安全で安心な妊娠・出産と、子どもの発育・発達を確認し、健やかな成長を促すため、医療機関で行う一般健康診査の費用、妊婦歯科健康診査の費用を助成します。 ◆幼児期においては集団健康診査を行い、保護者とともに子どもの心身の発育・発達を確認し、ことばや行動等、保護者の心配ごとに対して、医師、歯科医師、心理職、言語聴覚士、保健師、栄養士、歯科衛生士等が対応します。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、より多くの妊婦に歯科健康診査を受けてもらえるよう、母子健康手帳交付時やママパパ学級等で啓発していきます。 ◆1歳6か月児・3歳児健診の未受診者に対しては、家庭訪問・所内相談等での個別対応し、全数支援に努めます。 ◆医科個別健診の受診勧奨をし、3歳児の尿検査の受診者数、医科診察の受診者数を増やしていきます。 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆妊婦一般健康診査は、妊娠中に14回助成しました。 ◆妊婦歯科健康診査は、妊娠中に1回実施しました。 ◆1歳6か月児・3歳児健康診査は、集団健診を各24回実施し、1,444人・1,495人が受診しました。 ◆医療機関における1歳6か月児・3歳児医科個別健診は、1,011人・868人が受診しました。 		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆1歳6か月児健康診査受診率 ◆3歳児健康診査受診率 	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆97.1% ◆95.7%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆1歳6か月児・3歳児健診では「健診を受けて子どもが順調に成長していることが確認できよかった。」「子どもへの対応方法や食事や歯磨きについてなど、子育ての相談ができて安心した。」などの感想があります。 ◆ママ・パパになるための学級等で妊娠中の歯科健診の必要性を伝えると、「歯科健診を受けようと思う。」という感想があります。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆母子健康手帳交付の全数面接時に、妊婦健診・歯科健康診査の受診勧奨・啓発を行うことで、妊娠をきっかけに自らの生活習慣・健康管理を見直しにつながっています。 ◆仕事などにより平日の決まった日時で集団健診を受けることが困難な方も、地区担当保健師が個別面接をし、近医で希望する日時に医科個別健診を受けることができる健診体制により、より多くの対象児が受診可能となり、疾病の早期発見・対応につながっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、より多くの妊婦に妊婦健診・歯科健康診査を受けてもらえるよう、啓発する必要があります。 ◆1歳6か月児・3歳児健診の未受診者に対し、引き続き家庭訪問・所内相談等での個別対応を行う必要があります。 ◆医科個別健診の受診勧奨を継続し、3歳児の尿検査の受診者数、医科診察の受診者数を増やすことで、病気の早期発見に努めていく必要があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、より多くの妊婦に歯科健康診査を受けてもらえるよう、母子健康手帳交付時やママパパ学級等で啓発していきます。 ◆1歳6か月児・3歳児健診の未受診者に対しては、家庭訪問・所内相談等での個別対応し、全数支援に努めます。 ◆医科個別健診の受診勧奨をし、3歳児の尿検査の受診者数、医科診察の受診者数を増やしていきます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	4.7 予防接種	平成30年度 事業費決算額	事業名：予防接種事業 決算額：463,316,754円
事業の概要	◆感染力が強く、かかると重篤になりやすい疾患について、「予防接種法」に基づく定期予防接種を行います。		
平成30年度 事業目標	◆接種率の向上（特にDTを図ります）。 ◆定期予防接種の法改正等の動向を注視し、変更があった際には、スムーズに導入できるよう医師会等と協議します。 ◆安全な接種ができるように、母子保健事業の中で、予防接種の必要性・実施方法などの啓発を協力して行っていきます。 ◆高齢者肺炎球菌等の接種について見直しがあるとされているため、制度改正のことについて、医師会と協議しながら制度設計を進めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆定期予防接種を推進しました。（生後1か月頃に予診票を郵送） ◆高齢者肺炎球菌について制度の見直しが行われたが、国からの発表が平成31年1月であったため、市民への周知については次年度となってしまったことにより、実施医療機関の窓口で平成30年度末までに接種したい希望者による混乱がありました。 ◆年度途中で大人の風しんに係る予防接種費用の助成制度を開始しました。（12月） ◆年度当初より、骨髄移植等の治療により定期予防接種の再接種が必要なお子さんに関して、予防接種費用の助成制度を開始しました。事前相談が2件ありましたが、年度内に制度の利用者はいませんでした。 ◆MRの2期に関しては3回、DTについては2回、未接種の方に勧奨通知を発送しました。 ◆委託先である習志野市医師会と連携を取り、MR2期の接種時期をはじめ、定期予防接種の対象となる子どもに勧奨いただけるよう協力依頼をしました。（転入者やうっかり忘れの未接種を防ぐため）		
評価指標	◆接種率	平成30年度数値	◆MR1期 98.8% MR2期 97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆接種勧奨の通知については効果がみられ、勧奨はがきの発送後は接種数が多くなる状況がみられました。 ◆定期予防接種以外の予防接種についての費用助成を要望する声が聞かれています。 ◆高齢者肺炎球菌に関して、国の制度では5歳刻みの年齢による接種であるため、該当年齢に到達するまで接種を待たなければならない人が出てしまいますが、市の独自制度として対象者を拡大して接種を実施したため、いつでも受けられてよかったとの意見がありました。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆麻しん、風しんが県内で流行したが、子どもの接種率は良いため、子どもへの感染の報告はありませんでした。しかしながら、大人（特に成人男性）の感染が多くあり、妊婦の感染が懸念されました。平成30年度は県内で感染事例がなかったが、妊娠前に予防接種費用の助成制度を利用していただくよう周知に努めます。	◆高齢者肺炎球菌は高齢者の事業であるが、これらを推進することで社会全体の感染予防となるため、小児肺炎球菌感染を防ぐためにも引き続き高齢者の感染予防も推進していくことが重要であります。 ◆妊婦の風しん感染を予防するため、引き続き希望する人に接種できる環境を整備する必要があります。 ◆社会的感染予防を推進するために、子どものMR接種について1期・2期の接種率向上を目指します。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆定期予防接種の接種率の向上に努めます。接種率向上のため、委託先である習志野市医師会との連携強化や母子保健事業での周知の徹底に努めます。 ◆MRIに関しては、定期接種をしていない児童を学校保健等で把握した場合に、市の独自制度により昨年度まで1回までのみの接種でしたが、2回までに拡大します。子どもがネグレクト等で接種の機会を逃すことがないようにすることで、健康格差を是正することを目的としています。子どもの周囲の人に協力を求め、接種できるよう努めます。 ◆MRの接種率の向上、数値目標の達成に努めます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	48 小児救急医療体制の整備、充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆小児が休日夜間の急病時に、確実に受け入れられる診療体制の充実を図ります。 ◆夜間や休日における一次・二次診療は、習志野市医師会等の関係機関の協力を得るとともに、近隣市の医療機関と連携しながら対応しております。今後も引き続き関係機関の協力を得ながら体制整備を図っていきます。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き、日ごろから「かかりつけ医」を持つこと、早めの受診行動をとること、一次・二次・三次救急といった医療体制について説明に努めるとともに、電話相談やホームページの有効活用について周知します。 ◆引き続き、夜間20時～23時に急病診療所における小児患者の受け入れを行います。 ◆引き続き、週1回市内病院にて23時以降の小児初期診療、18時～翌朝8時までの小児二次救急の受け入れを行います。 ◆限りある医療資源を有効活用できるよう医師会・医療機関との連携に努めてまいります。 ◆小児の救急医療体制整備等については、市域を超え医療圏ごとの夜間の初期・二次診療医療体制整備の検討や小児科医の確保について千葉県に要望します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆救急医療体制のホームページを一新し、わかりやすい表現に努めました。広報紙の掲載も同様の形で掲載するとともに、子どもの保護者に配布される冊子にも同様の内容で掲載されるように変更しました。 ◆市で発行する医療ガイドの表紙・裏表紙についても、わかりやすい表現に一新しました。 ◆国が作成したアンパンマンを用いたポスター、イラストを随所に入れることで保護者等の関心が持てるよう工夫しました。 ◆急病診療所、休日当番医、二次医療機関の輪番制度等の体制が維持できるよう委託先である習志野市医師会と連携協力しました。しかしながら、季節性インフルエンザの大流行により、休日当番医・二次医療機関が混雑し、市民から意見をいただきました。 ◆季節性インフルエンザの大流行時には、急病診療所の医師・看護師を2名体制としたことにより、これまでの最高の来院数となりましたが大きな混乱はなく運営することができました。 ◆小児救急に関しては、いろいろな意見があり解決策を見出すことはできませんでした。		
評価指標	◆急病診療所における小児患者数 ◆二次救急医療機関における夜間受診者数	平成30年度数値	◆1,326人 ◆255人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆休日当番医を混雑が予想される日に複数設置してほしいという要望がありました。 ◆小児救急を見てくれる医療機関が習志野市にはない。市外に行かなければならないのは市の怠慢であるとの意見がありました。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆急病診療所は大きな苦情はなく、事故もなく運営できています。 ◆委託先である習志野市医師会は、苦情があった時や問題について前向きに対応してもらっています。 ◆市ホームページや医療ガイドの改訂は、おおむねわかりやすいと好評でした。	◆小児救急に関しては、全国的な問題であり、近隣市も同様の問題を抱えている。粘り強く県に調整を希望し、小児科医の増員も併せて要望していく必要があります。 ◆限りある医療資源を有効に活用できるよう市民に周知徹底すると共に、引き続き委託先である習志野市医師会と連携・協力していきます。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、ホームページや医療ガイドの掲載方法等を研究し、わかりやすい表現を使い、市民に理解してもらえるよう努めます。 ◆感染期には、どのような工夫ができるのか今後も研究し、委託先である習志野市医師会と協議を重ねていきます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課・学校教育課・他関係各課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	49 中学校区地域保健連絡会の推進	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆中学校区ごとに実施している地域保健連絡会において、幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・高校・公民館等の関係職員が連携を強化し、保護者や習志野健康福祉センター等、外部関係機関との連絡調整を行いながら、子どもの発育・発達に応じた健康づくりに取り組む体制づくりを進めていきます。		
平成30年度 事業目標	◆子どもの発育・発達に応じた健康づくりに各関係機関が連携して取り組むために、定期的な地域保健連絡会を実施し、内容を充実させていきます。併せて、『習志野市の思春期の目指すべき姿』の見える化への取り組みも継続していきます。(健康支援課) ◆各中学校区ごとのテーマに沿った取り組みを強化し、学校保健を充実させていきます。(学校教育課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆市内7つの中学校区ごとに定期的な中学校区地域保健連絡会を実施しました。実務にかかわる保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高校・公民館等の関係機関、健康福祉センター等の外部関係機関とともに各地域の問題点を共有しながら、子どもの健康づくりに取り組みました。(健康支援課) ◆思春期に向けた一貫した啓発活動をさらに推進していくため、「思春期保健講演会」を実施しました。(健康支援課) ◆思春期保健講演会の中で、第三中学校区の就学時健診での健康教育の取り組み発表を実施しました。(健康支援課) ◆各中学校区ごとに連絡会を開催し、それぞれの地域の健康課題を共有し、各機関で健康課題解決に向けて取り組みました。地域保健連絡会の構成員を対象に、思春期講演会を開催しました。(学校教育課)		
評価指標	◆中学校区地域保健連絡会開催回数	平成30年度数値	◆16回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「中学校区内で乳幼児期から学童期・思春期へのつながりが見えた」、「他機関の行っている取り組みが参考になった」といった意見が聞かれました。(健康支援課)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆定期的に地域保健連絡会を実施することで、関係機関とスムーズな連携ができ、健康づくりに取り組む体制を継続することができています。また、学区ごとの連絡会の1回を連絡会全体研修とし、「思春期保健講演会」を開催しました。講演会の中で第三中学校区の取り組み発表を行い、他の中学校区関係機関にも取り組み内容を共有しました。(健康支援課) ◆関係各機関が定期的集まることによって、情報交換ができ連携を強化できました。(学校教育課) ◆地域の健康課題に焦点をあてた、学校保健活動をすることができました。(学校教育課)	◆各地域の実情に合わせた課題の解決に向けて、各中学校区での取り組みはさまざまです。市全体として思春期保健対策の充実を図るため、思春期保健講演会では全中学校区関係機関に共通する課題を取り上げるとともに、各中学校区ではそれぞれの課題の共有等、さらに取り組みを進めていく必要があります。(健康支援課) ◆開催回数が限られているため、具体的な対策を話し合うところまでは進みませんでした。(学校教育課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	◆子どもの発育・発達に応じた健康づくりに各関係機関が連携して取り組むために、定期的な地域保健連絡会を実施し、各中学校区関係機関の状況・要望に合わせて内容を充実させていきます。併せて、『習志野市の思春期の目指すべき姿』の見える化への取り組みを検討していきます。(健康支援課) ◆各中学校区ごとのテーマに沿った取り組みを強化し、学校保健を充実させていきます。(学校教育課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	1 安心して妊娠・出産・育児ができる一貫した支援の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実		
事業名	50 未熟児養育医療費の給付及び低体重児出生届の受理による保健指導の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名：未熟児養育医療給付事業 決算額：7,280,542円
事業の概要	◆出生時体重が2,000g以下、または、身体発育が未熟なまま出生し、入院養育を必要とする未熟児に対して、医療の給付を行うとともに、届出により早期に母子保健活動の中で支援していきます。		
平成30年度 事業目標	◆低出生体重児の届出および養育医療給付事業について、妊娠届出時の周知を徹底し、できるだけ早期から支援を開始できるよう努めてまいります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆養育医療の給付を33人(実人数)に行いました。 ◆低体重児(2,500g以下)の届出を82件受理しました。届出を受け次第、地区担当保健師による支援を実施しました。		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「高額な医療費の給付で、経済的な負担が軽減されました。」「医療機関に入院中から、母子保健担当者と相談ができ、安心できました。」という感想が得られています。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆養育医療給付対象者には、医療費の給付を行い、経済的な負担の軽減を図りました。 ◆低体重児及び養育医療給付対象者には、届出を受理次第、地区担当保健師による支援を開始し、保護者への相談指導及び適切な母子保健サービスの提供を行いました。	◆引き続き、養育医療費や低出生体重児の届出をとおり、早期からの病状把握および適切な母子保健サービスの提供による支援を行ってまいります。		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A		

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆低出生体重児の届出および養育医療給付事業について、医療給付を行うとともに、妊娠届出時の周知を徹底し、できるだけ早期に支援を開始できるよう努めます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 子育てに関する相談窓口・情報提供の充実		
事業名	51 家庭児童相談の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆子育て支援相談室において、子育てに関するあらゆる相談に対し、個々の家庭の状況に配慮したきめ細やかな対応を行います。		
平成30年度 事業目標	◆職員のさらなる知識技術の向上を図り、児童相談所や関係機関との連携を深め、児童家庭福祉（環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等）に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応できる拠点整備を検討します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆相談業務の実施 ・妊娠中から18歳未満の子どもに関するあらゆる相談に対し、電話・面接・訪問により助言・情報提供を行いました。 ・虐待の通告・相談窓口として千葉県中央児童相談所と連携し、月1回のケース連絡会の実施・同行訪問を行う等の対応をしました。 ◆ならしのこどもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の運営 ・児童福祉法第25条の2に基づく要保護児童対策地域協議会の事務局として、代表者会議(2回)、実務者会議(6回)、個別支援会議(33回)や研修会の開催など虐待防止に向けた庁内及び地域におけるネットワーク構築に努めました。 ◆養育支援家庭訪問事業の実施 ・養育困難な妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、母子保健担当と協力し、家庭訪問により育児についての技術的支援・相談に応じました。(対象家庭7件 延べ訪問回39回 会議数13回) ・臨床心理士によるケース検討会議を実施(12回)し、相談技術の向上に努めました。 ◆ほめて伸ばす子育てトレーニング講座の開催 ・子育て支援・児童虐待予防の観点から具体的なしつけの方法を親に効果的に教えるトレーニングプログラムである「ほめて伸ばす子育てトレーニング講座」の開催(4回)及びトレーナーのフォローアップ講座(1回15人)を実施しました。		
	評価指標	◆相談対応件数	平成30年度数値 ◆10,704件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆ほめて伸ばす子育てトレーニング講座のフォローアップ研修では、参加者より、「定期的に見直すことで自信につながる」とのコメントをもらっています。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆支援を必要とする家庭に対し、直接的な助言や情報提供を行うとともに、千葉県中央児童相談所や庁内関係機関との連携を図り個々の家庭に応じた支援を行いました。 ◆各事案の支援を検討するうえで臨床心理士による勉強会を開催し職員の相談技術の向上を行いました。 ◆こどもを守る地域ネットワーク主催による研修会を開催し、子どもに関わる関係者の児童虐待防止の意識の醸成を図りました。 ◆ほめて伸ばす子育てトレーニング講座を開催し児童虐待の未然防止に努めました。	◆相談件数の増加、複雑・多様化への対応及び虐待予防や再発防止への対応を一層手厚くする必要があります。 ◆支援の一体性、連続性を確保し児童相談所との円滑な連携・協働体制を一層推進していく必要があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆職員のさらなる知識技術の向上を図り、児童相談所や関係機関との連携を深め、児童家庭福祉（環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等）に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応できる拠点整備を検討します。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課・健康支援課
施策内容	1 子育てに関する相談窓口・情報提供の充実		
事業名	52 子育て情報の提供	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆子育てに関する情報について、わかりやすい紙面や冊子、ホームページ等を作成し、妊娠中から子育て期に合わせた必要な子育て情報を提供します。 ◆スマートフォンを活用した子育てについての情報提供を行います。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆祖父母世代と親(子育て)世代の良好なコミュニケーションを図り、また、子育て支援に積極的に関わってもらうことを目的に発行した「ならしの孫育てハンドブック」を増刷し、引き続き周知・情報の提供を行います。(子育て支援課) ◆「ならしの子育てハンドブック」を作成し、最新の子育て支援情報について、市ホームページ・ツイッター、広報等で周知を図ります。(子育て支援課) ◆子育て応援サイト「きらっ子ナビ」を引き続き運営し、わかりやすい子育て情報の提供を行います。(子育て支援課) ◆提供する情報の充実と正確さを図るために、定期的に内容を見直していきます。(健康支援課) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆祖父母世代と親(子育て)世代の良好なコミュニケーションを図り、また、子育て支援に積極的に関わってもらうため平成29年に発行した「ならしの孫育てハンドブック」を増刷しました。(子育て支援課) ◆子育て支援情報を記載した「ならしの子育てハンドブック」を株式会社ホープとの官民協働により企業の広告協力を得て、無償で作成・印刷し、子育て支援課窓口にて、お子さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布を行いました。(子育て支援課) ◆子育て応援サイト「きらっ子ナビ」を株式会社アスコエパートナーズとの官民連携により無償で公開し、掲載内容を適宜更新し、情報提供を行いました。また、ならしの子育てハンドブック等にアクセス方法を記載し、周知を図りました。(子育て支援課) ◆子育て支援に関連する各種制度のチラシ・パンフレット等を子育て支援課窓口やこどもセンター・きらっ子ルーム他、市内公共施設に設置し、市民の方々へ情報提供を行いました。併せて市ホームページにおいても、子育て支援に関する情報の充実と、特にタイムリーな情報発信を行いました。(子育て支援課) ◆「すこやか子育てガイド」「すこやか習志野っこファイル」「子育て情報マップ」等を活用し、情報提供を行いました。(健康支援課) 		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆きらっ子ナビアクセス数 ◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率 	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆21,960件 ◆97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆はじめての孫で、子ども夫婦も初めての子なので不安なところが多く、このハンドブックで正しい知識、現代の常識を要領よく習得できました。(子育て支援課) ◆引越してきたばかりで、子どもといっしょに行ける場所がどこにあるのか、どうやって探せるのかわからなかったため、情報がまとめた冊子があって助かりました。(子育て支援課) ◆すこやか子育てガイドでは、「市のサービスの流れがわかりやすい」、子育て情報マップでは、転入者からも、「遊び場や医療機関が載っていてわかりやすい、地区を知る助けになる」等の感想を得ています。(健康支援課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆「ならしの孫育てハンドブック」の発行は祖父母世代の孫育てや地域の子育て支援に寄与することができました。(子育て支援課) ◆「ならしの子育てハンドブック」やその他チラシ・パンフレットの配布により、市民への子育てに関する情報提供を適切に行うことができました。(子育て支援課) ◆子育て応援サイト「きらっ子ナビ」を通じて、スマートフォンを活用する子育て世代に対し、わかりやすい、情報を得やすい環境づくりに寄与することができました。(子育て支援課) ◆「すこやか子育てガイド」「すこやか習志野っこファイル」「子育て情報マップ」により、妊娠中から子育て期の対象者に合わせた必要な情報を提供できました。また、様々な事業の中でも情報提供する媒体として、くり返し活用しました。(健康支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆市内の保育所情報など情報が年度途中で変化していくなかで、情報更新の手続きについて再考する必要があります。(子育て支援課) ◆2020年以降、子育てサイト「きらっ子ナビ」が無償運営できなくなることから、子育て情報の発信について広報課とともに協議・検討していく必要があります。(子育て支援課) ◆必要に応じて、新しい情報を反映させていきます。(健康支援課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆祖父母世代と親(子育て)世代の良好なコミュニケーションを図り、また、子育て支援に積極的に関わってもらうことを目的に発行した「ならしの孫育てハンドブック」を増刷し、引き続き周知・情報の提供を行います。(子育て支援課) ◆「ならしの子育てハンドブック」を作成し、最新の子育て支援情報について、市ホームページ・ツイッター、広報等で周知を図ります。(子育て支援課) ◆子育て応援サイト「きらっ子ナビ」を引き続き運営し、わかりやすい子育て情報の提供を行います。(子育て支援課) ◆提供する情報の充実と正確さを図るために、定期的に内容を見直していきます。(健康支援課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	男女共同参画センター・産業振興課 子育て支援課・こども政策課
施策内容	1 子育てに関する相談窓口・情報提供の充実		
事業名	53 子育てに関する制度の活用推進	平成30年度 事業費決算額	事業名：男女共同参画啓発事業 決算額：30,110円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆職業生活と家庭生活の両立に関する制度等について、パンフレットの配布等により情報提供を行い、仕事と家事・育児等の家庭生活や地域活動との調和のための環境づくりを推進します。 ◆育児休業制度、配偶者の出産休暇制度や子の看護休暇制度についてパンフレット等で啓発するとともに、求人情報サイト「アクティブならしの」にも掲載し、情報提供を行います。 ◆市内企業における仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを、商工会議所と連携して啓発し、子育て支援先端企業認証制度を推進します。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆男女が共に仕事や家庭生活を両立できるようワーク・ライフ・バランスに関する周知を行います。(男女共同参画センター) ◆市内事業所へ子育て支援に関する諸制度の周知、情報提供に努めます。(産業振興課) ◆引き続き、就業に関する情報提供に努めるとともに、関係機関と連携し、女性の再チャレンジを支援してまいります。(産業振興課) ◆子育てに関する様々な制度についての情報を窓口を設置し、市民の方々への情報提供を行います。(子育て支援課) ◆広報・市ホームページをはじめ、子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」や子育て応援サイト「きらっ子ナビ」を活用し、わかりやすい子育て情報の提供を行います。(子育て支援課) ◆引き続き、習志野市子育て支援先端企業認証制度をさらに周知するため、商工会議所だけではなく、青年会議所などにも周知を図り、新規認証事業者の参入を図ります。(こども政策課) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆「子育て支援先端企業認証制度」や子育てサポート企業を認定する「くるみん」など、職業生活と家庭生活の両立に取り組んでいる優れた事業所に対する登録・認定・表彰制度を紹介するパンフレットを男女共同参画週間事業シンポジウムで配布し、周知しました。(男女共同参画センター) ◆子育て中の父親を対象に父から子どもへ「絵本の読み聞かせ」の実践体験を通して、親子のコミュニケーションを図るとともに積極的な育児参加をねらう「子育て応援セミナー 読み聞かせ講座」をこどもセンター(鷺沼)と共催で平成30年12月9日(日)に開催しました。(男女共同参画センター) ◆千葉県ジョブサポートセンター及び近隣自治体との共催により、子育て中の女性を対象に雇用促進を図ることを目的とした再就職支援セミナーを開催しました。(産業振興課) ◆近隣自治体が実施する雇用対策イベントを後援し、周知協力、職員の派遣などを行いました。(産業振興課) ◆保育付きの労働講演会を開催し、事業者・労働者に対し、これからの新たな働き方についての情報提供、意識啓発を行いました。(産業振興課) ◆国や県等から提供のあった各種啓発物の掲示、配架や、また雇用・労働・就労に係る市ホームページ整理し、情報提供を行いました。(産業振興課) ◆子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」を子育て支援課窓口にて、お父さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布しました。(子育て支援課) ◆子育て支援に関連する各種制度のチラシ・パンフレット等を子育て支援課窓口やこどもセンター、きらっ子ルーム他、市内公共施設に設置し、市民の方々へ情報提供を行いました。併せて市ホームページにおいても、子育て支援に関する情報の充実にも努め、特にタイムリーな情報発信を行いました。(子育て支援課) ◆ならしの子育てハンドブック等に子育て応援サイト「きらっ子ナビ」のアクセス方法を記載し、周知を図りました。(子育て支援課) ◆男女共同参画センターが発行する、制度の周知を図る冊子にロゴマークを掲載し、新規事業者登録の周知を図りました。また、市役所のポスターコンテンツにロゴマークを掲載し、市役所内での周知を図りました。(こども政策課) 		
	評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆「子育て支援先端企業」認証企業数 ◆男性の家庭参画を促す講座等の実施回数 	平成30年度数値

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆【子育て応援セミナー】読み聞かせだけでなく、家族のかかわり方を学べてよかった。・家で妻とシェアし、意識改革を図ろうと思います。自分が変われば社会が変わる。感銘を受けました。「父親をする」という言葉に考えさせられました。帰ったら妻に話をしようと思います。(男女共同参画センター) ◆【セミナー参加者の意見・要望等】(産業振興課) ・セミナーの内容は、有益な情報であった。・また子育てお母さんセミナーに参加したい。・履歴書等、疑問に思っていることを具体的に説明して下さった。・実践向き内容で、より具体的に伺いたかった。・もう少し時間的にボリュームあるセミナーでも良かった。(今後のセミナーでも託児を増やしてほしい。託児所付きでよかった。) ・グループワークをもっと増やしてほしい。・お母さん向けの具体的な求人情報提供が幾つかあると良かった。・子どもがいる場合の就活の難しさ、企業目線で話が聞きたい。 ◆引越してきたばかりで、子どもと一緒にに行ける場所がどこにあるのか、どうやって探せるのかわからなかったため、情報がまとめてある冊子があった助かりました。(子育て支援課)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆職業生活と家庭生活の両立に取り組んでいる優れた事業所に対する登録・認定・表彰制度のパンフレットは配布したことにより、仕事と子育てが両立できる事業所の情報提供が図られました。また、子育て応援セミナーでは、男女共同参画の視点も含めた講義により家庭参画の意識啓発へとつながりました。(男女共同参画センター) ◆子育てお母さんの再就職支援セミナー等を開催することで、就業へのさまざまな選択肢を提供することができました。(参加者20人、同セミナー個別相談会相談者3人)(産業振興課) ◆「ならしの子育てハンドブック」やその他チラシ・パンフレットの配布により、市民への子育てに関する情報提供を適切に行うことができました。(子育て支援課) ◆子育てに特化したサイトである「きらっ子ナビ」を公開し、スマートフォンを活用する子育て世代に対し、わかりやすい、情報を得やすい環境づくりに寄与することができました。(子育て支援課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆職業生活と家庭生活の両立に取り組んでいる優れた事業所に対する登録・認定・表彰制度のパンフレットを市民へも周知していく必要があります。(男女共同参画センター) ◆参加者の意見要望等を踏まえ、参加しやすい環境などを整え、講座等を展開していく必要があります。(産業振興課) ◆2020年以降、子育てサイト「きらっ子ナビ」が無償運営できなくなることから、子育て情報の発信について広報課とともに協議・検討していく必要があります。(子育て支援課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆男女が共に仕事や家庭生活が両立できるようワーク・ライフ・バランスに関する制度や取り組みを周知します。(男女共同参画センター) ◆市内事業所へ子育て支援に関する諸制度の周知、情報提供に努めます。(産業振興課) ◆就業に関する情報提供に努めるとともに、関係機関等と連携し、女性の再チャレンジ支援をしてまいります。(産業振興課) ◆子育てに関する様々な制度についての情報を窓口を設置し、市民の方々への情報提供を行います。(子育て支援課) ◆広報・市ホームページをはじめ、子育て支援情報を掲載した「ならしの子育てハンドブック」や子育て応援サイト「きらっ子ナビ」を活用し、わかりやすい子育て情報の提供を行います。(子育て支援課) ◆引き続き、習志野市子育て支援先端企業認証制度をさらに周知するため、市のホームページでの掲載や、商工会議所だけではなく、青年会議所などにも周知を図り、新規認証事業者の参入を図ります。(こども政策課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 子育てに関する相談窓口・情報提供の充実		
事業名	54 子育て支援コンシェルジュの充実	平成30年度 事業費決算額	事業名:利用者支援事業 決算額:2,003,615円
事業の概要	◆こどもセンターやきらっ子ルームに「子育て支援コンシェルジュ」を配置し、より地域で安心して子育てができるよう、相談の充実に努めます。		
平成30年度 事業目標	◆市内の全てのこどもセンター・きらっ子ルームで引き続き実施し、常に最新の情報提供ができ、また、相談・関係機関につなげられるよう、研修等の充実を図ります。 ◆こども部窓口の子育て支援コンシェルジュが各施設へ出向き、相談を行う「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談しやすい環境づくりや関係機関との連携強化に努めてまいります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆こどもセンター(4カ所)及びきらっ子ルーム(2カ所)に加えこども部窓口の子育て支援コンシェルジュを設置し、相談の受付や、子育て支援情報の提供等を行いました。 相談件数:326件(実人数296人) 相談内容: 「保育所・幼稚園・こども園の入所・入園に関すること」39件・「子どもの身体面について」8件・ 「子どもの精神面について」19件・「子どもの栄養について」3件・「育児一般について」62件・ 「子どもに係る制度・サービスについて」136件・「家庭の問題について」17件・「その他」42件		
評価指標	◆相談件数	平成30年度数値	◆326件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆改めて説明いただいて勉強になりました。
-----------------------	----------------------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆利用者や直接コミュニケーションをとる中で子育てに関する情報の提供を行うとともに、利用者個々の子育てに関する相談に随時対応し、子育て家庭の支援に寄与することができました。 ◆子育て支援コンシェルジュ向けに研修を実施し、資質向上に努めました。	◆国や県の情報をはじめとする子育て支援に関する新たな情報を遅滞なく正確に子育て支援コンシェルジュに伝えるとともに、フォローアップ研修の実施など、コンシェルジュの資質向上を目指した研修等が必要です。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆市内の全てのこどもセンター・きらっ子ルームで引き続き実施し、常に最新の情報提供ができ、また、相談・関係機関につなげられるよう、研修等の充実を図ります。 ◆こども部窓口の子育て支援コンシェルジュが各施設へ出向き、相談を行う「出張コンシェルジュ」を定期的に行い、相談しやすい環境づくりや関係機関との連携強化に努めてまいります。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	55 ファミリー・サポート・センターの充実	平成30年度 事業費決算額	事業名:ファミリー・サポート・センター運営事業、 家事支援ファミリー・サポート・センター 決算額:8,518,802円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆育児・家事支援、ショートステイ、地域子育て支援拠点で一時預かりを行う「ファミ・サポる〜む」を実施し、ファミリー・サポート・センター事業の充実を図ります。 ◆ファミリー・サポート・センター事業の提供会員等の確保に努めるとともに、学習会や談話室の充実に努めます。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひとり親家庭等の利用料助成制度について引き続き周知を図り、助成対象者の拡大に努めます。 ◆多様化する利用会員のニーズに応え、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、会員の制度の理解と意識の向上を図ります。 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用会員の援助の申し込みに基づき、育児支援、家事支援、ショートステイについて、提供会員派遣のためのコーディネートを随時行いました。 ◆ファミリー・サポート・センターの一時預かり事業として、こどもセンター4か所ときらっ子ルーム2か所の計6か所で開催し、併せて市ホームページ等で周知しました。 ◆ひとり親家庭等の就労支援及び育児負担の軽減を図ることを目的に、ひとり親家庭等を対象に、利用料の半額助成を実施しました。 ◆入会説明会を毎週水曜日(38回)、土日(5回)、地域ごと(5回)、個別訪問(随時)により実施しました。 ◆会員に対し、基礎研修会(4回)、研修会(3回)、交流会(1回)、談話室(3回)を開催しました。 ◆ファミリー・サポート・センターだより(年3回)を発行し、会員に対して送付しました。 ◆広報習志野に掲載し、事業の周知を図りました。 		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆会員数 ◆活動件数 	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆育児2,907人・家事2,137人 ショートステイ1,143人・一時預かり1,446人 ◆育児2,842件・家事58件 ショートステイ10件・一時預かり58件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆大変親身にやさしい提供会員の方にしっかり子どもをみていただき、大変ありがたい制度だと思いました。安心して仕事をすることができます。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆ひとり親家庭等の利用料助成を開始したことで、利用しやすい環境を整えることに努めました。 ◆保育所の一時預かり事業が利用が困難な中で、ファミリー・サポート・センター機能を活用した一時預かり事業は、在宅で乳幼児を育てる保護者の支援に努めることができました。 ◆ファミリー・サポート・センター事業の周知及び相互援助のコーディネートを行うことにより、子育てを地域で支えあう機運の醸成に寄与しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひとり親家庭等の利用料助成制度について引き続き周知を図り、助成対象者の拡大に努める必要があります。 ◆利用会員のニーズの需要の増加や多様化、また、奏の杜地区の人口増加に伴う利用者の増加により、さらに提供会員の確保に努める必要があります。 ◆相互援助が円滑に進められるよう、制度の仕組み等について会員へきめ細やかな説明を行うとともに、研修会等による会員の意識の向上に努める必要があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆ひとり親家庭等の利用料助成制度について引き続き周知を図り、助成対象者の拡大に努めます。 ◆多様化する利用会員のニーズに応え、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、会員の制度の理解と意識の向上を図ります。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	56 子育て短期支援事業(ショートステイ)の実施	平成30年度 事業費決算額	事業名:子育て短期支援事業 決算額:36,756円
事業の概要	◆保護者の疾病等の理由により、家庭において養育が一時的に困難な場合に、市が委託する施設において必要な保護を行います。		
平成30年度 事業目標	◆保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上又は環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合、これらの児童を市が委託契約した児童福祉施設において、一定期間、養育・保護を行い、児童及び子育て家庭の福祉の向上を図ります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合、これらの児童を市が委託契約した児童福祉施設において、一定期間、養育・保護を行いました。		
評価指標	◆実績数	平成30年度数値	◆1人(延べ3人)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆親族支援が得られない乳幼児のいる保護者の入院に対し、児童を養育・保護することにより、養育支援及び虐待の未然防止に寄与しました。	◆市内に法定受け入れ施設がないことから他市の施設利用となり、利便性に欠ける点が課題となっています。 ◆受け入れ施設側の事情(疾病の蔓延・定員数)で希望日に利用できない場合があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上又は環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合、これらの児童を市が委託契約した児童福祉施設において、一定期間、養育・保護を行い、児童及び子育て家庭の福祉の向上を図ります。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	こども保育課
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	57 幼稚園・こども園における預かり保育の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆幼稚園・こども園で、預かり保育を継続して実施します。		
平成30年度 事業目標	◆預かり保育の利用日数を保護者のニーズに対応するとともに、教育課程に基づく預かり保育の実施内容の充実を図ります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆3歳短時間児の受け入れに伴い、3歳児の預かり保育の実施時期について検討をしました。 ◆子育て支援の充実のため、幼稚園における長期休業中の預かり保育の実施について検討を重ね、平成31年度夏季休業から実施することとしました。		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆3歳児受け入れの時期及び幼稚園長期休業中の実施について検討を重ね、31年度より実施することとなりました。	◆31年度より実施予定の3歳児預かり保育及び幼稚園夏季休業中の預かり保育について、保育内容や保育環境・実施期間について検証していきます。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆預かりの利用日数や時間等、保護者のニーズに対応するとともに、教育課程に基づく預かり保育の実施内容の充実を図ります。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	58 病児・病後児保育の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名：病児・病後児保育事業 決算額：28,149,338円
事業の概要	◆子どもが病気の時に、家庭の事情や仕事の都合等で育児が困難な場合において、医療機関に付設された市内2か所の施設で保育を実施します。		
平成30年度 事業目標	◆赤松小児科内科医院「エンジェル保育室」の閉室及び津田沼中央総合病院「ケアルームつくしんぼ」の新規開室に対する市民への周知、円滑な移行・事業運営に努めてまいります。 ◆保育所等へ新規で入所する児童の保護者に対してチラシやリーフレットの配布により事業の周知を図り、子育てと仕事の両立を支援します。 ◆病児・病後児施設連絡会議を開催し、病児・病後児施設との情報共有・意見交換を実施します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆赤松小児科内科医院「エンジェル保育室」の閉室及び津田沼中央総合病院「ケアルームつくしんぼ」の新規開室に対する市民への周知、円滑な移行・事業運営に努めました。 ◆保育所等に新規で入所する児童の保護者に対して、チラシやリーフレットの配布を行い、事業の周知を図りました。		
評価指標	◆施設数 ◆利用児童数	平成30年度数値	◆2か所 ◆1,087人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆新規登録に時間がかかります。
-------------------	-----------------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆保護者が仕事などで家庭での看護が困難な子育て家庭を支援することで、子育てと仕事の両立支援を図りました。	◆利用者が制度を円滑に利用できるよう、今後も施設との連携、情報共有に努める必要があります。 ◆児童福祉法及び国の病児・病後児保育実施要綱で対象児童が「乳児・幼児又は小学校に就学している児童」と改正されていることから、習志野市における対象児童の範囲拡大の検討が必要です。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆保育所等へ新規で入所する児童の保護者に対してチラシやリーフレットの配布により事業の周知を図り、子育てと仕事の両立を支援します。 ◆病児・病後児施設連絡会議を開催し、病児・病後児施設との情報共有・意見交換を実施します。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	公民館
施策内容	2 多様なニーズに応える保育サービスの充実		
事業名	59 公民館の託児付き成人講座の実施	平成30年度 事業費決算額	公民館講座費(決算額:69,000円) 公民館管理運営費(決算額:70,000円)
事業の概要	◆公民館で実施する成人向け講座に託児を設けます。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き子育て中の親の心身のリフレッシュになるよう託児付きの成人講座を実施していきます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆手芸や子どものおやつ作り、リンパマッサージ、英語学習等の講座を3公民館で実施しました。(公民館)		
評価指標	◆講座数 ◆実施回数	平成30年度数値	◆講座数 3 ◆実施回数 13回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆普段子どもがいるとできないような内容を、集中して楽しくでき、リフレッシュになった。(公民館)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆参加者は子どもや子育てのことを話題にしながら活動しており、リフレッシュするとともに仲間づくりのきっかけとなりました。(公民館)		◆子育て中の親に講座をPRして、受講者を増やすことが課題です。(公民館)	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き子育て中の親の心身のリフレッシュになるよう託児付きの成人講座を実施します。(公民館)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	3 子育て家庭の経済的負担の軽減		
事業名	60 児童手当の支給	平成30年度 事業費決算額	事業名：児童手当支給事業 決算額：2,587,663,729円
事業の概要	◆0歳から15歳に達する日以後、最初の3月31日まで(中学校修了前)の児童を養育している父母等であり、かつ、父母等及び児童が日本国内に住所を有する場合に支給します。		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆継続的に広報・市ホームページ等で周知し、制度の内容や手続き方法の周知を図ります。 ◆市民課等関係部署と連携し、出生届や住所の変更等の案内を引き続き行います。 ◆子育てワンストップサービスに対応できる環境を整備します。 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆児童手当に係る申請・届出の受付及び審査をし、児童を養育している父母等に手当の支払いを行いました。 ◆広報、ホームページへの掲載、リーフレットの配布等により制度の周知、申請方法の案内に努め、未申請の防止を図りました。 ◆現況届の周知を行い、未提出者に対しては個別に現況届提出の催促を行い、未提出による差止めの防止に努めました。 		
評価指標	◆支給児童数	平成30年度数値	21,799人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆制度の周知や申請方法の案内により未申請の防止を図り、また、現況届の提出催促を行い、未提出による差止めの防止に努めたことにより、適正な児童手当の支給を行うことができ、子育て家庭における経済的負担の軽減が図られました。	◆現況届の提出に係る周知や催促を複数回行うことで提出がありましたが、家庭の事情によって手続きを行うことが難しい場合もあるため、個別のケースにおける事情を考慮し、適切な案内を行っていく必要があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆継続的に広報・市ホームページ等で周知し、制度の内容や手続き方法の周知を図ります。 ◆市民課等関係部署と連携し、出生届や住所の変更等の案内を引き続き行います。 ◆子育てワンストップサービスに対応できる環境を整備します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	3 子育て家庭の経済的負担の軽減		
事業名	61 子どもの医療費等の助成	平成30年度 事業費決算額	事業名：子どもの医療費等助成事業 決算額：622,083,999円
事業の概要	◆0歳から中学校3年生までの子どもの医療費の一部または全部を助成します。		
平成30年度 事業目標	◆ならしの子育てハンドブック、広報及びホームページ等で制度内容や受給券の使用方法等の周知を行い、受給券の交付率の向上を図るとともに、受給券の誤使用の防止に努め、子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健向上を図ります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆受給券に係る申請・届出の受付及び審査を実施し、受給券を発行するとともに、通院・入院の医療費等の助成を行いました。 ◆制度の案内や手続き方法について、ならしの子育てハンドブック、広報や市ホームページ等に掲載し、また窓口等で案内チラシを配布しました。		
評価指標	◆子ども医療費助成受給券交付率	平成30年度数値	◆98.58%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆制度の案内や手続き方法について、広報・市ホームページへの掲載、医療機関等におけるポスター掲示等を行ったことで、昨年度に引き続き高い交付率を継続でき、制度の周知及び子どもの保健向上が図られました。	◆独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象医療費における受給券の誤使用が、前年度に引き続いて今年度においても発生しています。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆ならしの子育てハンドブック、広報及びホームページ等で制度内容や受給券の使用方法等の周知を行い、受給券の交付率の向上を図るとともに、受給券の誤使用の防止に努め、子育て家庭の経済的負担の軽減と子どもの保健向上を図ります。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	こども保育課
施策内容	3 子育て家庭の経済的負担の軽減		
事業名	62 実費徴収に係る補足給付を行う事業	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用等の助成を検討します。		
平成30年度 事業目標	◆事業を円滑に実施し、保護者負担の軽減を図ります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆実施を検討していた際に「幼児教育無償化による副食費徴収実施」との新たな情報があり、補足給付制度全体に影響がある制度変更のため、この時期での実施は混乱が生じることから、無償化と合わせて実施することとしました。		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆特にありません。	◆副食費には補足給付制度があるのに対し主食費については適用されないなど、補足対象が不明確であります。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	
D	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆2019年10月実施の幼児教育・保育の実施に合わせて、補足給付制度を開始します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	63 児童扶養手当の支給	平成30年度 事業費決算額	事業名：児童扶養手当支給事業 決算額：315,700,942円
事業の概要	◆「児童扶養手当法」に基づき、父母の離婚等により父または母と生計を同じくしていない18歳に達する日以後の最初の3月31日まで（心身に基準以上の障害がある場合は、20歳の誕生日の前日まで）の児童を養育しているひとり親家庭等の父母等に手当を支給します。		
平成30年度 事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当の受給資格を認定し、手当を支給します。 ◆児童扶養手当の諸手続き等の際に家庭の状況について確認を行い、必要に応じてハローワーク等の関係機関の紹介や支援制度を案内し、家庭の状況に応じた支援に努めます。 ◆就業又は求職活動をしていないことによる一部支給停止者を、昨年度と同様に3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援相談員と協力しながら、世帯に合わせた就労支援を行うとともに、ハローワークとの連携を強化し、支援体制の強化に努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆ひとり親家庭への適切な支援のため、児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当支給に係る書類を受理及び処理し、手当を支給しました。 ◆手当の諸手続きの際に、就労していない場合や収入が少ない場合は、生計維持の方法について確認し、必要に応じて関係機関の紹介や支援制度を案内しました。 ◆就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を、昨年度と同様に3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、世帯の状況に合った就労支援を行うとともに、ハローワークとの連携を強化し、支援体制の強化に努めました。		
評価指標	◆一部支給停止者数	平成30年度数値	◆1

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆ひとり親家庭自立支援員を中心に就業・生活全般の相談に応じ、自立に向けた指導・助言を行うことで、切れ目のない支援をすることができました。 ◆マザーズハローワーク等関係機関につないだ世帯の情報交換や状況把握に努めました。 ◆就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者は1名であったため、3名以内に抑えるという目標を達成することができました。	◆相談内容が多岐にわたり、より複雑化していることから、個々の家庭状況に応じた関係機関との更なる連携や、生活実態を把握するための面談、訪問等が必要になります。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与するため、児童扶養手当法に基づき、児童扶養手当の受給資格を認定し、手当を支給します。 ◆児童扶養手当の諸手続き等の際に家庭の状況について確認を行い、必要に応じてハローワーク等の関係機関の紹介や支援制度を案内し、家庭の状況に応じた支援に努めます。 ◆就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を、昨年度と同様に3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援相談員と協力しながら、世帯に合わせた就労支援を行うとともに、ハローワークとの連携を強化し、支援体制の強化に努めます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	64 ひとり親家庭等医療費等の助成	平成30年度 事業費決算額	事業名:ひとり親家庭等医療費等助成事業 決算額:13,460,656円
事業の概要	◆「習志野市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例」に基づき、18歳に達する日以後の最初の3月31日まで(心身に基準以上の障害がある場合は、20歳の誕生日の前日まで)の児童を養育するひとり親家庭の方等が、医療保険により受診した場合の医療費の一部を助成します。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き広報・市ホームページ・ひとり親家庭支援のしおり等への掲載を行うほか、児童扶養手当等の諸手続きの際に併せて本制度について案内することで、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ります。 ◆困っていることがあれば関係機関の相談等につなげ、ひとり親家庭の総合的な支援を行い、自立を促していきます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆受給資格認定申請書の受理及び処理、助成申請書の受理及び処理を行い、ひとり親家庭等の父母等及び児童が医療機関等にかかった際の医療費等の一部を助成しました。 ◆制度の案内や手続き方法について、広報、市ホームページ、ひとり親家庭支援のしおり等への掲載、また窓口等で直接案内するとともに、児童扶養手当現況届の提出時に、周知及び助成申請方法等について相談業務を実施しました。		
評価指標	◆助成者数	平成30年度数値	◆563人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆ひとり親家庭等の父母等及び児童が支払った医療費等の一部を助成し、ひとり親家庭等の福祉の増進を図りました。 ◆ひとり親家庭等の父母等への制度の周知を図り、また認定申請・助成申請等の機会を利用し、就労等困っていることを相談につなげるなど、ひとり親家庭等の福祉の増進に寄与しました。	◆頻回受診(調剤)が疑われる事案が見受けられることから、適正な受診についての案内が必要です。 ◆独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象医療費が助成対象外であることの周知が必要です。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き広報・市ホームページ・ひとり親家庭支援のしおり等への掲載を行うほか、児童扶養手当等の諸手続きの際に併せて本制度について案内することで、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図ります。 ◆困っていることがあれば関係機関の相談等につなげ、ひとり親家庭の総合的な支援を行い、自立を促していきます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	65 母子父子寡婦福祉資金の貸付の相談	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に基づき、ひとり親家庭、寡婦を対象に、事業資金等の福祉資金貸付の相談を行います。		
平成30年度 事業目標	◆千葉県の実業であることから、本事業の利用に対して連携を図り、経済的自立に結びつくように相談及び申請を受け付け、各家庭に応じた支援を行います。また、貸付の相談の際には、家庭の生活状況等を確認し、必要に応じ生活支援を行います。 ◆ひとり親支援のしおりや資料を活用し、貸付が必要な時期に間に合うように早い段階から制度について知ってもらえるよう、周知に努めます。 ◆制度の改正がある場合は、漏れの無いよう案内することに努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆貸付の相談や申請を受理する際に、千葉県と連携を図りながら、ひとり親家庭の経済的自立に結びつくように家計を踏まえた返済計画となるよう支援しました。 ◆児童扶養手当やひとり親家庭等医療費助成などの申請時に、しおり等により制度を周知するとともに、貸付が難しい場合には他の制度を案内し、生計の見直しなど個々の状況に応じて支援しました。		
評価指標	◆貸付相談件数 ◆貸付件数	平成30年度数値	◆46件 ◆1件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆ひとり親家庭の父母から貸付制度の利用相談を受けた際に、家庭の状況の把握に努め、制度の利用だけにとどめず、経済的自立等に結びつくよう就労支援を行い返済計画の確認をすることにより、個々のケースに応じた総合的な支援をすることができました。		◆資金貸付の申請から至急まで2～3か月程度要するため、相談を受けるタイミングによっては、資金が必要な時期に間に合わないことがあります。 ◆貸付の相談の際に、貸付だけでなく生活の支援が必要な家庭が増えてきています。	
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆千葉県の実業であることから、本事業の利用に対して連携を図り、経済的自立に結びつくように相談及び申請を受け付け、各家庭に応じた支援を行います。また、貸付の相談の際には、家庭の生活状況等を確認し、必要に応じ生活支援を行います。 ◆ひとり親支援のしおりや資料を活用し、貸付が必要な時期に間に合うように早い段階から制度について知ってもらえるように、周知に努めます。 ◆制度の改正がある場合は、漏れの無いよう案内することに努めます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	66 ひとり親家庭自立支援員による相談体制の充実・情報提供	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆母子家庭や父子家庭等のひとり親家庭を対象に、生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、自立に向けて必要な支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、引き続きひとり親家庭の家庭の相談に応じた指導や助言、支援を行うことで、自立につながるよう、支援します。 ◆多様化する相談内容に対応するため、関係機関とより迅速な連携に努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆母子及び父子並びに寡婦福祉法、生活一般についての相談指導、職業能力向上及び求職活動等の就業についての相談指導、児童の養育費等、その他家庭児童福祉の向上を図るための必要な相談指導やひとり親家庭及び寡婦の自立に必要な支援を行いました。 ◆面談、電話等にてひとり親家庭の父母等の生活や児童の養育に関する相談に応じ、助言及び必要な支援を行いました。また、就労支援や離婚等に関する手続きや支援制度の情報収集に努めるとともに、関係機関と連携を図り、ひとり親家庭の自立に向けた相談を行うとともに、相談受付後に係内の情報共有や継続支援のための検討を行いました。		
評価指標	◆相談件数 ◆就労相談件数	平成30年度数値	◆702件 ◆57件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆自立に向けた支援をするにあたって必要な制度の情報収集に努めるとともに、関係機関との連携をとることにより、個々のひとり親家庭に応じた総合的な支援を行うことができました。 ◆相談受付後に係内で情報共有し、さまざまな視点から継続支援について検討しました。	◆相談内容が多岐にわたるため関係機関との迅速な連携・対応が、より求められています。さらに適切な指導を行うため、常に最新の情報収集に努める必要があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、引き続きひとり親家庭における家庭の相談に応じた指導や助言、支援を行うことで、自立につながるよう、支援します。 ◆多様化する相談内容に対応するため、関係機関とより迅速な連携に努めます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	67 ひとり親家庭自立支援給付金の支給	平成30年度 事業費決算額	事業名:ひとり親家庭自立支援給付金事業 決算額:3,252,480円
事業の概要	◆ひとり親の経済的な自立を支援するため、就労に必要な知識や技能の習得を支援するもので、教育訓練講座の経費の一部や、高等職業訓練促進給付金等を支給します。		
平成30年度 事業目標	◆ひとり親家庭の経済的自立を促すため、資格取得を目指す児童扶養手当受給者に対し、安心して資格取得を行うことができるよう、支援します。 ◆相談者に対し、資料を活用しながら制度の紹介を行い、制度についての理解と周知を図ります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆児童扶養手当現況届提出時などの機会を利用し、就労に向けた資格取得についての相談に応じました。また自立支援教育訓練給付金及び高等職業訓練促進給付金の制度を案内し、必要に応じてマザーズハローワークやハローワークの紹介、千葉県主催の託児付き職業訓練講座の案内を行いました。 ◆高等職業訓練促進給付金等支給事業において、1年以上のカリキュラムを修業、対象資格の取得が見込まれる申請者に対し、「訓練促進給付金」を支給し、養成機関を修了した者に対し、「修了支援給付金」を支給しました。また諸手続きで来庁の際に面接を行い、修業状況や生活面等の確認を行いました。 ◆雇用の安定に向けて職業技能を身につけるため、指定された教育訓練講座を修了した者に自立支援教育訓練給付金を支給しました。		
評価指標	◆申請件数	平成30年度数値	◆3件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆就職に有利となり、また家庭の生活の安定に資する資格取得を本事業によって促進しました。 ◆ハローワークと相互連携を行うことで就職による経済的自立を図りました。	◆就業していない児童扶養手当受給者に対し、今後もハローワークへの案内に併せて資格取得についても案内していく必要があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆ひとり親家庭の経済的自立を促すため、資格取得を目指す児童扶養手当受給者に対し、安心して資格取得を行うことができるよう、支援します。 ◆相談者に対し、資料を活用しながら制度の紹介を行い、制度についての理解と周知を図ります。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	学校教育課
施策内容	4 ひとり親家庭への支援		
事業名	68 就学援助費の支給	平成30年度 事業費決算額	事業名:要保護・準要保護児童援助費及び特別支援教育就学奨励費、要保護・準要保護生徒援助費及び特別支援教育就学奨励費 決算額:75,258,261円
事業の概要	◆経済的理由によって就学することが困難な児童及び生徒に対し、就学援助費を支給します。		
平成30年度 事業目標	◆就学援助の一層の周知を図るとともに、認定された者には定められた援助内容を100%支給します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆児童生徒の保護者からの申請を受け、当該援助費の支給認定をするために提出された必要書類を確認し、認定されたものに学用品費・給食費の支給を行いました。【実績】支給述人数 準要保護 768人、要保護 117人 ◆新入学学用品費について、単価の増額を図るとともに、支給時期を早め入学前支給しました。 【実績】平成31年度新小学1年生50,600円、新中学1年生57,400円		
評価指標	◆当該児童・生徒への実施率	平成30年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆認定されたものに対して、定められた援助内容を100%支給しました。	◆特にありません。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆就学援助の一層の周知を図るとともに、認定された者には定められた援助内容を100%支給します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	総合教育センター
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	69 適応指導教室の推進	平成30年度 事業費決算額	事業名：適応指導教室推進事業 決算額：252,578円
事業の概要	◆不登校児童・生徒の状況に応じた、個別・小集団を通しての指導・支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆通級している児童・生徒全員の学校復帰を目指します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆不登校児童・生徒の状況に応じ、個別・小集団を通じた指導や支援を行いました。		
評価指標	◆不登校児童・生徒の学校復帰率	平成30年度数値	◆50%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆フレンドあいあいに来ることによって、ほかの子どもたちとのコミュニケーションができるようになり、楽しい思いをすることができました。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆たくさんの学校に通うことの困難になった子供が、適応指導教室に通うことができました。		◆利用する子供の人数が増え、その年齢の幅が広がり、施設面や担当職員の数などの改善が求められるようになることが考えられます。	
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆現有の施設、職員の状況で、より良い対応ができるように検討しています。
----------------	-------------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	70 教育相談活動の充実	平成30年度 事業費決算額	児童・生徒教育相談員推進事業(決算額: 11,481,938円) 教育相談事業(決算額:475,766円)
事業の概要	◆小学校・中学校に児童・生徒教育相談員、スクールカウンセラーを配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実と、いじめ・不登校等の問題行動の解決を図ります。 ◆総合教育センターにおける電話相談、来所相談、グループ相談、訪問相談(学校・家庭)への対応や啓発資料の配布等、教育相談活動の充実を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆連絡会や研修会をさらに充実させて、引き続き小中学校の教育相談体制の充実を図り、連携を推進していきます。(指導課) ◆いじめ問題対策委員会やいじめ問題対策連絡協議会での提言を現場で反映できるようにしていきます。(指導課) ◆いじめ問題対策連絡協議会では、講師の先生を招いて、いじめに関する最新の情報を取り上げていくようにしていきます。(指導課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆学校に配置している教育相談員の連絡会を1回実施し、各学校の状況の情報交換を行いました。教育相談担当の教職員の研修は、教育相談ネットワーク会議、長欠対策主任会議等を実施し、情報交換をすることができました。(指導課) ◆いじめ問題対策委員会を7月19日(木)と3月22日(金)の2回、いじめ問題対策連絡協議会を7月23日(月)と12月25日(火)と3月22日(金)の3回開催しました。いじめに関する様々な提言を各学校に周知することができました。(指導課) ◆いじめのアンケートを各学期1回ずつ合計3回実施しました。記名式と無記名式の2種類のアンケートを実施しました。いじめの早期発見、解消と迅速な対応に結びつけることができました。(指導課) ◆総合教育センターにおける電話相談、来所相談、グループ相談、訪問相談(学校・家庭)など、教育相談活動の充実を図ります。(総合教育センター)		
評価指標	◆教育相談員配置校数	平成30年度数値	◆12校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆いじめ問題対策委員会の委員の方から、現在の教育委員会、学校の対応は十分であるとお言葉をいただきました。また、いじめ問題対策連絡協議会の委員の方から、所属の団体に可能な限りバックアップをするとお言葉をいただきました。(指導課) ◆話をしていく過程で、子供たちが自分の考えや気持ちが整理できるようになった、という話がありました。(総合教育センター)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆スクールカウンセラーや教育相談員の配置により、担任の先生以外にも相談できる職員ができました。また、教室に入れない、行きにくい子ども達が相談室を利用できたりと多様な児童生徒たちに寄り添い、居場所づくりとして効果が見られました。(指導課) ◆多くの教育相談の依頼があり、対応しました。(総合教育センター)	◆中学校7校、小学校5校の配置の現状を考えると、小学校への更なる配置が必要です。また、スクールカウンセラーの配置も小学校は7校であり、全校への配置を県に要望していきたいです。(指導課) ◆一つ一つの相談に丁寧に对应して必要があります。(総合教育センター)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆連絡会や研修会をさらに充実させて、引き続き小中学校の教育相談体制の充実を図り、連携を推進していきます。(指導課) ◆いじめ問題対策委員会やいじめ問題対策連絡協議会での提言を現場で反映できるようにしていきます。(指導課) ◆いじめ問題対策連絡協議会では、講師の先生を招いて、いじめに関する最新の情報を取り上げていくようにしていきます。(指導課) ◆丁寧な教育相談を継続して行っていきます。(総合教育センター)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	こども保育課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	71 障がい児保育の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆集団保育が可能な障がいのある子どもや、介護を必要とする子どもを受け入れ、関係機関と連携し、個々の支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆個別に支援を要する子どもの理解および援助方法について施設全体での共通理解を図るとともに、個別指導計画作成・実施・評価・見直しを行い、子どもの成長・発達の経過や支援方針の確実な引き継ぎを実施します。 ◆支援を要する子どもを含めた学級運営と個別の指導に対する支援体制を充実します。 ◆関係機関との連携を図り、情報を共有しながら、支援を要する子どもの保護者への支援を行います。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆個別に支援を要する子どもの理解および支援方法について施設全体で共通理解を図るとともに、個別指導計画の作成・実施・評価・見直しを実施しました。 ◆臨床心理士と指導主事等の施設訪問により、支援を要する子どもを含めた学級運営と個別の指導に対する助言・指導を実施しました。 ◆関係機関と連携を図り、支援を要する子どもの保護者への支援体制を整えました。		
評価指標	◆障がい児保育実施施設数	平成30年度数値	◆8幼稚園・7保育所・3こども園

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆支援を要する子どもの困り感や適切な支援について、臨床心理士の助言により職員間で共通理解したりその後の支援に結びつけたることができました。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆支援を要する子どもに対しての支援について職員間で共通理解し、施設での支援体制が整いました。 ◆臨床心理士と指導主事等の施設訪問により、個別に支援を要する子どもを含めた学級全体の運営及び、個別に支援を要する子どもに応じた援助について具体化されました。 ◆個別に支援を要する子どもについて、関係機関と連携を図り、保護者の理解を得ながら適切な支援を行う体制を整えました。また、就学先へ発達の状況について丁寧な引き継ぎを実施しました。	◆引き続き、個別に支援を要する子どもについて保護者との信頼関係を築き、理解を得ながら適切な支援を行えるようにするとともに、施設と関係機関が連携を図り情報を共有しながら支援体制を整える必要があります。		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A		

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆子罰に支援を要する子どもの位階及び援助方法について、施設全体での共通理解を図るとともに、子罰指導計画の作成・実施・評価委・見直しを行い、子どもの成長・発達の経過や支援方法について確実な引き継ぎを行います。 ◆支援を要する子どもを含めた学級運営と個別の指導に対する支援体制を充実します。 ◆関係機関との連携を図り、情報を共有しながら、支援を要する子どもの保護者への支援を行います。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課・健康支援課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	72 養育支援家庭訪問の実施	平成30年度 事業費決算額	事業名:養育支援家庭訪問事業 決算額:240,000円
事業の概要	◆育児支援が必要な家庭に対し相談員や保健師等が、子育て支援サービスや情報の提供を行うとともに、子育てに関して専門的な指導及び支援を家庭訪問により実施します。		
平成30年度 事業目標	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図ります。(子育て支援課) ◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報共有や母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の早期発見を行います。(子育て支援課) ◆特定妊婦からの関わりを深め、出産後、支援がスムーズに入れる体制の構築が必要です。(子育て支援課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、保健師と連携し、月1回以上の訪問を実施し、育児方法の指導の指導や助言等具体的な支援を行いました。(子育て支援課) ◆対象家庭のアセスメント会議を定期的(13回)に行い、母子保健担当課と密な情報共有・支援方針の確認を図ることで、対象家庭の育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図りました。(子育て支援課) ◆母子保健担当課との連携を図ることにより、養育環境に不安のある家庭の妊婦を把握し、特定妊婦からの関わりを深め、出産後、支援がスムーズに入れるように努めました。(子育て支援課)		
評価指標	◆育児支援家庭訪問対象世帯数 ◆訪問件数	平成30年度数値	◆7世帯 ◆39回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆養育困難な家庭に対し、妊娠中から家庭相談員や保健師が子育て支援サービスや情報の提供を行うとともに、子育てに関して専門的な指導及び支援を家庭訪問により実施することで、安心して出産・育児に臨める環境づくりに努めました。(子育て支援課) ◆臨床心理士との勉強会の実施により、支援方法を検証し、今後の支援方法を検討する上での一助としました。(子育て支援課)	◆子育て世代包括支援センターを含め、母子保健担当課との一層の連携により、対象家庭の早期発見や事業内容の充実が課題となります。(子育て支援課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図ります。(子育て支援課) ◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報共有や母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の早期発見を行います。(子育て支援課) ◆特定妊婦からの関わりを深め、出産後、支援がスムーズに入れる体制の構築が必要です。(子育て支援課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	子育て支援課・健康支援課・こども保育課・指導課・学校教育課・青少年センター・児童育成課・幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・男女共同参画センター・ひまわり発達相談センター・総合教育センター・生活相談課・障がい福祉課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	73 虐待の予防、早期発見と対策、防止	平成30年度 事業費決算額	事業名：女性の生き方相談事業 決算額：1,810,744円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆ならしの子どもを守る地域ネットワークの調整機関として、代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し、関係機関との連携に努めるとともに、研修等を開催し、ネットワークの充実を図ります。 ◆児童相談所や関係機関との連携に努め、児童の虐待防止対策に努めます。 ◆健康相談や健康診査、訪問指導等の機会に児童虐待の予防及び早期発見に努め、関係機関と連携しながら継続的な支援を行います。 ◆民生委員・児童委員、主任児童委員、母子保健推進員による予防・防止活動も実施します。 ◆児童への心理的虐待にあたるDVについて、関係機関と連携し、支援に努めます。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆要保護児童対策地域協議会の機能強化・充実が必要なことから支援の一体性・連続性を確保し児童相談所との円滑な連携・協働体制を推進していくために、要保護児童対策地域協議会の充実及び支援拠点の体制整備を検討します。(子育て支援課) ◆妊娠期からのハイリスク者の把握、「こんにちは赤ちゃん事業」や健康相談・健康診査などの母子保健事業全体をとおして、全数支援を徹底し、関係機関と連携して虐待の予防・早期発見に努めます。(健康支援課) ◆毎日視診を行い、虐待の予防・早期発見に努めます。虐待が疑われる場合は、速やかに関係機関と連携しながら子どもと保護者の支援を実施します。(こども保育課) ◆学期末(年3回)、学年末の指導課訪問の内容を見直し、各学校の状況を的確に把握できるように努めます。また、小中の連携を図り、負の連鎖が継続しないよう見守っていきます。(指導課) ◆引き続き、小学校や子育て支援課との連携を強化し、児童並びに保護者にとって安全安心な放課後児童会を運営できるよう努めます。(児童育成課) ◆「女性の生き方相談」の年60回の相談枠を維持し、DVなどさまざまな悩みを抱えている女性の支援に努めます。また、広く相談事業を認知してもらえるよう、周知に努めます。(男女共同参画センター) ◆虐待に関する早期発見も含め、他課との連携を密に図ります。また、早急な対応を図ります。(障がい福祉課) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ならしの子どもを守る地域ネットワーク代表者会議(2回)、実務者会議(6回)、個別支援会議(33回)を開催し、関係機関との情報共有・連携強化を図りました。また引き続き母子保健との連携に努め、妊娠出産期を含めた早期からの虐待防止に努めました。(子育て支援課) ◆ならしの子どもを守る地域ネットワーク主催研修の参加や、子育て支援課より講師を招いての研修の開催を行い、児童虐待等の研修を実施しました。(児童育成課) ◆児童会での児童虐待の早期発見に繋げていくため、新1年生や児童会内での気がかりな児童等に対して、子育て支援課と情報共有を図り、支援につなげました。(児童育成課) ◆女性の生き方相談の相談枠年60回を維持し、子どもがいるDV被害者について、子育て支援課や関係機関と連携を密にし、支援にあたりました。また、情報紙「きらきら」に女性の生き方相談について掲載し、市内保育所、こども園、幼稚園、市学校へ配布するとともに、女性の生き方相談や千葉県サポートセンターのステッカーを市庁舎の女子トイレのドア等に新たに貼付や、千葉県サポートセンターのフライヤーをトイレの目につく送風機に設置しました。(男女共同参画センター) ◆小学校は学期末、中学校は年4回の生徒指導訪問を行い、各学校の児童生徒の状況を把握し、学校の課題についてアドバイスをしました。(指導課) ◆相談内容の中に、虐待に関するものがあれば、早急に子育て支援課と連携を取ります。(総合教育センター) ◆障がい者虐待防止センターとして夜間や休日に適切かつ迅速に対応を図れるよう、障害者虐待についての概要及び障がい福祉課の緊急連絡先を夜間警備員室へ掲示しました。(障がい福祉課) ◆虐待の通報を受け、早急な対応を行いました。(障がい福祉課) ◆妊娠期からのハイリスク者の把握と継続した個別支援、「こんにちは赤ちゃん事業」や健康相談・健康診査などの母子保健事業全体をとおして、全数支援を徹底し、関係機関と連携して虐待の予防・早期発見に努めます。(健康支援課) ◆日々の視診を丁寧に行い、虐待の予防・早期発見に努めました。虐待が疑われる場合は、速やかに関係機関と連携しながら子供と保護者の支援を実施しました。(こども保育課) ◆習志野市補導委員連絡協議会と青少年センターとで開かれる「センター・連絡会」において、各中学校区補導委員との情報交換をもとに、各関係機関への情報提供を行いました。(青少年センター) 		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆相談対応件数 ◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率 	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆10,972件 ◆97.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆研修を受講しての感想として、「具体的な事例の紹介やロールプレイングは参考になった」、「虐待されている児童も虐待をしている保護者も傷ついていることを受け止め、話をきく姿勢の大切さや、児童の変化をキャッチすることの大切さを感じた」が挙げられた。(児童育成課、放課後児童会職員) ◆女性の生き方相談利用者の意見・感想：自分では考えていなかった情報をきくことができ大変なためになりました。・勇気を出して来てよかったと思いました。・とても大事で必須の事業だと思います。(男女共同参画センター) ◆教育相談員やスクールカウンセラーの配置のない学校から派遣を要望されました。(指導課) ◆事業対象者から事業に対しての意見を伺う機会はありませんが、通報件数が増えていることから、周知が図られてきていると感じています。(障がい福祉課) ◆母子健康手帳交付時に「心配だったことが聞いて安心した」「今後相談できる担当者を紹介してもらって安心した」、「乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)」の訪問では、「初めての育児で不安なことも多かったが、相談できてよかった。」等の意見があります。(健康支援課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】 <ul style="list-style-type: none"> ◆ならしの子どもを守る地域ネットワークの調整機関として代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し、関係機関との連携に努めるとともに、研修等を開催し、ネットワークの充実を図りました。(子育て支援課) ◆児童相談所や関係機関との連携に努め、児童の虐待防止対策に努めました。(子育て支援課) ◆健康相談や健康診査、訪問指導等の機会に児童虐待の予防及び早期発見に努め、関係機関と連携しながら継続的な支援を行いました。(子育て支援課) ◆民生児童委員、主任児童委員、母子保健推進員による予防・防止活動を実施しました。(子育て支援課) ◆児童への心理的虐待にあたるDV(ドメスティック・バイオレンス)について関係機関と連携し、支援に努めました。(子育て支援課) ◆特別な支援が必要と考えられる、ひとり親世帯や家庭環境の複雑な世帯に対して、小学校や子育て支援課との連携を図り、児童並びに保護者に寄り添った育成支援が実施できました。(児童育成課) ◆女性の生き方相談の相談枠を年60回維持することで、できるだけ早く相談を受けられ、子育ての悩みの軽減やDVの早期発見が図られました。また、子育て支援課と連携し対応したことで、虐待の未然防止、早期発見及び対応へとつながることができた。相談窓口の周知では、トイレドア等へのステッカー貼付及びフライヤーの設置により、より一層の周知が図られました。(男女共同参画センター) ◆各学校を訪問し、長欠・不登校の状況や虐待の疑いのある情報をキャッチし、子育て支援課と見直しにつなげることができました。(指導課) ◆相談内容の中に、虐待に関するものがあれば、早急に子育て支援課と連携を取りました。(総合教育センター) ◆夜間及び休日における対応(夜間警備員室との連携)が更に図ることが出来た。関係機関からの通報に対し、早急な対応を行うことができた。(障がい福祉課) ◆母子健康手帳の交付時の看護職の全員個別面接から、早期に虐待のハイリスク者の把握に努めました。また乳児家庭全戸訪問事業では生後4か月までの乳児の家庭の全戸訪問を目指し、何らかの理由で訪問できない場合も状況把握しました。その他、4か月児・10か月児健康相談の未受診者、1歳6か月児・3歳児健康診査の未受診者への積極的な動員と個別支援を実施しました。(健康支援課) ◆日々の視診を丁寧に行うことで、虐待の予防や早期発見に努めることができました。また、虐待が疑われた事案については、関係機関との連携を図ることができました。(こども保育課) ◆市民や保護者から情報提供のあった内容について、関係機関や関係団体へ素早く連絡することができました。(青少年センター) 	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】 <ul style="list-style-type: none"> ◆相談件数の増加、複雑・多様化への対応及び虐待予防や再発防止への取り組みの充実が必要となっています。(子育て支援課) ◆要保護児童対策地域協議会の強化・充実が必要となっています。(子育て支援課) ◆入会児童の増加に伴い、社会的弱者など支援が必要と考えられる家庭の増加、また、案件の複雑化・多様化などに対して、介入すべき判断基準並びに当該家庭へのより良い対応について、研修等を行い放課後児童支援員のスキルアップを図ることや、情報共有し緊密に連携を図ることが必要であります。(児童育成課) ◆相談へつなげることがDV及び虐待の未然防止、早期発見と対応へとつながることから、あらゆる機会、手段により相談窓口を周知する必要があります。(男女共同参画センター) ◆児童虐待に関する情報は、なかなか発見しづらい部分であり、子供からも吸い上げにくい。家庭との信頼関係を築き、教師と保護者が相談しやすい関係づくりをしていかなければなりません。(指導課) ◆教育相談の中で虐待に関する話題に対して敏感に対応し、子育て支援課など関係機関と素早くできるようにしていきます。(総合教育センター) ◆虐待支援をする中で他課との連携を図るにあたり、難しい部分があります。(本人の状況や希望に沿う形が制度の関係から出来ない等)(障がい福祉課) ◆今後も地区保健活動全体で虐待の未然防止に努めるとともに、関係機関と連携しながら虐待の早期発見・対応をする必要があります。(健康支援課) ◆関係機関や関係団体とさらに連携が強化できるよう努めていきます。(青少年センター)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆要保護児童対策地域協議会の機能強化・充実が必要なことから支援の一体性・連続性を確保し児童相談所との円滑な連携・協働体制を推進していくために、要保護児童対策地域協議会の充実及び支援拠点の体制整備を検討します。(子育て支援課) ◆引き続き、小学校や子育て支援課との連携を強化し、児童並びに保護者にとって安全安心な放課後児童会を運営できるよう努めてまいります。(児童育成課) ◆「女性の生き方相談」の年60回の相談枠を維持し、DVなどさまざまな悩みを抱えている女性の支援に努めます。また、女性の生き方相談やDV相談窓口の周知に努めます。(男女共同参画センター) ◆生徒指導訪問をとおして、児童虐待について情報を収集し、早期発見、早期対応に努めます。(指導課) ◆今後も、相談内容の中に、虐待に関するものがあれば、早急に子育て支援課と連携を取ります。(総合教育センター) ◆虐待に関する早期発見も含め、更なる関係機関との連携を図ります。(障がい福祉課) ◆妊娠期からのハイリスク者の把握、「こんにちは赤ちゃん事業」や健康相談・健康診査などの地区保健活動全体をとおして、関係機関と連携して虐待の未然防止、早期発見に努めます。(健康支援課) ◆引き続き、毎日の視診を丁寧に行い、虐待の予防・早期発見に努めます。虐待が疑われる場合は、速やかに関係機関と連携しながら子どもと保護者の支援を実施します。(こども保育課) ◆青少年の健全育成のための啓発活動及び各関係機関との連携強化に努めます。(青少年センター)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	ひまわり発達相談センター・指導課・小学校・中学校 子育て支援課・こども保育課・幼稚園・保育所 こども園・他関係各課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	74 個別の状況に応じた継続的な発達支援の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆成長・発達に不安又は課題がある児童の健やかな成長に資するため、総合的な相談に応じるとともに、適切な指導及び支援を行います。 ◆発達に課題や心配がある子どもに対しては、保護者の意向を踏まえ、個別支援計画を作成し、個別の状況に応じた指導・保育の実施、評価、計画の見直しを行って、子どもの成長、発達を支えるしくみをつくります。また、子どもの成長・発達の経過や支援方針等を、確実に引継ぎ体制を整備します。 ◆注意欠陥多動性障害(ADHD)・学習障害(LD)・アスペルガー症候群等の発達障がいのある児童の早期発見、支援の強化を図ります。 ◆発達支援に関する研修を充実、強化し、子どもの支援にかかわる職員の資質向上を図ります。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆当センターにおける相談については保護者の意向に沿いながら、迅速な対応に努めてまいります。また、就学前児の指導の方向性について保護者との共通理解を深めながら、個々の子どもの課題に合わせた指導を行うため、個別指導計画を作成しPDCAサイクルによる指導の充実を目指していきます。(ひまわり発達相談センター) ◆巡回相談により、保育所・幼稚園等の職員とともに、子どもの生活の場での支援を考えていきます。また、施設の増加にともなう対応については引き続き検討していきます。併せて当センター主催による発達支援に関する研修に参加を募り、より効果的な支援の周知を図ります。(ひまわり発達相談センター) ◆個別支援計画に基づく継続的な支援体制の強化のために、こども保育課、指導課と連携し、効果的な運用を推進していきます。(ひまわり発達相談センター) ◆保護者の仲間づくり・学習の機会については、当センター元利用者を講師に、ヨガとお話を継続的にを行い、保護者同士がつながりをもち共感し合える仲間づくりを目指していきます。(ひまわり発達相談センター) ◆相談支援事業については、関係機関との連携を深めながら社会資源の情報収集に力を入れるとともに、最新の情報をもとに相談に応じていきます。(ひまわり発達相談センター) ◆関係機関や保護者に対して特別支援教育の学びの場や就学の流れを丁寧に説明する機会として、年間3回特別支援教育説明会を実施いたします。(指導課) ◆家庭児童相談において、引き続き関係機関と連携し、個々の子どもにあった適切な情報提供や支援を行います。(子育て支援課) ◆乳幼児個別支援計画の丁寧な引き継ぎを実施し、引き継いだ後の状況を把握することで、継続的な支援や指導につなげていきます。(こども保育課) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆就学前児童の指導では個別指導計画を作成し保護者との共通理解を図りながら行いました。また、義務教育期の子どもとの相談では保護者同意のもと、学校の担任等との情報共有及び支援の方向性等の協議を行いました。(ひまわり発達相談センター) ◆巡回相談については私立幼稚園・こども園・保育園等の民間保育施設からの相談増加に対応し、継続的な巡回相談を行いました。(ひまわり発達相談センター) ◆2月～3月に個別支援計画の引き継ぎを行った児童の就学先を6月～7月に訪問し、授業参観及び支援に関する協議を担任・就学前施設・当センター間で行いました。(ひまわり発達相談センター) ◆保護者の仲間づくり・学習の機会については、保護者講師(ヨガ)として協力を得ながら今年度6回実施しました。先輩保護者のお話会等を取り入れ、どなたでも参加できる内容としています。(ひまわり発達相談センター) ◆障害児相談支援事業については、福祉サービスの最新情報の収集及び事業所との連携に努めました。(ひまわり発達相談センター) ◆就学前の保護者を対象に、特別支援教育説明会を実施しました。(指導課) ◆就学前と就学後の引継ぎを行うため6月から7月にかけて小学校等での授業参観及び情報交換会を実施しました。(指導課) ◆113名の幼児について2月から3月にかけて個別支援計画を基にした引継ぎを実施しました。(指導課) ◆特別支援教育に係る各種研修を合計24回実施しました。(指導課) ◆ひまわり発達相談センターや総合教育センターをはじめとする関係機関と連携し、家庭のニーズに応じた支援を行いました。(子育て支援課) ◆乳幼児個別支援計画を小学校に丁寧に引き継ぎ、引き継いだ後の状況を確認しました。(こども保育課) 		
評価指標	◆個別支援計画作成件数	平成30年度数値	◆915件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆相談支援事業では「学校と事業所等の連携会議を開いてもらい、我が子についての支援の共有をしてもらえて良かった。」、共働き家庭からは、家族全体の生活も視野に入れたサービス提案をしてもらえて助かった。等利用者からの意見が聞かれました。(ひまわり発達相談センター) ◆巡回相談では「巡回相談をきっかけに保育施設と保護者が親について話し合いをする機会が増えた」「保護者が親と向き合うようになってくれた」との意見が聞かれました。(ひまわり発達相談センター) ◆保護者の仲間づくり・学習の機会に参加された保護者からは、「続けてやりたい」「先輩保護者からの話に共感した」等の意見が聞かれました。(ひまわり発達相談センター) ◆個別指導計画については、作成時に説明があるのわかりやすい「家でもできることが見つかる」との意見が聞かれました。(ひまわり発達相談センター) ◆整備計画が変更となり、平成31年度～2021年度特別支援学級・通級指導教室整備計画の内容について、保護者や学校現場からもっと周知してほしいという意見が出ました。(指導課) ◆特別支援教育に係る研修については、ためになる研修が多かったという意見をいただきました。(指導課) ◆個別に支援を要する幼児については、乳幼児個別支援計画の丁寧な引き継ぎをしたことで、継続的な支援や指導に生かすことができました。(こども保育課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】 <ul style="list-style-type: none"> ◆就学前児童の指導については、保護者の希望や要望を伺いながら個別指導計画を作成したことで、保護者にとっても指導内容がわかりやすく、見への理解につながりました。また、義務教育期の子どもとの相談については、保護者同意のもと、学校訪問を行い、支援の手立て等の共通理解を図ることができました。(ひまわり発達相談センター) ◆巡回相談については、就学前施設との連携が年々深まり発達支援に対する共通理解が図られるようになってきています。(ひまわり発達相談センター) ◆個別支援計画については保護者からの希望が増え、作成数が少しずつ増加しています。(ひまわり発達相談センター) ◆保護者の仲間づくり・学習の機会では先輩保護者によるお話会が好評でありました。ランチやお茶会等、その後の保護者同士の集いへの参加につながりました。(ひまわり発達相談センター) ◆障害児相談支援事業については、事業所等と保護者との間で意見の相違が生じた際、仲介し内容の整理を行いました。支援の方向性を一緒に考えていくことや事業所等と保護者との関係性を築いていくことで、安心してサービスの継続利用ができました。(ひまわり発達相談センター) ◆個別支援計画の引継ぎ会、個別の教育支援計画の作成と活用に向けた相談会や、事例研修会を継続して実施していることで、年度初めに作成が周知できていたり、個人ファイルごとに整理されていたりするなど、学校全体の意識向上がありました。(指導課) ◆子どもの発達に関する悩みについて、家庭児童相談において、面接、訪問などにより対応を行いました。また、関係機関と連携し、支援が必要な子どもなどについて医療情報やひまわり発達相談センター、総合教育センターの利用についての情報提供を行ったほか、安心して利用につながる支援を行いました。(子育て支援課) ◆幼稚園・保育所・こども園で保護者と共に作成した乳幼児個別支援計画をもとに、就学先に丁寧に引き継ぎを実施することで、継続的な支援につながりました。(こども保育課) 	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】 <ul style="list-style-type: none"> ◆就学前児童の指導については引き続き個別指導計画を運用しながら保護者との共通理解に努めます。また、義務教育期の子どもとの相談については、各学校との連携を深め、継続的に支援される体制について引き続き学校等関係部署と検討を重ねる必要があります。(ひまわり発達相談センター) ◆私立保育園(認可・無認可園)等の増加に伴い、巡回相談の案内や周知を進めています。また支援の必要なお子さんについては、早期対応について園と共に考え、成長を見守ってまいります。(ひまわり発達相談センター) ◆個別支援計画の作成数の増加に伴い、指導担当者が引継ぎ及び小学校等訪問に向かう回数が増えたため、業務調整が厳しくなっています。引き続き対応の方法を工夫し、就学前施設や学校と協議の上役割の分担について検討します。(ひまわり発達相談センター) ◆保護者の仲間づくり・学習の機会では先輩保護者からの話を聞く機会を重ねながら、保護者同士が語り合う場につながるように今後も工夫が必要であります。(ひまわり発達相談センター) ◆個々のニーズに応じた福祉サービスを案内するためには、最新で確かな情報把握の為に、事業所等との情報共有が必要であります。(ひまわり発達相談センター) ◆特別支援教育の推進と適正な就学に関する相談を図ってまいります。(指導課) ◆個々の子どもにあった支援機関につなげていけるように、関係機関との連携を図るとともに、発達障がいについての理解を研修等により深め、業務に生かす必要があります。(子育て支援課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆当センターにおける相談については保護者の意向に沿いながら、保護者を不安にさせない迅速な対応に努めてまいります。また、就学前児の指導の方向性について保護者との共通理解を深めながら、個々の子どもの課題に合わせた指導を行うため、個別指導計画を作成し指導の充実を目指していきます。(ひまわり発達相談センター) ◆巡回相談により、保育所・幼稚園等の職員とともに、子どもの生活の場での支援を考えていきます。また、施設の増加にともなう対応については当センター主催による発達支援に関する研修に私立保育園等の参加を募り、より効果的な支援の周知を図ります。(ひまわり発達相談センター) ◆個別支援計画に基づく継続的な支援体制の強化のために、こども保育課、指導課と連携し、効果的な運用を推進していきます。(ひまわり発達相談センター) ◆保護者の仲間づくり・学習の機会については、当センター元利用者を講師に、ヨガとお話を継続的にを行い、保護者同士がつながりをもち共感し合える仲間づくりを目指していきます。(ひまわり発達相談センター) ◆相談支援事業については、関係機関との連携を深めながら社会資源の情報収集に力を入れるとともに、最新の情報をもとに相談に応じていきます。(ひまわり発達相談センター) ◆特別支援学級と通級指導教室で指導を受ける児童生徒については、個別の教育支援計画の作成率100%を目指します。(指導課) ◆家庭児童相談において、引き続き関係機関と連携し、個々の子どもにあった適切な情報提供や支援を行います。(子育て支援課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	あじさい療育支援センター
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	75 障がい児施設での療育の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名:あじさい療育支援センター運営費 決算額:40,161,843円
事業の概要	◆知的障がい児、肢体不自由児等に対する生活動作訓練・運動機能訓練及び保護者への生活指導や療育方法の指導を行います。 ◆計画相談・相談支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆あじさい療育支援センターから市内の保育所等に転所する児童に対して、集団生活への適応状況を確認したうえで、必要に応じて保育所等訪問支援事業を実施します。 ◆個別指導計画に基づき、個々の状態に応じた発達の促進と能力の向上を図ります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆あじさい療育支援センターから市内の保育所等に転所した児童に対して、6月に相談支援のモニタリングによる訪問を実施し、転所先での集団生活への適応状況について確認しました。		
評価指標	◆個別指導計画及び障害児支援計画作成件数 ◆保育等訪問支援新規契約者数	平成30年度数値	◆個別指導計画 福祉型31名 医療型17名 ◆0名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆今年度については、転所先での生活に不応を起している児童はいなかったため、実際に保育所等訪問支援は行われませんでした。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆あじさい療育支援センターから転所した児童について、転所先での状況を早めに確認することで、保育所等訪問支援の必要な児童の見極めができました。	◆訪問支援員が対応できる人数には限りがある為、対象者が増加した場合、対応しきれなくなる可能性があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆あじさい療育支援センターから市内の保育所等に転所する児童に対して、集団生活への適応状況を確認したうえで、必要に応じて保育所等訪問支援事業を実施します。 ◆個別指導計画に基づき、個々の状態に応じた発達の促進と能力の向上を図ります。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	ひまわり発達相談センター・障がい福祉課・子育て支援課・健康支援課・子ども保育課・指導課・幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・あじさい療育支援センター
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	76 発達支援施策の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆発達支援施策の充実を図るため、子どもの支援に携わる関係部署と市民と協働で策定したプログラム評価を取り入れたロジック・モデルに基づき、PDCAサイクルによる評価を行いながら、市民協働で具体的な施策を推進していきます。		
平成30年度 事業目標	◆平成30年度は発達支援に関する社会調査(モニタリング調査)を実施し、発達に課題のある子どもの健やかな成長を支え、保護者、地域の人々が共に係わり、共に育ち合い、共に支え合うための施策を考えていきます。(ひまわり発達相談センター) ◆特別支援コーディネーターを中心に校内委員会の充実を図り、関係機関と連携した支援体制の整備を一層推進します。(小学校・中学校) ◆発達支援体制の充実のため、引き続き関係部署との連携を図ります。(障がい福祉課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民協働こども発達支援推進協議会及び発達支援サポートネットワーク会議にて、発達支援施策の推進に関する具体的な取組み等について意見交換をしました。また、発達支援に関する社会調査(モニタリング調査)を実施し、現状の評価や施策の有効性についての検証を行いました。支援に関わる人々の連携を深めるため、乳幼児個別支援計画の運用方法の検討とともに、ライフサポートファイルの試験的な運用開始への取組みについて協議を進めています。(ひまわり発達相談センター) ◆広報7月15日号に特集「みんながともに地域で育つ」を掲載しました。協議会市民委員の有志(「きらっといっぽの会2017」)と協働にてホームページ「こどものそだちあるある情報」や新たなページ「子育てショートあるある」を作成し、子育ての具体的な事例や体験談とともに相談機関に関する情報を掲載しました。(ひまわり発達相談センター) ◆平成30年8月22日に一般市民及び子どもに関わる関係者を対象とする公開講座「子どものこころを育てる言葉かけ・働きかけ」を開催し、啓発・周知を図りました。(ひまわり発達相談センター) ◆ひまわり発達相談センター、総合教育センター、指導課による発達支援会議を5回開催し、情報共有と連携をすることができました。(指導課) ◆学校訪問の際に特別支援教育コーディネーターへユニバーサルデザインの取組について助言を行いました。(指導課) ◆ひまわり発達相談センターが開催している発達サポートネットワーク会議及びあじさい療育支援センター、ひまわり発達相談センター、子育て支援課、障がい福祉課の代表者で構成される四課会議等へ職員が参加し、各関係部署、関係機関連携を図り、発達支援施策に向けた検討をおこないました。(障がい福祉課) 		
評価指標	◆相談・指導利用者数	平成30年度数値	◆727名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ことばかけ、ことばの選択、いつも合っているのか、迷いながら多いです。障がいがある子に対してスモールステップ、小さな一歩、勉強になりました。丁寧に対応できるようにしていきたいです。(ひまわり発達相談センター) ◆スモールステップやほめて伸ばすなど事例を上げながら具体的に話してくださるので、応用して使うことができると思いました。(ひまわり発達相談センター) ◆新年度開設される自閉症・情緒障がい特別支援学級について、指導がどのように行われるか心配している意見がありました。(指導課) ◆連携の必要性が確認された。(障がい福祉課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆協議会市民委員の有志(「きらっといっぽの会2017」)と協働にてホームページ「こどものそだちあるある情報」や新たなページ「子育てショートあるある」を作成し、子育ての具体的な事例や体験談とともに相談機関に関する情報を掲載しました。(ひまわり発達相談センター) ◆平成30年8月22日に一般市民及び子どもに関わる関係者を対象とする公開講座「子どものこころを育てる言葉かけ・働きかけ」を開催し、啓発・周知を図りました。(ひまわり発達相談センター) ◆ひまわり発達相談センターと就学前施設が行っている乳幼児個別支援計画の引き継ぎに6回参加することができた。気になる幼児・児童・生徒について情報の共有を行い、適正就学につなげることができました。(指導課) ◆各部署が連携して対応を行っていく必要があることを確認しました。(障がい福祉課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ホームページ「こどものそだちあるある情報」や新たなページ「子育てショートあるある」について、広報掲載やチラシ配布等の周知方法を検討する必要があります。(ひまわり発達相談センター) ◆特別支援に係る校内委員会については、特別支援教育コーディネーターや管理職を中心とした校内体制づくりを推進します。(指導課) ◆発達に問題を持つ児童の保護者に対する相談支援体制をどのように整えて行くか検討課題として残りました。(障がい福祉課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成31年度は平成30年度実施の社会調査(モニタリング調査)結果を踏まえながら、乳幼児期から学齢期と連続して具体的な取り組みを進めていくとともに、ライフサポートファイルの試験的運用を関係機関との協働により行い、発達支援体制の充実に努めてまいります。(ひまわり発達相談センター) ◆新年度開設される自閉症・情緒障がい特別支援学級について、訪問や相談を行い、支援や助言を行います。(指導課) ◆発達支援体制の充実のため、引き続き関係部署との連携を図ります。(障がい福祉課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	生活相談課
施策内容	5 特に支援が必要な子どもに対する支援体制の充実		
事業名	77 高校進学希望者への学習支援	平成30年度 事業費決算額	事業名:学習支援事業 決算額:8,995,536 円
事業の概要	◆生活困窮家庭の児童に対して、大学生等を通じて、学習習慣の定着化や将来への不安の解消を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆登録生徒の出席率の向上を目指します。(目標出席率80%) ◆中学3年生の登録生徒の高校進学率100%を目指します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆登録中学生60名に対し講習を行い、講習のなかで個別に学習支援を実施しました。 通常講習 週2回(毎週火曜日・金曜日 各2時間) 計90回 特別講習 夏休み、冬休み 計20回		
評価指標	◆学習支援登録生徒の出席率 ◆学習支援登録生徒の高校進学率	平成30年度数値	◆58% ◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆教室の雰囲気や講師の指導について、好意的な意見が多くありました。 ◆進路のことを考えるようになり、勉強に対する姿勢が変わったとの意見が多くありました。 ◆中学校に行けず不登校の生徒でも、学習支援事業には通うことができる生徒が複数いました。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆生徒の学力や勉強に対する姿勢が向上しました。 ◆講師が進路相談を実施したことにより、生徒が進路選択について考えるようになりました。 ◆中学3年生の登録生徒25名全員が高校に進学しました。 ◆家庭や学校以外の居場所対策として、夏休みと冬休みに自習室の開放を行いました。 ◆大学見学ツアーや高校生との交流会を実施したことにより、進学の意識が高まりました。	◆場所が手狭になっており、60名以上の生徒を受け入れることができません。 ◆登録中学生の出席率の向上が課題です。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆中学3年生の登録生徒の高校進学率100%を目指します。 ◆登録中学生の出席率70%以上を目指します。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	78 補装具・日常生活用具の給付	平成30年度 事業費決算額	事業名:補装具・日常生活用具の給付 決算額:63,938,654円
事業の概要	◆障がいを補うために、補聴器、装具、車椅子等の補装具費の支給や日常生活をサポートするために手すり、スロープ、入浴補助用具等を給付します。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き保護者の相談に応じながら必要な装具を支給し、対象児の生活の質を向上することが出来るように努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆障害手帳の交付や相談の際に該当者に制度に関する説明を行いました。 ◆状況に応じて医師や装具の専門職に意見を聞く等して、相談内容に応じた適切な装具を速やかに支給できるように努めました。		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆対象児に適した補装具、日常生活用具の支給を行いました。		◆生活の質の向上に資する新製品が出て来た際には調査を行い、対象品目の見直しを行って行く必要があります。	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き保護者の相談に応じながら必要な装具を支給し、対象児の生活の質を向上することが出来るように努めます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	79 障害福祉サービス、地域生活支援事業の利用促進	平成30年度 事業費決算額	事業名：障害福祉サービス、地域生活支援事業の利用促進 決算額：94,522,369円
事業の概要	◆家庭において障がい児を一時的に介護できない時に、施設等での預かりや、活動の場の提供等により、見守りや社会に適應する訓練等を行うサービス環境の整備を促進します。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き対象児童の状況把握に努め、関係機関と連携をとりながら適切なサービスにつなげていきます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆対象者児童の状況把握を行い、必要に応じて保護者の相談に乗る、関係機関と連絡をとる等、必要なサービスにつなげる等行いました。		
評価指標	◆日中一時支援事業利用回数 ◆育成医療給付率	平成30年度数値	◆23,076回 ◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆適切なサービスにつなげることで児童及び保護者の負担軽減につながりました。	◆特にありません。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き対象児童の状況把握に努め、関係機関と連携をとりながら適切なサービスにつなげていきます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	80 障がい児通所支援の利用促進	平成30年度 事業費決算額	事業名：障がい児通所支援の利用促進 決算額：386,668,209円
事業の概要	◆日常生活における基本的な動作や集団生活への適応等の療育や訓練等が必要な児童に施設等で支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き適切に通所施設を利用出来るように支援を進めていきます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆療育や訓練等の必要な児童が適切に通所施設を利用できるように保護者の相談に乗り、支給決定を行いました。		
評価指標	◆利用回数(放課後等デイサービス利用日数)	平成30年度数値	◆5,811回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆必要とする児童が通所施設を利用する事が出来ました。	◆特にありません。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き適切に通所施設を利用出来るように支援を進めていきます。
----------------	----------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	81 特別児童扶養手当の支給	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、精神又は身体に障がいのある20歳未満の児童を監護・養育している方に、手当を支給します。		
平成30年度 事業目標	◆手帳交付の際、該当者に説明を行うことで、早期に手続きが行えるよう努めるほか、職員の知識・理解を深め、わかりやすい説明と事業の円滑な実施を図ります。 ◆広報紙、市ホームページ、県配布のしおり等を活用し、制度の周知を継続して実施します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆手帳交付の際、該当者に説明を行った他、市ホームページや広報紙等でも周知を行いました。		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆ケースワーカーと連携の上、該当者に対して制度の説明を行うことにより、新規の申請へつなげていくことができました。また、事業主体である千葉県と連携し、円滑に事務手続を実施することができました。		◆申請者の状況により、申請方法や必要書類等が異なるなど、手続が複雑であることから、事業主体である千葉県と連携し、引き続き制度の周知及び職員の知識・理解を深め、円滑に事業を実施する必要があります。	
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆前年度に引続き、手帳交付の際、該当者に説明を行うことで早期の手続実施に努めるほか、職員の知識・理解を深め、わかりやすい説明と事業の円滑な実施を図ります。 ◆広報紙、市ホームページ、県配布のしおり等を活用し、制度の周知を継続して実施します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	82 障害児福祉手当の支給	平成30年度 事業費決算額	事業名: 障害児福祉手当 決算額: 11,827,890円
事業の概要	◆常時介護を必要とする在宅の重度障害児に対し、手当を支給します。		
平成30年度 事業目標	◆制度に係るわかりやすい説明と広報紙、市ホームページ等を活用した制度の周知を継続して実施します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆手帳の新規交付及び更新の際、該当者に対し制度の説明を行い、円滑な手続に努めました。		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆該当者を新規申請につなげることができた他、制度を円滑に実施することができました。	◆受給認定となる条件、受給資格が喪失となる条件等、制度が複雑であることから、制度に係るわかりやすい説明と周知を行う必要があります。また、各受給者の状況を把握し、有期更新や施設入所の場合の喪失手続等を、遅滞なく実施する必要があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆制度に係るわかりやすい説明と広報紙、市ホームページ等を活用した制度の周知を継続して実施します。また、各手続の円滑な実施に努めます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	83 重度心身障害児医療費の助成	平成30年度 事業費決算額	事業名:障がい者自立支援事業 (重度医療・身体的分)決算額:194,420,073 円 (重度医療・精神的分)決算額:25,993,053円
事業の概要	◆重度心身障害児を対象に、医療費の一部を助成します。		
平成30年度 事業目標	◆制度の周知と適切な説明を行い、対象者や対象となる可能性のある方が円滑に制度を利用できるように努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆手帳新規取得及び再交付について、重度医療担当者がすべてチェックする体制としました。		
評価指標	-	平成30年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆対象者への漏れの無い支給、および、資格喪失者への適切な対応を行いました。	◆特にありません。ただし、居住地特例などの取扱いが市によって異なるため、このような案件については、今後も引き続き、個別対応が必要となります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆対象者への漏れの無い支給、および、資格喪失者への適切な対応をします。
----------------	-------------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	84 福祉タクシー運賃助成	平成30年度 事業費決算額	事業名:福祉タクシー事業 決算額:23,681,000円
事業の概要	◆障がい児のタクシー利用費用の一部を助成します。		
平成30年度 事業目標	◆今後も引き続き対象者への制度の案内等遺漏のないよう事業を継続します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆ご申請いただいた対象者へ福祉タクシー券を交付しました。		
評価指標	◆給付率	平成30年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆タクシー協力機関と対象者間でのトラブルを防ぐために、協力機関への制度の更なる周知と協力を求め、対象者への適切な案内を行いました。	◆引き続き、タクシー協力機関と対象者間でのトラブルを防ぐために、協力機関への制度の更なる周知と協力を求め、対象者への適切な案内を行います。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆今後も引き続き対象者への制度の案内等遺漏のないよう事業を継続します。
----------------	-------------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	学校教育課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	85 特別支援教育就学奨励費の補助	平成30年度 事業費決算額	事業名：要保護・準要保護児童援助費及び特別支援教育就学奨励費、要保護・準要保護生徒援助費及び特別支援教育就学奨励費 決算額：6,277,082円
事業の概要	◆特別支援教育を受ける児童及び生徒を養育する世帯を対象に就学奨励費を補助することで、経済的負担の軽減を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆提出された書類の適正な審査に基づき決定した支弁区分により、支給決定された者に定められた援助費を100%支給します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆児童生徒の保護者からの申請を受け、提出された必要書類を確認し、援助費の支給に係る支弁区分を決定するとともに、給付及び進達事務を行いました。【実績】支給述人数 160人		
評価指標	◆該当児童・生徒への実施率	平成30年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆進達を行い、支給決定された者について支弁区分に基づき100%援助費を支給しました。	◆特にありません。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆提出された書類の適正な審査に基づき決定した支弁区分により、支給決定された者に定められた援助費を100%支給します。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	2 すべての家庭が安心して子育てができる環境の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	6 障がい児施策の充実		
事業名	86 相談支援事業	平成30年度 事業費決算額	事業名: 相談支援事業 決算額: 20,034,000円
事業の概要	◆障がいのある児童、家族、関係機関等に対して相談及び情報提供、社会参加の促進等の支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆障がい児及びその家族、介護者、関係機関等に対して、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高める支援、相談及び情報提供や権利擁護の援助等の総合的な相談等を行うことにより、対象児や家族の自立と社会参加を促進するとともに、地域福祉の向上に努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆各CWが総合的な相談に応じるとともに相談支援事業所とも連携をとり、対象児童や家族が適切に福祉サービスを利用する支援を行いました。		
評価指標	◆相談件数(成人も含む)	平成30年度数値	◆14,575件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆支援を必要としている対象者が適切に福祉サービスにつながり、継続的に相談支援を受ける事が出来る体制を整えました。		◆福祉サービスの利用児童が増え、障害児の計画相談を受ける事が出来る事業所が満杯となっているため、新たにサービスを利用する児童はセルフプランとなっています。	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆障がい児及びその家族、介護者、関係機関等に対して、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高める支援、相談及び情報提供や権利擁護の援助等の総合的な相談等を行うことにより、対象児や家族の自立と社会参加を促進するとともに、地域福祉の向上に努めます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	3 家庭の教育力の向上	担当課	公民館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実		
事業名	87 PTA家庭教育学級の充実	平成30年度 事業費決算額	公民館講座費(決算額:438,000円) 公民館管理運営費(決算額:62,000円)
事業の概要	◆PTA会員を対象に、家庭教育の重要性、幼少年期の発達課題、学校や地域との関係等、家庭教育の諸問題や親の対応について学習します。		
平成30年度 事業目標	◆引き続きPTA家庭教育学級において、子どもの発達段階に応じた子育てを考えるための事業を実施します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆各公民館を中心に実施しました。(公民館)		
評価指標	◆実施回数	平成30年度数値	◆87回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆家庭における教育の大切さを実感した。子どもが困ったときに親がどのように関わるべきか考える機会になった。(公民館)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子どもの抱えている現状や環境を理解し、情報交換の場となった。家庭教育の大切さを認識することができました。(公民館)	◆PTA役員の負担や参加者の減少が課題である。また、働いている保護者も参加できる環境づくりが必要です。(公民館)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続きPTA家庭教育学級において、子どもの発達段階に応じた子育てを考えるための学級を実施します。(公民館)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	3 家庭の教育力の向上	担当課	子育て支援課・図書館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実		
事業名	88 ブックスタート事業の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名:ブックスタート事業 決算額:953,056円
事業の概要	◆生後4か月のお子さんを対象に、4か月児健康相談終了後、民生委員児童委員の協力のもと、読み聞かせの大切さを伝え、絵本とコットンバッグをお渡しします。 ◆誕生記念として特別にデザインした図書館カードを、ブックリストとともに新生児に配付し、登録を促進します。		
平成30年度 事業目標	◆健康支援課母子保健担当や図書館、民生委員児童委員との連携を図り、親子のふれあいの支援や読書活動の充実に努めます。 (子育て支援課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆市内11か所で開催している健康支援課による4か月健康相談において、民生委員児童委員協力のもと、絵本とコットンバッグを贈呈しました。(子育て支援課) ◆贈呈する絵本を3種類(「いないいないばあ」「おつきさまこんばんは」「がたんごとんがたんごとん」とし、第2子以降などに別の本を贈呈できるよう配慮しました。(子育て支援課)		
評価指標	◆ブックスタートパック配付数	平成30年度数値	◆1,376セット

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆ブックスタートがきっかけで子どもに絵本の読み聞かせをする機会を持つことができ、よかったです。(子育て支援課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆4か月健康相談の場を活用し、乳児期の早い時期に絵本等の配布を行うことで、絵本の大切さを伝えるとともに、親子のコミュニケーションのきっかけづくりを支援しました。(子育て支援課) ◆絵本を選択制にすることで、市民の様々なニーズに対応しました。(子育て支援課) ◆民生委員児童委員に協力を得て配布をすることで、子育て中の保護者に身近な相談先である担当地区の民生委員児童委員を知っていただく重要な機会となりました。(子育て支援課)	◆事業周知と理解を深めるため、健康支援課や民生委員児童委員との更なる連携に努める必要があります。(子育て支援課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆健康支援課母子保健担当や図書館、民生委員児童委員との連携を図り、親子のふれあいの支援や読書活動の充実に努めます。 (子育て支援課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	3 家庭の教育力の向上	担当課	公民館・子育て支援課
施策内容	1 家庭教育への支援の充実		
事業名	89 育児講座等の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名：公民館講座費 決算額：533,000円
事業の概要	◆公民館で乳幼児を持つ親を対象に、乳幼児の健康や遊び、心理、心と体の発達等、子育てに関する講座を実施します。 ◆「コモンセンス・ペアレンティング(ほめて伸ばす子育てトレーニング講座)」について、関係機関との連携により実施します。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き学習を通じて子育て中の親の支援と仲間づくりの促進を図るため育児講座を実施します。(公民館) ◆関係機関と連携しながら「ほめて伸ばす子育てトレーニング講座」を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。(子育て支援課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆講座を実施して、子育て中の親への支援と仲間づくりを促進しました。(公民館) ◆ファミリー・サポート・センターやこどもセンターで子育て中の親等を対象にした「ほめて伸ばす子育てトレーニング」講座を開催しました。(子育て支援課)		
評価指標	◆実施回数(子育て支援課) ◆学級数(公民館) ◆実施回数(公民館)	平成30年度数値	◆4回 ◆学級数 12 ◆実施回数 68回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆子育てをしている仲間と一緒に学べ、安心できた。育児をする上で不安になることが多いが、解消された。(公民館) ◆ほめて伸ばす子育てトレーニング講座のフォローアップ研修では、参加者より、「定期的に見直すことで自信につながる」とのコメントをもらっています。(子育て支援課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆子育てに関する様々なことを学び、悩みを持つ親同士の意見交換ができました。(公民館) ◆「ほめて伸ばす子育てトレーニング講座」の受講することで、子育てに対する自信や良い方法へ変化したことによる、こどもをほめる行動等につなげていくことの重要性を伝えられました。(子育て支援課)	◆講座終了後の育児サークル化を図るうえで、リーダー育成が課題となっている。また、母親だけではなく父親も参加できるような日程調整も課題です。(公民館) ◆講座を継続的に行うため、計画的な実施体制を構築するとともに、トレーナーのフォローアップを行う必要があります。(子育て支援課) ◆フォローアップ講座の実施時期を検討し、多くの出席が見込まれるよう配慮が必要です。(子育て支援課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、学習を通じて子育て中の親の支援と仲間づくりの促進を図るため育児講座を実施します。(公民館) ◆関係機関と連携しながら「ほめて伸ばす子育てトレーニング講座」を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。(子育て支援課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

2 家族が喜びや生きがいを感じながら、子育てができる場所となる			
基本方針	3 家庭の教育力の向上	担当課	公民館
施策内容	1 家庭教育への支援の充実		
事業名	90 幼児家庭教育学級の充実	平成30年度 事業費決算額	公民館講座費(決算額:1,105,000円) 公民館管理運営費(決算額:158,000円)
事業の概要	◆公民館で3歳児の親を対象に、様々な角度から子育てに関する講座を実施します。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き、子育て中の親の支援と仲間づくりの促進を図るため、プログラムを充実させ、参加者同士が継続的に交流できるよう幼児家庭教育学級を実施します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆講座を実施し、講座終了後に参加者同士が継続的な交流が持てるように支援しました。(公民館)		
評価指標	◆学級数 ◆実施回数	平成30年度数値	◆学級数 7 ◆実施回数 80回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆子育てに悩んでおり、講師の話や同じ受講生と話ができて勉強になった。講座がバラエティに富み、子どもにもプログラムが合っていて参加してよかった。(公民館)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆様々な内容のプログラムを実施して子育てについて学び、参加者同士で情報交換をすることができました。(公民館)	◆私立幼稚園や保育所に入る3歳児が増えている為、参加希望者が減少してきています。また、母親だけではなく父親も参加できるような日程調整も課題です。(公民館)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、子育て中の親の支援と仲間づくりの促進を図るため、プログラムを充実させ、参加者同士が継続的に交流できるよう幼児家庭教育学級を実施します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	社会教育課・公民館
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	91 子ども広場事業の実施	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆公民館の空いている部屋を利用し、安全・安心な放課後の子どもの居場所を確保します。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き、子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、子ども広場事業を実施します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆公民館の空いている部屋を利用し、放課後の子どもの居場所づくりをしました。(社会教育課・公民館)		
評価指標	◆実施施設数	平成30年度数値	◆7(全公民館)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆楽しかった。部屋が空いておらず、子ども広場事業を実施していない日には、入りたかったのに残念だという声がありました。(公民館)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆安全・安心な放課後の子どもの居場所を確保できました。(社会教育課・公民館)	◆事務室から少し離れた部屋で開放しているので、大人の目が届かない時がある。また、公民館によってはあまり子どもが集まらない所があります。(公民館)
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、子どもたちの安全・安心な居場所を確保するため、子ども広場事業を実施します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	社会教育課
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	92 こども会館事業の実施	平成30年度 事業費決算額	事業名:こども会館管理運営費 決算額:2,510,082円
事業の概要	◆児童の健全な遊び、学習の場として、こども会館事業を実施します。		
平成30年度 事業目標	◆子どもたちにとって魅力ある教室事業等を開催するとともに安全で安心して立ち寄れる居場所となるよう運営に努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆絵画教室や書道教室等、講師を招いた主催事業を年間で4事業開催しました。 ◆季節に応じたイベントや装飾づくり等、自主事業を年間で16事業開催しました。		
評価指標	◆利用者数	平成30年度数値	◆年間利用者数 10,337人 うち主催事業参加者 242人 うち自主事業参加者 423人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆施設の日常点検や玩具等の消毒などを徹底して行った結果、大きな怪我や事故等もなく、子どもたちが安全で安心して過ごせる施設を提供することができました。 ◆イベントや開催教室において、参加する子どもたちが、異年齢集団で活動を行い、自主性や創造性の向上を図ることができました。	◆開催事業内容によって、参加者の偏りがあり、多くの子どもたちが参加できる事業の研究・検討が課題です。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	◆子どもたちにとって魅力ある教室事業等を開催するとともに安全で安心して立ち寄れる居場所となるよう運営に努めます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	公民館
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	93 子ども講座の充実	平成30年度 事業費決算額	公民館講座費(決算額:312,000円) 公民館管理運営費(決算額:40,000円)
事業の概要	◆学校が休みの土曜日・日曜日や長期休業日に、親子、異年齢の子どもとのふれあいや豊かな心を育てることを目的として実施している、子ども講座の充実を図ります。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き子ども達の豊かな心を育む講座の開催や、子ども達の安全・安心に過ごせる子どもの居場所づくりに努めます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆公民館サークルの会員や地元で活動している指導者等を講師として実施しました。(公民館)		
評価指標	◆講座数 ◆実施回数	平成30年度数値	◆38 ◆60回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆新しいことにチャレンジし、いろいろなことを知ることができた。楽しかった。(公民館)
-----------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆将棋、ダブルダッチ、陶芸、科学講座等の講座を実施して、子ども達の豊かな心を育み、子ども達の安全・安心に過ごせる居場所づくりにつなげることができました。(公民館)		◆受講者を増やすためのPR方法を考える必要があります。(公民館)	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			B

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き子ども達の豊かな心を育む講座の開催や、子ども達の安全・安心に過ごせる子どもの居場所づくりに努めます。(公民館)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	生涯スポーツ課
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	94 学校体育施設の開放	平成30年度 事業費決算額	事業名: 学校体育施設開放事業 決算額: 8,741,600円
事業の概要	◆市内小学校の校庭・体育館を土曜日・日曜日・祝日に開放し、運動する場を提供します。但し、学校開放運営委員会に登録が必要です。		
平成30年度 事業目標	◆引き続き、利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めます。また、各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てることを目標とします。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆土日祝日に市内16小学校のグラウンド・体育館を開放しました。 ◆学校体育施設開放運営委員会連絡協議会に委託し、各小学校に管理指導員を配置することにより、利用者が安全・安心して活動できるよう努めました。		
評価指標	◆体育施設開放校数	平成30年度数値	◆16

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆土日祝日のグラウンド・体育館を開放することで、学校体育施設を有効に活用するとともに、市民のスポーツ活動の場を提供しました。各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立ちました。	◆定期利用の団体が固定化しており、新規団体の利用や活動日数を増やしたい団体の参入が難しい状況にあります。		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A		

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めます。また、各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てることを目標とします。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	社会教育課
施策内容	1 地域における子どもの居場所づくり		
事業名	95 放課後子供教室の実施	平成30年度 事業費決算額	事業名：青少年健全育成事業 決算額：0円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域住民等の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として学習や体験・交流活動などを行います。 ◆平成27年度は、公民館において実施中の子ども広場事業を整備し、放課後子供教室の実施につなげていきます。 ◆平成28年度以降については、地域の実情に応じた小学校の余裕教室や体育館、運動場等の活用を図りながら、全ての児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後児童会との一体型な事業実施を目指して、施設整備や職員間の連携を行います。 		
平成30年度 事業目標	◆「放課後子供教室」の運営等に係る方針を固め、学校等、関係部局と協議を行い開設に向けた準備を行います。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆近隣市で実施する「放課後子供教室」を現地視察し、運営等の状況を確認しました。		
評価指標	◆開設数	平成30年度数値	◆0

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆近隣市の事業を実際に見聞することで、事業運営に対する疑問点の解消や課題等の確認を行うことができ、計画・実施に向けた参考となりました。	◆ソフト(直営・委託)面とハード(教室確保)面をどのように整理するかが課題であり、各学校の状況等を踏まえ、本市の実情に即した方向性を定め、事業の実施が展開できるよう検討しなければなりません。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
B	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆「放課後子供教室」の運営等に係る方針を固め、学校等、関係部局と協議を行い開設に向けた準備を行います。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	子ども政策課・子ども保育課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり		
事業名	96 こども園の整備	平成30年度 事業費決算額	事業名:(仮称)大久保こども園整備事業/(仮称)第七中学校区こども園整備事業 決算額:1,028,065,469円(暫定額)
事業の概要	◆幼稚園、保育所、こどもセンターが一体となったこども園を整備し、地域の子育ての拠点として、様々な支援を実施します。		
平成30年度 事業目標	◆(仮称)大久保こども園、(仮称)第七中学校区こども園ともに、平成31年4月の開設に向け、在所・在園児の安全確保を第一に施設整備を進めます。(こども政策課) ◆施設整備の方法、進捗状況等を地域住民へ周知します。(こども政策課) ◆新栄幼稚園・秋津幼稚園の跡利用を検討します。(こども政策課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	平成31年4月1日に、大久保こども園及び、新習志野こども園を開園することができました。(こども政策課)		
評価指標	◆施設数	平成30年度数値	◆2施設

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆平成31年4月1日に大久保こども園を開設でき、新たに1号認定70名、2号3号認定150名の受入定員数を確保しました。(こども政策課) ◆平成31年4月1日に新習志野こども園を開設でき、新たに1号認定60名、2号認定30名の受入定員数を確保しました。(こども政策課)		◆大久保こども園においては、開園後の工事が続くことから、在園児の保護者や地域住民への情報提供等を引き続き丁寧に行い、取組に対する理解を得ながら対応を進めます。(こども政策課)	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆新栄幼稚園・秋津幼稚園の跡利用を検討します。(こども政策課)
----------------	---------------------------------

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	子育て支援課・こども保育課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり		
事業名	97 こどもセンターの充実	平成30年度 事業費決算額	事業名:こどもセンター運営事業 決算額:10,817,009円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆就学前の子どもと親が自由に遊び交流する場として、子育てに関する情報提供や学習会等を実施します。また、土曜日に開館することで、父親の育児参加を促します。 ◆地域で安心して子育てができるよう、「子育て支援コンシェルジュ」による相談の充実に努めます。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、こどもセンター・きらっ子ルーム職員全員を「子育て支援コンシェルジュ」として配置し、子どもに関する相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行うことで、より身近な場所での子育て支援に努めます。(子育て支援課) ◆習志野市こどもセンター(鷺沼)において開設する乳幼児専用プレーパークについて周知を行い、子どもがのびのびと外遊びができる環境づくりに努めます。(子育て支援課) ◆こどもセンターに対して、育児に関するわかりやすい情報提供を行い、子育て支援を実施します。(こども保育課) 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こどもセンター(鷺沼)、こども園こどもセンター(東習志野、杉の子、袖ヶ浦)やきらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)との情報共有、連携により事業を実施しました。(子育て支援課) ◆子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)をすべてのこどもセンターときらっ子ルームに配置し、子育て家庭のニーズに応えた相談受付や情報提供を行いました。(子育て支援課) ◆習志野市こどもセンター(鷺沼)は、地域のボランティアの協力を得ながら四季折々の遊び(年8回)、学習会(年6回)、地域世代子育て交流会(年3回)、きらっ子こどもまつり(10月20日開催)など、地域と連携したイベントを実施しました。(子育て支援課) ◆春・夏・冬に乳幼児専用1日体験プレーパークを開催するとともに、利用者向けの学習会を行いました。(子育て支援課) ◆こどもセンターにおいて育児に関する情報提供を実施することで子育て支援につながりました。(こども保育課) 		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設数 ◆利用者数 	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆6か所 ◆73,715人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設が広がったことで、赤ちゃんも気兼ねなく安心して利用できるようになりました。(子育て支援課) ◆広い園庭もあり、いつでも子どもがのびのびと遊べる環境です。(子育て支援課) ◆園庭が広く、安心してのびのび遊ばせられます。(こども保育課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆こどもセンター職員(保育士、保健師)による育児相談を実施し、子育て中の保護者の育児不安の解消につながりました。(子育て支援課) ◆土曜日の開館により、父親や共働き家庭の利用が図られました。(子育て支援課) ◆こどもセンター等連絡会議を開催し、こども園こどもセンター、きらっ子ルームの施設間での情報共有を図ることができました。(子育て支援課) ◆行事への参加とともに、子育て相談の充実を図り子育てに寄り添い子育て支援につながりました。(こども保育課) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設数が増えていることから、施設によって取り扱いが異ならないよう、同じ地域子育て支援拠点として、さらに施設間の情報共有、連携に努めていく必要があります。(子育て支援課) ◆引き続き子育てに役立つ内容を精査しわかりやすく提供していきます。(こども保育課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、こどもセンター・きらっ子ルーム職員全員を「子育て支援コンシェルジュ」として配置し、子どもに関する相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行うことで、より身近な場所での子育て支援に努めます。(子育て支援課) ◆習志野市こどもセンター(鷺沼)において開設する乳幼児専用プレーパークについて周知を行い、子どもがのびのびと外遊びができる環境づくりに努めます。(子育て支援課) ◆引き続き子育てに関する情報をわかりやすく情報提供し、子育て戦を実践します。(こども保育課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	1 地域における子育て・子育て支援拠点の整備	担当課	子育て支援課
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり		
事業名	98 きらっ子ルームの充実	平成30年度 事業費決算額	事業名: つどいの広場運営事業 決算額: 16,425,208円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆主に乳幼児を持つ親と子どもが、気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で、交流を図る場を提供します。また、土、日に開館することで、父親の育児参加を促します。 ◆地域で安心して子育てができるよう、「子育て支援コンシェルジュ」による相談の充実に努めます。 		
平成30年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、こどもセンター・きらっ子ルーム職員全員を「子育て支援コンシェルジュ」として配置し、子どもに関する相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行うことで、より身近な場所での子育て支援に努めます。 		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆子育て支援コンシェルジュ(利用者支援事業)を配置し、子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供を行いました。 ◆地域(ボランティア等)の協力により、学習会等を実施しました。 (きらっ子ルームおおくぼ)学習会4回、ベビーマッサージ等4回 ◆きらっ子ルームやつにおいて、ミニ講座・夫婦講座を行いました。 		
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ◆施設数 ◆利用者数 	平成30年度数値	<ul style="list-style-type: none"> ◆2か所 ◆34,097人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆ミニ講座に参加したことで、日常で子どもの健康について疑問に思う内容が解消されました。 ◆ヨガ講座に初めて利用しました。親子で楽しく参加できました。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆保育士による見守りや声掛け、保護者からの相談に対応し、育児不安の解消につながりました。 ◆きらっ子ルームやつは土曜日と日曜日、きらっ子ルームおおくぼは土曜日の開館により、父親や共働き家庭の利用が図られました。 ◆ボランティアによるイベント・ミニ講座等を積極的に開催し、両施設ともに利用者が増加しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域ボランティアとの連携により、講習やイベントなどを更に充実していく必要があります。 ◆子育てに関する情報の充実に努めるほか、利用者の視点に立った利用しやすい施設運営を行う必要があります。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ◆引き続き、こどもセンター・きらっ子ルーム職員全員を「子育て支援コンシェルジュ」として配置し、子どもに関する相談を受けるとともに、子育てに関する情報提供を行うことで、より身近な場所での子育て支援に努めます。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	小学校・中学校・指導課
施策内容	1 世代間交流の推進		
事業名	99 地域交流事業の充実	平成30年度 事業費決算額	事業名:特色ある学校づくり事業 決算額:241,560円
事業の概要	◆学校支援ボランティアの活用等、地域の人材や素材等の授業への活用と地域との交流を推進します。		
平成30年度 事業目標	◆年2回の学校支援ボランティア会議で学校間の連携を図るとともに、学校支援ボランティア活動の充実に努めます。(指導課・小学校・中学校) ◆学校管理下の保険内容を確認し、ボランティアの方々が安心して活動できるように支えます。(指導課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆年2回の学校支援ボランティア会議を開催し、各中学校区の学校間連携を図ることができました。(指導課・小学校・中学校) ◆子ども達の教育活動や環境が豊かになるようにボランティアの方々の惜しみない御尽力が学校を支えてくれました。(小学校・中学校) ◆延べ6,592名の方に学校支援ボランティアとして活動していただき、交流を深めることができました。(指導課・小学校・中学校)		
評価指標	◆学校支援ボランティア参加人数	平成30年度数値	◆6,592人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆各学校で意欲的なボランティア活動が展開され、地域の方との交流が深まりました。(指導課・小学校・中学校) ◆各学校はボランティアの方々の支援を受け、他の職務に専念できるようになり、かつ教育活動を豊かにすることができました。(小学校・中学校)		◆ケガをされた方が1名出てしまったことです。ボランティアに出勤途中に自転車と接触をしてけがをさせていただきました。1回だけの通院で済みましたが、被害者と保険会社と連絡を取って確実に手続きを進めることができました。(指導課・小学校)	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆年2回の学校支援ボランティア会議で学校間の連携を図るとともに、学校支援ボランティア活動の充実に努めます。(指導課・小学校・中学校) ◆学校管理下の保険内容を確認し、ボランティアの方々が安心して活動できるように支えます。(指導課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	中学校・幼稚園・保育所・こども園・指導課
施策内容	1 世代間交流の推進		
事業名	100 中学生と幼稚園児・保育所児・こども園児の交流の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆中学校家庭科、総合的な学習の時間等の授業の一環として中学生と幼稚園児や保育所児、こども園児との交流を実践します。		
平成30年度 事業目標	◆技術家庭科だけでなく、総合学習の活用も図りながら、中学生と幼稚園児等の交流活動の更なる充実を図ります。(指導課) ◆交流を通して、年長者への憧れや尊敬の気持ちを育み、幼稚園・保育所生活が充実したものになるようにしていきます。(こども保育課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆保育所児や幼稚園児・こども園児と中学生との異年齢交流に向けて、計画を推進しております。(中学校)		
評価指標	◆実施校数	平成30年度数値	◆中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆中学生が、保育児や園児と交流することで、キャリア教育の一環となっております。(中学校)
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆中学生にとって、保育所児や幼稚園児・こども園児と交流することは、豊かな体験活動となり、自分の歴史を振り返ることができるとともに、「優しい心」を育む大変良い機会と機会となっております。(指導課) ◆キャリア教育の一環として、保育士等職業について、理解を深めることができております。(指導課) ◆中学生との交流を通して、年長者への憧れや尊敬の気持ちを育むことができました。(こども保育課)	◆中学校技術家庭科の授業時間が少ないため、準備時間を取ることが、大変難しく、現状を維持することが課題であります。(指導課) ◆日程調整が課題ではありますが、教育的な効果が見込まれる事業であるため、最大限の配慮をしていきます。(指導課) ◆生徒が、予防接種を2回受けていないと、保育園、幼稚園に行くことができないなど規定が増えたため難しくなっています。(指導課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆技術家庭科だけでなく、総合的な学習の時間や運動会(体育祭)の活用も図りなが、中学生と幼稚園児等の交流活動のさらなる充実を図ってまいります。(指導課)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	指導課・小学校・中学校
施策内容	1 世代間交流の推進		
事業名	101 地域参加型学校行事の推進	平成30年度 事業費決算額	—
事業の概要	◆学校行事に保護者・地域の高齢者等を招待し、地域との連帯意識を育み、人間性豊かな児童・生徒を育成します。		
平成30年度 事業目標	◆学校だよりや学校ホームページを活用して学校についての情報をさらに広く周知し、地域の方々の参加を促します。(指導課・小学校・中学校) ◆学校行事の見直しや計画をするにあたり、更に地域との交流を考えたものにします。(指導課・小学校・中学校) ◆「チーム学校」の方針のもとで進められる地域の方との交流等を学校教育だより・ホームページでも取材、紹介します。(指導課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆学校だよりや学校ホームページを活用して学校についての情報を広く周知し、地域の方々の参加を促しました。(指導課・小学校・中学校) ◆学校行事の見直しや計画をするにあたり、地域との交流を考えたものにしました。(指導課・小学校・中学校) ◆「チーム学校」の方針のもとで進められる地域の方との交流等を学校教育だよりでも取材、紹介しました。(指導課)		
評価指標	◆実施校数	平成30年度数値	◆小学校16校 中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆特にありません。
-------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆30年度は、第二中学校・第四中学校・東習志野小・袖ヶ浦東小での周年行事をはじめ、保護者や地域の方が数多く学校行事に参加していただきました。教育活動の理解を図り、学校全体の信頼がさらに深まりました。(指導課・小学校・中学校)		◆31年度も、第七中学校での周年行事を控えているので、有効活用しながら、地域との交流を図ってまいります。(指導課・小学校・中学校)	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆学校だよりや学校ホームページを活用して学校についての情報をさらに広く周知し、地域の方々の参加を促します。(指導課・小学校・中学校) ◆学校行事の見直しや計画をするにあたり、更に地域との交流を考えたものにします。(指導課・小学校・中学校) ◆「チーム学校」の方針のもとで進められる地域の方との交流等を学校教育だより・ホームページでも取材、紹介します。(指導課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	社会教育課
施策内容	2 地域の人材の知恵や経験を生かす活動の推進		
事業名	102 青少年健全育成の推進	平成30年度 事業費決算額	事業名: 青少年健全育成事業 決算額: 3,601,840円
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆子ども会育成会・青少年相談員等の事業を支援し、青少年の健全育成を推進します。 ◆ボーイスカウト・ガールスカウト・スポーツ少年団等、青少年育成団体の事業を支援し、青少年の健全育成を推進します。 		
平成30年度 事業目標	◆青少年の健全育成に寄与すべく事業を積極的に支援するとともに各団体間の更なる連携を推進していきます。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆青少年育成団体連絡協議会を定期的に開催し、団体間での情報交換や情報共有を行い、各団体が抱える共通課題(会員の減少)について意見交換するなど一組織としての連携強化を図ることができました。 ◆共同開催行事である市民まつり「子ども広場事業」では、会場スペースが変更となる中、企画・運営にいたる入念な協議を行い、祭り当日、12,090人の参加があり、無事に終了することができました。 ◆子ども会育成会の夏期キャンプや青少年相談員の主催事業に市職員も参加し、各団体の活動状況を体験しました。 		
評価指標	◆青少年育成団体連絡協議会開催回数	平成30年度数値	◆協議会 6回 開催行事 1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆団体において、他団体の事業へ参加する等、事業交流を行っており、今後、団体間の事業交流を広げていきたいと意見がありました。 ◆団体事業に参加した保護者の方から、豆腐作り体験や飯盒炊飯などの野外活動等、普段の生活で学ぶことができない体験を経験できるイベントは、子どもの成長過程にとって大変貴重なものであり、今後も事業を続けて欲しいと言った多くの意見をいただきました。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
<ul style="list-style-type: none"> ◆各団体事業において、子どもたちが、様々な体験と多くの大人達と関わりを持つことによって、情操豊かな育みの一助となりました。 ◆青少年育成団体連絡協議会を通じ、各団体事業の支援を行うことができ、青少年の健全育成に寄与することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各団体において、指導者の後継、会員数の維持・拡大が課題となった。青少年育成団体連絡協議会において、更なる連携体制を強化し、事業交流や共同事業の開催など新たな方策を検討していかなければなりません。
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆青少年の健全育成に寄与すべく事業を積極的に支援するとともに各団体間の更なる連携を推進していきます。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	子育て支援課・こども保育課・こども園
施策内容	2 地域の人材の知恵や経験を生かす活動の推進		
事業名	103 地域の人材の活用	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆こどもセンターやきらっ子ルームで開催する行事等において、地域の方々と交流するとともに、人材を有効に活用します。		
平成30年度 事業目標	◆子育てに関する知識を豊富に有している地域ボランティアの協力により、こどもセンター・きらっ子ルームにおいて講座やイベントを開催することで、事業の充実につなげ、地域力の活性化を図ります。(子育て支援課) ◆子育てに関する知識を豊富に有している地域の方々と連携し、ボランティアの活用に努め、こどもセンターでの事業の充実を目指します。(こども保育課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆こどもセンター・きらっ子ルームにおいて、地域ボランティアの協力により、講座やイベントを開催しました。(子育て支援課) <ボランティアの人数> ・こどもセンター:おはなし会(9回5人)、誕生のつどい(9回1人)、ベビーマッサージ(2回1人)、あそぼの会(20回6人) ・きらっ子ルームやつ:おはなし会(10回3人)、英語であそぼ(4回1人)、ベビーヨガ(9回1人) ・きらっ子ルームおおくぼ:ベビーサイン(3回1人)、ベビーマッサージ等(1回1人) ◆こども園こどもセンターにおいて、ボランティアを活用し絵本の読み聞かせや、パネルシアター、体操、人形劇、フルート演奏等を実施しました。(こども保育課)		
評価指標	◆ボランティア活用人数	平成30年度数値	◆207人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆施設の雰囲気がとてもよく、またここでボランティアをやらせてもらいたい気持ちになりました。(子育て支援課) ◆コンサートで演奏できる場所があつて嬉しいです。(子育て支援課) ◆地域の様々な人とのかわりを通して豊かな体験ができた、顔見知りが増えた。(こども保育課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があつたかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残つたかご記入ください】
◆こどもセンター・きらっ子ルームにおいて、地域ボランティアの協力により、講座やイベントを開催し、地域の人材の活用につながりました。(子育て支援課) ◆地域の人材の活用によってこどもセンター行事の充実が図れました。(こども保育課)	◆今後も地域で活動する方々の豊富な知識や経験を有効活用できるよう、こどもセンターやきらっ子ルーム等において、ボランティアの活用を継続していく必要があります。(子育て支援課) ◆さらに地域の新しい人材を探し人材の活用の幅を広げていきたいです。(こども保育課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆子育てに関する知識を豊富に有している地域ボランティアの協力により、こどもセンター・きらっ子ルームにおいて講座やイベントを開催することで、事業の充実につなげ、地域力の活性化を図ります。(子育て支援課) ◆子育てに関する豊かな知識を持つ地域の方と連携し、ますますのボランティアの活用に努めこどもセンター事業の充実を図ります。(こども保育課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 地域の人材の知恵や経験を生かす活動の推進		
事業名	104 子育て支援団体との連携	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆地域での子育て支援を推進するため、子育て支援に様々な形で関わっている団体等と連携し、支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等との情報交換や課題を共有することで、事業の充実に努めます。 ◆「ならしのきらっ子子どもまつり」を実施し、子育て支援に係る団体等との連携に努め、地域の子育て支援の機運を高めることに寄与します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆平成30年度で15回目となる「ならしのきらっ子子どもまつり」について、子育て支援団体を含む「きらっ子子どもまつり実行委員会」を組織し、実施しました。 ・日時：平成30年10月20日 ・実行委員会開催回数：3回 ・実行委員会参加団体：ならしの子ども劇場、ぼっぼの会他 ◆市内で活動する子育てに係る団体と意見交換を行いました。		
評価指標	◆会議等実施回数 ◆団体事業参加回数	平成30年度数値	◆3回 ◆4回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆今後も行政との連携、情報共有を行って、それぞれの事業を充実させていきたいです。 ◆団体が主催する講座等に出席していただき、団体の活動に理解を深め、また、協力をお願いしたいです。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆市内の子育て支援に関わる団体との意見交換をし、情報共有を図ることができました。	◆生活者の立場から子育て支援の重要性について意見等を持つ関係団体との連携に努め、今後も意見交換・情報共有を積極的に行っていく必要があります。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等との情報交換や課題を共有することで、事業の充実に努めます。 ◆「ならしのきらっ子子どもまつり」を実施し、子育て支援に係る団体等との連携に努め、地域の子育て支援の機運を高めることに寄与します。
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	教育総務課・小学校・中学校
施策内容	3 地域における子育て支援の充実		
事業名	105 余裕教室の有効活用	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆余裕教室の活用は、学校運営面から一義的には各学校が活用を検討します。その活用状況を踏まえ、支障がない範囲で他の用途的利用を学校と協議の上実施します。		
平成30年度 事業目標	◆学校運営に支障が生じない範囲の中で、今後も余裕教室の有効活用を図ってまいります。(教育総務課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆余裕教室に対する教育財産の一時使用許可を行い、地域への開放を行いました。(教育総務課)		
評価指標	◆教育財産使用許可件数	平成30年度数値	◆8

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの 意見・感想等の内容	◆特にありません。
-----------------------	-----------

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】		
◆現在、学校で使用していない教室の一時使用許可を行い、青少年育成や社会福祉に貢献しました。(教育総務課)	◆学校運営が基本となるため、校舎の大規模改修工事や児童・生徒の増により、一時使用許可ができないケースが生じます。(教育総務課)		
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆学校運営に支障が生じない範囲の中で、引き続き、余裕教室の有効活用を図ります。(教育総務課)
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	保育所・こども園・こども保育課
施策内容	3 地域における子育て支援の充実		
事業名	106 保育所・こども園における地域開放活動の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆子ども同士のふれあい、保護者同士の交流、育児情報の提供の場として、保育所・こども園を地域に開放します。		
平成30年度 事業目標	◆子どもの遊び、保護者同士の交流、育児情報の提供の場として、保育所・こども園を地域に開放します。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆保育所、こども園において所庭開放・園庭開放を実施し、子どもたちが安全に遊ぶ場を提供しました。それとともに地域の親子の子育てに関する相談を受けたり、情報の提供を行いました。		
評価指標	◆実施施設数 ◆参加人数	平成30年度数値	◆8施設 ◆1,557人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆安全な場で安心して子どもを遊ばせることができた。また、入園、入所に向けて保育施設の状況や保育を実際に見ることができ参考になった。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆こどもが安心して遊べる場の提供ができました。子育て情報の提供や保育内容についての理解が図れました。	◆引き続き地域の親子に対して子育て支援の充実をめざします。
平成30年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）	
A	

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成31年度 事業目標	◆子どもの遊び、保護者同士の交流、育児情報の提供の場として保育所こども園を地域に開放します。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	幼稚園・こども園・こども保育課
施策内容	3 地域における子育て支援の充実		
事業名	107 幼稚園・こども園における子育てふれあい広場の充実	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆親子、親同士、子ども同士、園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放します。		
平成30年度 事業目標	◆乳幼児を育てている保護者に対して、遊びの場所や遊具の提供、在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図ります。		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆年間71回、親子、親同士、子ども同士、在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園での子育てふれあい広場を実施しました。		
評価指標	◆実施施設数 ◆参加人数	平成30年度数値	◆12施設 ◆2,889名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆在園児とのふれあいにより、子育てに対して見通しをもてるようになりました。 ◆園庭や遊具でのびのびと遊ぶことができ、同年齢のお子さんとのふれあいができました。 ◆スタッフの方が優しく接してくれ、子育ての相談がしやすかったです。
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】			
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】		課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆主に家庭で育児をしている保護者にとって、親同士、子ども同士、園児との交流、遊びの紹介、子育て相談の場となり、子育て支援の充実につながりました。		◆引き続き、家庭で育児をしている保護者に対する子育て支援の充実を目指します。	
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)			A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆引き続き、主に家庭で子育てをしている保護者に対して、遊びの場所や遊具の提供、在園児との交流、遊びの紹介、子育ての相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図ります。
----------------	--

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	子育て支援課・公民館・協働政策課
施策内容	3 地域における子育て支援の充実		
事業名	108 NPO法人や育児サークル等への支援	平成30年度 事業費決算額	-
事業の概要	◆親同士の情報交換と育児の仲間づくりを進めるため、場所の提供やNPO法人や育児サークル等の育成・交流等の支援を行います。		
平成30年度 事業目標	◆こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あ・そ・ぼ」の発行などに対する支援を行います。(子育て支援課) ◆親同士、子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課) ◆市民協働インフォメーションルーム登録団体等が実施する講座やイベントのチラシを設置します。(協働政策課) ◆引き続き育児サークルに活動場所を提供し、その活動が継続しやすい環境づくりに努めます。(公民館)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆育児サークル「あ・そ・ぼの会」の主な活動である「こどもセンターたより」について、こどもセンターの支援のもと編集・発行を行いました。(年4回発行)(子育て支援課) ◆こどもセンター(鷺沼)、きらっ子ルームの掲示板において、子育て情報として、育児サークル発信によるチラシ等の掲示を行い、情報提供に努めました。(子育て支援課) ◆親同士の仲間づくりを支援するため、利用者が作成した情報を利用者が見れるよう設置したり、グループ化の支援を行いました。(子育て支援課) ◆市民協働インフォメーションルーム登録団体等が実施する講座やイベントチラシを窓口に設置・掲示を行い来庁者へ周知を行いました。(協働政策課) ◆育児サークルへの部屋の貸出しにより活動を支援しました。(公民館)		
評価指標	◆育児講座終了後のサークル化数	平成30年度数値	◆0

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「あ・そ・ぼ」の編集会議では子ども連れで大変ですが、お互いに情報交換できるし、おしゃべりしながらやれるのでとても楽しいです。(子育て支援課)
-------------------	---

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆「あ・そ・ぼの会」の支援により、参加メンバーは、こどもセンターたよりの編集、発行作業を通じ、こどもセンターを拠点とする親同士の仲間づくりや交流を深めるとともに、子どもとの遊び方、その他子育てに関する情報を得、子育て期の充実につながっています。(子育て支援課) ◆来庁者に対し周知を行うことで、講座やイベントPR活動を支援することができました。(協働政策課) ◆育児サークルの活動場所の提供ができました。(公民館)	◆今後も、こどもセンターやきらっ子ルームにおいて、育児サークル等の情報提供を行うとともに、仲間づくりや情報交換の場の提供と支援を積極的に行う必要があります。(子育て支援課) ◆来庁者の多くは市民活動を行っている方のため、周知数は限定されます。(協働政策課) ◆育児講座終了後に、サークルのリーダーとなる人材育成が課題です。(公民館)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あ・そ・ぼ」の発行などに対する支援を行います。(子育て支援課) ◆親同士、子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課) ◆市民協働インフォメーションルーム登録団体等が実施する講座やイベントのチラシを設置・掲示することでPR支援を継続していきます。(協働政策課) ◆引き続き育児サークルに活動の場所を提供し、その活動が継続しやすい環境づくりに努めます。(公民館)
----------------	---

習志野市子ども・子育て支援事業計画 実績表【平成30年度】

3 子どもや家族・家庭をやさしく見守り、支える地域社会となる			
基本方針	2 地域における多様なネットワークの活用と充実	担当課	男女共同参画センター・産業振興課
施策内容	4 企業における子育て支援対策の促進		
事業名	109 企業における男女共同参画の啓発	平成30年度 事業費決算額	事業名:男女共同参画基本計画策定事業 決算額:2,447,772円 / 事業名:男女共同参画啓発事業 決算額:125,330円
事業の概要	◆企業が男女共同参画についての理解を深めるため、国・県・関係機関等が発行するパンフレット等を配布したり、商工会議所と連携して研修や講演会等の開催をします。		
平成30年度 事業目標	◆男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査を実施し、その結果を市内事業所へ配布することで、市内事業所への男女共同参画についての啓発を図ります。(男女共同参画センター) ◆女性の社会進出を促すため、子育てにより離職した女性の就業への意欲につなげる講座等を開催し、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる事業所等について情報提供を行います。(男女共同参画センター) ◆市内事業所へ子育て支援に関する諸制度の周知、情報提供に努めます。(産業振興課) ◆引き続き、就業に関する情報提供に努めるとともに、関係機関と連携し、女性の再チャレンジを支援してまいります。(産業振興課)		

1. 平成30年度に実施した事業内容並びに、事業計画の評価指標として掲げた指標の平成30年度数値をご記入ください。

平成30年度に実施した事業内容	◆男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所実態調査を平成30年8月～9月に実施し、報告書及び概要版を作成しました。また、ワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査の概要版については習志野商工会議所を通じて、市内事業所へ配布しました。(男女共同参画センター) ◆平成30年10月に子育て等により離職した女性の社会進出を促す「女性のための再チャレンジ支援講座」(全3回)を実施しました。(男女共同参画センター) ◆「千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度」などの優れた事業所に対する登録・認定・表彰制度を紹介するパンフレットを平成30年7月29日開催の「男女共同参画週間事業シンポジウム」において参加者へ配布しました。(男女共同参画センター) ◆千葉県ジョブサポートセンター及び近隣自治体との共催により、子育て中の女性を対象に雇用促進を図ることを目的とした再就職支援セミナーを開催しました。(産業振興課) ◆近隣自治体を実施する雇用対策イベントを後援し、周知協力、職員の派遣などを行いました。(産業振興課) ◆労働後援会を開催し、事業者・労働者に対し、これからの新たな働き方についての情報提供、意識啓発を行いました。(産業振興課)		
評価指標	◆千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度の周知回数 ◆女性の社会進出を促す就労支援等のための講座等の実施回数	平成30年度数値	◆1回 ◆2回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の内容	◆女性のための再チャレンジ支援講座意見・感想：きっかけ作りとして背中を押してもらった気がします。色々な方々の話も聞けて、ワークもでき、よりやる気ができます。また、参加したいと思いました。・家庭を大事に社会にも関わっていきなりたいなと思っているので、自分の生き方、働き方をこれから見つけたいと思います。そのために自分をもっとほりさげてやりたいことを具体化しないとなど、この講座で力をもらいました。・保険、税金や制度の話は大変勉強になりました。(男女共同参画センター) ◆【セミナー参加者の意見】(産業振興課) ・キャリア(自分の人生)を考えながら、仕事について考えるべきなのだとということがよく分かった。 ・セミナーは参考になった。今後の就活に役立てたい。 ・履歴書、職務経歴書等、自己PRの仕方など、とても参考になった。 ・転職に関するセミナーも開催してほしい。
-------------------	--

3. 平成30年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス推進に関する事業所調査の実施や結果について周知することにより、男女共同参画及びワーク・ライフ・バランス推進の必要性について事業所が考える機会となりました。(男女共同参画センター) ◆市民へ優れた事業所を掲載したパンフレットを配布することで、企業へのイメージアップにつながり、子育て支援などに取り組む事業所の増につながりました。平成30年度は、子育てサポート企業として認定する「くるみん」を1事業所が取得しました。(男女共同参画センター) ◆女性のための再チャレンジ支援講座において、税や保険など就職する上で知っておくべき必要な制度について情報提供することで、自分自身が仕事と家庭を両立するために必要な働きやすい環境について考える機会となりました。(男女共同参画センター)	◆ワーク・ライフ・バランスの推進などの必要性を感じている企業は多いが、実際に取り組む事業所が少ないことから、取り組むことでのメリットや実際に取り組んでいる事業所の例を周知する必要がある。(男女共同参画センター) ◆参加者の意見要望等を踏まえ、参加しやすい環境などを整え、講座等を展開していく必要がある。(産業振興課)
平成30年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成30年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成31年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成31年度 事業目標	◆「千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度」などの優れた事業所に対する登録・認定・表彰制度のパンフレットをあらゆる機会に配布し、男女共同参画に取り組む必要性について周知を図ります。(男女共同参画センター) ◆市内事業所へ子育て支援に関する諸制度の周知、情報提供に努めます。(産業振興課) ◆就業に関する情報提供に努めるとともに、関係機関等と連携し、女性の再チャレンジ支援をしてまいります。(産業振興課)
----------------	--